



平成25年度

年報 第28号

福島県立博物館

年報発刊に 寄せて



東日本大震災という未曾有の出来事が始まってから、やがて4年になろうとしています。この震災は、わたしたちの社会を、とても深いところから変容させようとしています。その変容の核にあるものはいまだ、よくわかりません。はるか後になって、それが大きな社会変動の先駆けをなしていたことがはじめて知られることになるのかもしれませんが。福島県はまさに、その変容の最先端とっていい地域へと押し出されてしまったわけですが、だからこそ、はじまりの可能性に満たされているという逆説を強いられて、生かされつつある土地になったともいえるのです。

さて、そうした困難な状況のなかで、福島文化にかかわる者たちは何をなすのか。それが深刻に問われています。とりわけ、福島県立博物館を運営するわたしたちに求められている役割とは、何か。たとえば、それがどれほどささやかな役割であるにせよ、真っすぐに問われ、引き受けられねばならないと感じています。

原発事故の巨大な影のもとで、文化や芸術の果たすべき役割を問い続けることが、わたしたちに課せられた責務となりました。福島というアイデンティティが、根底から揺さぶられています。日常の暮らしや生業を営むことが許されないエリアが、広大に生まれてしまったという現実はなかったことにはできません。その地からの避難を強いられた人々の記憶を、いかに未来へと繋いでゆくのか。博物館はそうした問いに応答するためにも、新たなステージへと踏み出さねばならないのです。

県博のリニューアルという差し迫りつつある課題を前にして、あらためて足場を固めることが必要になったと感じています。博物館とは何者でありえるのか。問い続けねばなりません。

福島県立博物館長 赤坂 憲雄

トピックス

2013年NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」開催

平成25年度は、NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」を開催した。5月17日に行われた開幕セレモニーは、ドラマに出演している俳優など関係者も来館し、盛大に行われた。本展は、ドラマの主人公である新島八重ゆかりの品々や同時代の関連資料を紹介しながら、八重の生涯と戊辰戦争の敗戦から立ち上がった人々の姿をとおして、東日本大震災からの復興へのメッセージを伝える展覧会となった。ドラマの人気もあり、会期中2万人を超える来場者があった。



開幕セレモニー



展示風景



展示風景



来場者2万人達成

福島県立博物館の使命

平成19年7月公表 平成25年4月改正 平成26年6月改正

福島県立博物館は、昭和61年に県立の総合博物館として開館し、これまで県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、さまざまな活動を行ってきました。そして、平成19年には、新しい時代の博物館として目指すべき目標を「使命」としてとりまとめ、その内容を公表しました。そこには、歴史・自然に関する資料の収集・保存・調査研究・活用という博物館の基本的な使命を核として、それらを実践するための活動指針が明示されていますが、平成23年3月に発生した東日本大震災以降、従来の博物館活動に加え、新たな視点に立った活動が不可欠になったと考えられることから、ここに改めて博物館の「使命」をとりまとめました。については、当館の社会に対する責務を明確にするとともに、皆さんに博物館活動について理解を深めていただくため、その内容を公表します。

目 標

福島県は、関東・北陸・東北地方の接するところに位置し、美しく豊かな風土のもと、時代を通して文化交流の地として発展し、特徴のある歴史・文化を形成してきました。また、広大な面積をもつ本県は、中通り・浜通り・会津地域に分かれ、それぞれ異なった風土と生活文化をもっています。

福島県立博物館は、こうしたユニークで多様な歴史・文化が生み出した遺産とその背景にある自然に関する資料を収集・保存し、大切に未来へ引き継ぐとともに、研究を通して、資料のもつ価値を明らかにします。そして、収集した資料や研究の成果を世界に向けて発信するため、さまざまな形で公開します。

また、人々が地域の課題を調査・研究することを支援し、地域文化の新しい価値を創造することに寄与するとともに、みなさんが博物館を利用しやすいように、人と人との交流を大切にできる楽しい環境を整えます。

現在、特に浜通り地域では、平成23年3月に発生した東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故により、これまで地域社会のなかで培われてきた紐帯が崩壊し、未来に継承すべき地域の文化財や伝統文化の保全が困難な情勢となっています。このような危機的状況のなか、福島県立博物館では、地域社会の再生と活性化に向けた取り組みとして、従来から行ってきた博物館活動を継続するとともに、被災地域の関係機関や地域の人々と連携して、震災の記録化と地域内に残された文化財等の調査研究、救出・収集活動および文化的交流活動を行います。そしてそれらの成果をさまざまな形で発信していきます。

これらを基本に、次のような博物館を目指します。

1. ふくしま発見 博物館

ふくしまの文化遺産と自然史資料をもとに、ふくしまの歴史・文化そしてそれを育んだ自然に関する情報を提供し、ふくしまの魅力を再発見する場とします。そして、地域独特の文化の価値を共に学び、新たな文化を創りだす手助けをします。

2. 出会いふれあい 博物館

楽しい時が学ぶ時です。かた苦しなく、気軽に入れて人と人が楽しく語り合える博物館を目指します。そのために、居心地がよく、自らが体験でき、楽しさを体感できる空間を演出します。

3. あなたも主役 博物館

博物館を利用するみなさんも主役です。博物館はみなさんからの意見・要望を尊重して運営に活かします。また、友の会の会員やボランティアとして博物館の事業に参加することができます。みなさんと共により良い博物館を目指します。

4. ふくしまを元気に 博物館

東日本大震災によって危機的な状況に陥っている地域の文化・自然遺産を保存し、調査研究するとともに、それらを活用して、地域社会の再生と活性化に向けた新たな取り組みを行います。

活動の指針

目標を達成するため、次のような機能を充実させます。

【専門機能】

1. 地域の文化遺産の収集と継承

福島県の特徴を現す歴史・文化遺産および自然史資料を系統的に収集し、安全な状態で保存し次世代に伝えます。また、資料情報をデータベースとして整備し活用します。

2. 最新の研究による新たな資料価値の発見

専門的な研究により、収集した資料の価値を明らかにします。また、地域の課題であるテーマを設け調査を行い、その成果を地域文化の発展と創造のために役立てます。

3. 来るたびに発見がある展示とニーズに応じた学習支援

展示を見るたびに資料の新しい側面を発見できます。新しい資料や研究成果を展示や講座に反映するとともに、利用者のニーズに応じて、資料についてさらに詳しい情報を準備し提供します。また、未来を担う子供たちにも対応したきめ細やかな学習支援を行います。

【交流機能】

4. 楽しめて出会いのある空間の創出

居心地がよく楽しめ、いろいろなことを体験・体感できる博物館を目指します。また、人と人が出会い、楽しく知的なコミュニケーションのとれる場所を提供します。

5. 博物館事業への住民参加

利用者の意見を積極的に取り入れて、博物館の運営に反映させます。また、友の会会員やボランティアの協力を得ながら博物館の事業を推進します。

6. 博物館情報の発信と公開

博物館の資料や研究成果および運営に関する情報を公開するとともに、展示や講座など館活動の情報を広く県内外に発信するため、積極的な広報活動を行います。

7. 地域ネットワークの拠点

福島県の面積は広大で、多くの学校、社会教育・文化施設、市民団体があります。これら関係機関等とのネットワークを作り、情報交換や共同研究、事業の共同実施を進めます。

8. 新しい観光ニーズへの対応

会津という観光地に立地することを踏まえ、地元の市町村や文化・観光施設と連携、共同し、新しいタイプの観光のニーズに対応できるよう努めます。

【運営機能】

9. 使命の明示と事業の点検

博物館の使命と目標を社会に明示し、オープンな運営を目指します。目標に向かって計画を立て、常に成果を点検し、目標を達成できるように努めます。

10. 人材の育成と機能的な組織

博物館の使命を達成するため、優れた人材を育成し、機能的で効果的な組織運営に努めます。

11. 危機管理

災害の発生に備え、避難・誘導経路や手順を確認するための訓練を毎年実施します。また、博物館資料の保全のため、展示室および収蔵庫の環境を適切に保ちます。

【震災からの復興支援】

12. ふくしまの宝の発掘と保全

市町村や文化施設および大学等と連携し、被災地域の文化財の救出と保全を図るとともに、地域の宝である文化財や自然史資料を改めて調査・収集し、その価値を明らかにすることに努めます。

13. ふくしまの宝の公開と活用

救出および新たに収集した文化財およびその研究成果をさまざまな形で県民に発信し、地域の誇りをとりもどすとともに、それらを教材として、ふくしまの未来を担う子供たちの育成を図ります。

14. ふくしまの再生と活性化

文化施設や地域の文化団体、市民グループと連携し、文化資源を活用した地域おこし、文化的事業の開催など、文化の力を用いて地域の再生と活性化を図ります。

福島県立博物館 中期目標 目標年度：平成25年度

福島県立博物館では、「使命」に基づいて策定した11項目（平成25年度からは14項目）の「活動の指針」それぞれに「重点目標」を定め、それを平成21年度から25年度までの5年間で達成するための具体的な実施計画（中期目標）を定めました。

よりたくさんの方々に博物館を利用していただくため、概ね年間9万人の利用者数を見込み、平成22年度には開館以来の入館者数400万人を突破、25年度には430万人を超えることを目指し努力します。

このたび、平成25年度の中期目標の達成状況を「25年度評価指標」に基づいて評価しましたので、その結果を公表します。達成度の低かった項目についてはその原因を分析し、事業内容や実施方法を改善します。さらに平成25年度の目標を「25年度評価指標」として設定しました。25年度にはその指標を達成できるように努めます。利用者のみならずには中期目標をご理解いただき、博物館の運営について忌憚のないご意見をいただければと思います。

	平成20年度(実績)	平成21年度(実績)	平成22年度(実績)	平成23年度(実績)	平成24年度(実績)	平成25年度(実績)
入館者数	83,275	93,596	95,556	82,048	83,401	109,838
累計入館者数	3,861,281	3,954,877	4,050,433	4,132,481	4,215,882	4,325,720

平成25年度利用者数 109,838人 目標を達成。

能機	活動の指針	重点目標	実現方策	25年度目標	25年度評価指標	25年度実績	達成度
専門機能	1. 地域の文化遺産の収集と継承	博物館資料の系統的収集とデータベース化の推進	収集方針に沿って系統的に資料を収集し、具体的な資料整理の年次計画に基づき、整理・登録を進める。	5年間で収蔵資料約1万件の整理登録達成	平成24年度末までに、5年間の目標である収蔵資料1万件の登録は達成された。このため、平成25年度は整理・登録の数値目標は特に設定しないが、各分野では今後とも、年次計画に沿って未整理資料の整理・登録を継続的に行う。	左記の通り本年度は整理・登録の数値目標を設定しなかったが、1年間に全分野で907件の資料が登録され、作業は順調に進捗している。	達成
			作業効率を上げるために、機器類の定期的更新を行う。さらに資料データの入力・検索・管理をより効率化するとともに、コンピュータのOSに対応させるため、収蔵資料管理システムを一新する。	年次計画に沿った収蔵資料管理システムの一新	年度末までに新システムを導入し、既存データの移行を完了して、平成26年度当初より、新システムの運用を可能とする。	早稲田システム開発株式会社製「I.B. Museum SaaS」を導入し、既存データの移行を行って資料管理システムの更新を完了した。	達成
	二次資料の整理とデータベース化の促進	司書を継続雇用し、学芸員の研究および外部からの図書利用に資するため、年次計画に沿って図書の整理・登録および既存データの修正を進める。また、増加する図書の収蔵スペースを確保する。	図書の既存データ約9000件の修正完了	既存図書のデータ1,500件入力。なお、5年間の目標である図書の既存データ約9,000件の修正は、平成23年度末までの12,070件の修正入力を以て達成済みである。	既存図書のデータ2,292件入力（達成度153%）。また、左記の通り5年間の中期目標もすでに達成済みである。	達成	
	博物館資料情報の公開	収蔵資料情報（データベース）の公開はIT化事業の最終目標のひとつ。公開の方法や仕様について検討を進め、収蔵資料管理システムの一新後、公開に向けた作業を進める。また、整理が終了したコレクション等資料情報の公開を随時実施する。	年次計画に沿ったコレクション等資料情報の公開	資料管理システムの更新に伴い、収蔵資料をインターネット上で外部公開することとなる。このため、本年度は、各分野1,000件、合計5,000件の公開資料を決定し、それらの登録内容の不備を修正する。	新システムの導入完了が年度末となったため、公開用データの新しいシステム対応作業が未完了で、平成25年度末現在、公開を開始していない。今後、準備が完了し次第、速やかに公開を開始する。	達成できず	

能機	活動の指針	重点目標	実現方策	25年度目標	25年度評価指標	25年度実績	達成度
専門機	1. 地域の文化遺産の収集と継承	資料の安全な保存	地球環境保全のため、有害ガスを排出する全館薫蒸を廃止している。それに代わる方法として、資料を害虫から防ぎ安全に保存するためのIPM（総合的害虫管理）を継続実施する。	年2回の文化財害虫調査を元にしたIPMの継続実施	IPM（総合的害虫管理）の実施（2回）	IPM（総合的害虫管理）の実施（2回）	達成
	2. 最新の研究による資料価値の発見	連携した研究活動の推進	研究の質の向上、さらに研究ネットワークを築くため、大学や文化施設あるいは民間の研究団体との共同研究を進める。	共同研究の継続実施（各年度1回以上）	共同研究の継続実施（各年度1回以上）文部科学省科学研究費を申請できる研究機関としての認定を目指し、査読制度のある学術雑誌等に4件以上の論文掲載	共同研究の実施（分野合計で8件）査読制度のある学術雑誌への論文掲載1件館の調査研究費の総額が申請の条件を満たしていないこともあり、文部科学省科学研究費を申請できる研究機関の認定を目指すことを断念せざるを得なかった。	一部達成できず
	3. 来るたびに発見がある展示とニーズに応じた学習支援	リニューアルの推進	バックヤードを含めたリニューアルは、館の最重要課題のひとつ。将来の実現に向けて、リニューアルのコンセプト作りを開始し、可能なものからリニューアルを進める。	リニューアルの推進	リニューアルに向けた議論と情報収集を継続して進める。合わせて、東日本大震災に関わる被災文化財や災害記録の収集方針の検討、リニューアルへの反映についても議論を行う。	全国に所在する災害展示施設および本県浜通り地域の震災遺産の状況について報告会を実施。また、震災資料の博物館資料としての位置づけについて議論を進めた。	達成
	機能	魅力ある常設展の展開	常設展のリピーター増加をめざし、常設展の小規模展示替え（テーマ展・ポイント展）を毎年実施する。	テーマ展・ポイント展の継続開催	テーマ展10回、ポイント展17回、計27回の開催	テーマ展8回、ポイント展20回、計28回開催	達成
		オリジナル企画を中心とした企画展等の開催	館オリジナル企画を中心に、学芸員の研究成果、収蔵資料を活用した企画展や特集展を、集客を考慮しバランスよく実施する。	企画展・特集展を各年度4回のペースで開催	企画展・特集展を各年度4回のペースで開催	企画展3回、特集展1回計4回開催	達成
		きめ細かい解説システムの実施	利用者の様々な質問に対応でき、人的コミュニケーションを大切に展示解説を維持・発展させる。	展示解説員による解説を中心に、「やさしい展示解説」（毎週土日）等の継続実施	展示解説員による解説を中心に、「やさしい展示解説」（毎週土・日）等の継続実施	「やさしい展示解説」（8月～3月）のべ99回実施。参加者のべ111名	達成
継続性のある講座の開催		講座の体系化と、ストーリー性をもたせたシリーズ化を進め、利用者の継続参加を促進する。企画展に合わせたタイムリーな連続講座の開催も試みる。	講座・講演会を各年度100回のペースで開催	講座・講演会の開催（100回）	回数は前年より3回少ない88回。動員数は前年比122%の7390人。歴史分野においては、「八重の時代の会津人」をシリーズで開催し、好評を得た。	ほぼ達成	
交流	4. 楽しめて出会いのある空間の創出	エントランスホールの多目的利用	エントランスホールや屋外という開かれた空間を使用し、博物館の展示・資料などと関連をもたせた無料のイベントを開催する。市民団体による企画・運営も検討する。	四季のイベントを中心としたエントランス周りでイベントの継続実施（各年度4回）	東日本大震災による被災者を支援するためのメッセージを込めた「ふくしま応援ミュージアムイベント」、「復興応援パートナー事業」の開催（8回）	「ふくしま応援ミュージアムイベント」、「復興応援パートナー事業」を計8回開催した。	達成
	利用者の快適性と利便性の促進	当館の常設の売店では、館発行の図書・絵葉書のみを販売しており、利用者の多様なニーズに対応していない。20年度秋から企画展開催時を中心に試行しているミュージアムショップの運営とオリジナルグッズの開発を軌道に乗せる。	企画展等に合わせたミュージアムショップの運営とグッズの開発	ミュージアムショップの運営のあり方については今後も継続して検討していく。	ミュージアムショップの検討については、新たな展開が見えず、議論が進まなかった。	達成できず	
	体験型の行事・講座の開催	来館者が参加できる体験型講座を増やす。また、それをイベント等と連結するよう試みる。	体験型の講座・プログラムの実施（各年度50回）	体験型講座・学習の実施（50回）	体験型講座11回 ハンズオンコーナー1回 団体系験学習38回 計50回	達成	
機能的	5. 博物館事業への住民参加	ボランティアの受入	資料整理を中心としたボランティアの受け入れを推進する。	自然資料整理ボランティア（通年）、古文書整理ボランティア（月2回）を中心としたボランティアの受け入れと活動支援	事業に合わせたボランティアの継続的受け入れ	ボランティアの受け入れ自然分野：展示作業協力ボランティア（延べ7日間）歴史分野：古文書の整理15名	達成
	6. 博物館情報の発信と公開	効果的な広報の展開	マスコミをはじめ、外部の各種メディアへの情報提供を継続するとともに、博物館からの情報発信媒体の内容と体裁の見直しを図る。とりわけホームページによる広報に力を入れる。	ホームページアクセス件数各年度40万件	ホームページアクセス件数40万件	ホームページアクセス件数40万件以上	達成
	7. 地域ネットワークの拠点	市町村との連携促進	市町村の文化施設との共同企画展の実施や、博物館資料を提供し展示協力を行う。移動展用のパッケージ化した展示を用意し、要望があれば22年度から実施する。	パッケージ移動展の普及等による移動展の継続実施	移動展の開催	移動展の開催（小野町 自然分野）	達成
		各種団体との連携促進	NPOなど地域の文化団体などからの展示会や講座の開催依頼には積極的に対応し、また、共同企画を立ち上げるなど事業の連携を進める。	後援行事の受入を継続実施（各年度10件以上）	後援行事の実施（10件以上） 会津若松市・喜多方市が主催する漆の芸術祭後継事業に協力する。	県との共催事業2件、動員数1279人。他団体へ後援事業16件、動員数2191人。合計18件3470人。これは当館全講座・講演動員数7390人の47%に相当する。博物館が魅力的な「場」と認識されている例証である。	達成

能機	活動の指針	重点目標	実現方策	25年度目標	25年度評価指標	25年度実績	達成度	
交流機能	8. 新しい観光ニーズへの対応	観光事業団体との連携	観光事業団体との連携を強め、会津地域への一層の集客を図ると共に、新しい観光ニーズに対応した企画を検討する。	観光事業団体との連携活動（PR・催事等）の実施（各年度1件以上）	観光団体と連携して、新島八重の企画展の広報強化。観光事業団と連携し、磐梯山ジオパークの世界ジオパークをめざして活動を推進。	八重の桜プロジェクト協議会に参加し、企画展「八重の桜」の広報を効果的に行うことができた。また、磐梯山ジオパーク推進事業についても、協議会の一員として、啓発活動、広報活動などに協力した。	達成	
	運営機能	9. 使命の明示と事業の点検	使命・目標の策定	使命に基づき、平成25年度を目標年度とした中期目標を作成し、それと連動した評価システムを作る。毎年評価・点検を行い、それをもとに計画に修正を加える。	中期目標に基づいた評価・点検の実施と計画の修正（各年度1回）	中期目標に基づいた平成24年度事業の評価・点検の実施と平成25年度計画の策定	平成24年度事業の評価・点検の実施と平成25年度計画の策定	達成
事業の結果を点検・評価し、それを年報やホームページで公表する。			事業の評価と改善点を毎年公表	中期目標の平成24年度達成状況および25年度評価指標を公表	中期目標の平成24年度達成状況および25年度評価指標を年報・HPで公表	達成		
利用者ニーズの把握と対応		入館者数など博物館利用に関する統計をとり、これらの分析を行う。	入館者統計の分析に基づいた事業の改善を毎年実施	さまざまな機会および媒体を利用して館のPRを行うとともに、効果的な広報のあり方について検討する。	NHK大河ドラマ「八重の桜」の放映に連動して企画展など、館のPRを効果的に行うことができた。ただし、広報全般については十分な議論が行われなかった。	一部達成できず		
運営・展示・講座・イベント・広報効果等に関する各種アンケートの基本的様式と項目を、それぞれの目的に沿って定め実施する。		アンケートによる利用者満足度8割以上の達成維持	アンケートによる利用者満足度8割以上の達成批判的意見に対する適切な処理	利用者満足度80%以上達成。批判的な意見や問題点について、回覧や会議で情報の共有に努めたが、議論・検討はやや不十分であった。	一部達成できず			
危機管理能力	10. 人材の育成と機能的な組織	学芸員の専門性の重視	学会等研修会へ積極的に参加し、学芸員としての専門的能力を向上させる。	学芸員による学会等研修会への参加（各年度5件以上）	学芸員による学会等研修会への参加（6件以上）	学芸員による学会等研修会への参加（11件）	達成	
		11. 危機管理	来館者の生命の危機への対応	地震・火災に対する避難・誘導経路や手順を確認するため、訓練を実施する。	地震・火災避難訓練の年1回実施	地震・火災の避難訓練実施地震・火災時における観客の適切な誘導	地震・火災避難訓練の実施（10月18日）。地震発生時には、展示解説員と学芸員が連携して、観客の安全確保に当たった。	達成
		資料の危機への対応	企画展示室や収蔵庫における安定した温湿度条件の確保（特に冬場）のための改善策を図る。	収蔵庫・展示室の温湿度計測の月1回の継続実施	収蔵庫・展示室における温湿度の計測（月1回）	収蔵庫・展示室における温湿度の計測を月1回実施した。	達成	
震災からの復興支援	12. ふくしまの宝の発掘と保全	個人情報保護	県のセキュリティ対策に基づき、個人情報には分散しないように一元的に管理し、必要であれば適切に廃棄する。また、コンピュータへのウイルス対策を常時実施する。	県のセキュリティ監査の継続実施（年1回）とチェックのクリア	総務課：県のセキュリティ監査によるチェックのクリア 学芸課：FKSのセキュリティガイドの順守	総務課：県のセキュリティ監査によるチェックをクリアした。 学芸課：FKSのセキュリティガイドを順守して業務を執行した。	達成	
		13. ふくしまの宝の公開と活用	救出文化財等に関する情報公開	救出および新たに収集した文化財等やそれらに関する研究成果を、さまざまな形で県民に発信する。	救出した文化財等に関する調査研究の成果を展示という形で公開する。	救出した文化財等に関する調査研究の成果を、展示という形で公開する。	旧警戒区域内に所在する大熊町民俗伝承館から搬出した考古資料を中心に、常設展のなかで公開した。テーマ展「大熊町遺跡探訪」（6月18日～26日5月11日）	達成
		14. ふくしまの再生と活性化	文化資源を活用した各種事業の開催および支援	文化施設や地域の文化団体、市民グループ等と連携し、地域の復興と再生、活性化に向けたさまざまな文化活動を実施するとともに、各種団体が企画する文化事業への支援も行う。	館内外において、復興支援を目的とした各種事業を開催する。	館内外において、復興支援を目的とした各種事業を開催する。	館外では、各種団体と連携して、「はま・なか・あいつ文化連携プロジェクト」を実施するとともに、館内では県主催の復興支援イベントなどの多彩な事業を開催した。	達成

●平成25年度の総評

- ・ 中期目標の平成25年度評価指標については大部分、達成あるいはほぼ達成であったが、新しい資料管理システムに対応する準備作業が完了しなかったため、収蔵資料のデータ公開が遅れているなどの未達成目標が一部あった。
- ・ 平成25年度の博物館利用者数は、NHK大河ドラマ「八重の桜」の放映などにより会津地方への観光客数が増加したことや、特別展「八重の桜」や夏に開催した「恐竜展」の入場者数が好調だったことで、平成18年度以来10万人を突破した。ただし、学習旅行で県外から来館する学校団体の数は低迷が続いている。
- ・ ミュージアムショップについては、従来友の会主体による運営のあり方を模索してきたが、現状では困難であり、明確な方向性を見出すまでには至っていない。今後は、博物館のリニューアル計画の中に位置づけて議論を進めていく必要がある。
- ・ 平成26年度以降も、新たな段階を迎えた文化財レスキューや被災者支援のための各種文化交流事業など、震災復興のための活動を継続していく必要がある。

第1期中期目標の総括

概要

当館では「使命」（平成19年度公表）に沿った「活動の指針」に基づき、それぞれに「重点目標」を掲げ、それを平成21年度から25年度までの5年間で達成するための具体的な活動計画（中期目標）を定めて、毎年度ごとに実績の評価を行ってきた。この中期目標も、平成25年度に最終年度を迎えたため、これまでの実績をもとに中期目標の総括を行う。この5年間の博物館活動の上で画期となったのは、平成23年、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故の発生である。未曾有の被害をもたらしたこの震災は、博物館をとりまく環境も大きく変化させ、従来の活動に加えて新たな視点に立った博物館活動の必要性を迫るものとなった。

まず、博物館利用者数をみると、各年度9万人という目標値を設定してきたが、震災以後の平成23・24年度はその目標を達成することはできなかった。しかし平成25年度は、NHK大河ドラマ「八重の桜」の放映などにより会津地方への観光客数が増加したことや、特別展「八重の桜」や夏に開催した「恐竜展」の入場者数が好調だったことで、博物館の利用者数は平成18年度以来10万人を突破した。ただし、平成25年度、学習旅行などで県外から来館した学校団体の数は、震災前の平成22年度と比べ約1/3と低迷が続いている。今後は、県やJRが展開する観光キャンペーンなどを契機として、県外からの利用者数を回復させるための広報戦略が必要である。

中期目標のなかで最も重要な課題は、昭和61年の開館後30年近くを迎えるなかで、変化する時代の要請に応え、展示室の改善など博物館のリニューアルをどのように進めていくかということである。厳しい財政状況のなか、現在までのところリニューアル計画を具体化するまでには至っていないが、今後は「震災」を重要なテーマの一つに掲げ、リニューアルの基本方針や基本計画を策定し、具体的なビジョンのもと、リニューアルの必要性を多方面に訴えていく必要がある。

震災以降ますます逼迫している県の財政状況のもと、博物館の活動経費のうち特に企画展や調査研究に関わる予算は、この5年間で半分以上にまで削減された。円滑な博物館活動を進めていくためには、引き続き必要な財源確保に努めるとともに、外部資金の活用など、新たな方策を視野に入れる必要がある。

以下に、「活動の指針」に沿って中期目標の成果と課題をまとめた。

1. 地域の文化遺産の収集と継承

【成果】

- ・収蔵資料の登録は、5年間で目標の1万件が達成された。
- ・既存図書の整理・データ入力についても、司書が継続的に雇用されたこともあり、目標を上回る1万5千件近い件数が達成された。

【課題】

- ・収蔵資料のインターネット上での公開は、準備作業が完了できなかったため、平成25年度末までに公開を開始するという目標は達成されなかった。今後は、平成25年度末に導入した新しい資料管理システムを運用しながら、収蔵資料の公開を開始することが課題となる。

2. 最新の研究による資料価値の発見

【成果】

- ・大学や文化施設などとの共同研究は継続的に実施することができた。

【課題】

- ・各機関との共同研究を継続的に実施することができた反面、それらの研究成果が博物館活動に十分反映されてきたとは言い難い。
- ・調査研究費の総額や査読制度のある論文の件数などの点で、文部科学省科学研究費の申請条件を満たすことができなかったため、同申請ができる研究機関として認定を受けることはできなかった。今後は、外部助成事業の導入や企業の協賛を得る方策など、新たな財源確保の手段を視野に入れる必要がある。ただし、調査研究費に限らず、外部資金に依存せざるを得なくなりつつある博物館活動の危うさは認識しておくべきである。

3. 来るたびに発見がある展示とニーズに応じた学習支援

【成果】

- ・博物館のリニューアルを推進するため、学芸課内に博物館情報収集・展示室改善チームを立ち上げ、リニューアルに向けた議論と情報収集を行ってきた。
- ・常設展については、小規模な展示替えとしてテーマ展、ポイント展などを毎年計画的に開催し、魅力ある常設展の展開に努めてきた。
- ・シリーズでテーマを設けるなど、各分野で工夫を凝らした講座の開催に努めてきた。

【課題】

- ・博物館の活動費自体が縮小するなか、予算の裏付けが見込めないこともあり、リニューアル計画の具体化が進んでいない。今後は、リニューアルの基本方針や基本計画などをまとめ、リニューアルの必要性について改めて説

明していくことが求められる。

- ・展示解説員を核に、人的コミュニケーションを大切にきた展示解説を基本にしてきたが、展示解説員の人員削減などによって、きめ細かい解説システムを構築するまでには至っていない。今後は、新たな展示解説システムの導入を検討していく必要がある。
- ・学芸員の研究成果や収蔵資料を活用した企画展等の開催を志向してきたが、予算的な裏付けが見込めないなかで、このような開催形態は崩壊しつつある。今後は、関係機関との連携や開催経費確保の新たな手段などを視野に入れて、企画展開催のあり方を検討する必要がある。

4. 楽しめて出会いのある空間の創出

【成果】

- ・エントランスホールや屋外の空間を活用して、各種イベントを継続的に開催してきた。特に東日本大震災以降は、恒例となったミュージアムイベントに加え、各種機関と連携して復興支援を目的とした「復興応援パートナー事業」を開催し、来場者にも概ね満足していただくことができた。

【課題】

- ・各種機関との連携を強化するなどして、ミュージアムイベントの内容刷新を図る。
- ・体験型講座や学校団体を対象とした体験学習において、新しいメニューの開発を図る。
- ・企画展開催に合わせて試行されてきた友の会によるミュージアムショップ運営は、人員配置などの問題で困難な状況となった。今後は、博物館のリニューアル計画と連動させながら、ミュージアムショップのあり方を検討していくことが必要となる。

5. 博物館事業への住民参加

【成果】

- ・自然分野と歴史分野において、資料整理を中心としたボランティアの受け入れを行ってきた。

【課題】

- ・博物館におけるボランティアの位置づけについて、他館での事例を調査するとともに、館全体で議論を深めていく必要がある。

6. 博物館情報の発信と公開

【成果】

- ・館のホームページを刷新するとともに、常に新しい情報に更新する作業も継続的に行い、博物館利用者に便宜を図ることができた。
- ・ホームページによる広報以外にも、マスコミをはじめとした外部メディアに積極的に博物館情報を提供し、ある程度の効果を得た。

【課題】

- ・従来の広報手段に加え、SNSなど新たな広報媒体を活用した広報活動も視野に入れて、双方向的で、わかりやすい情報提供に努める。

7. 地域ネットワークの拠点

【成果】

- ・市町村の文化施設などと連携し、移動展を継続して実施してきた。
- ・NPOなど地域の文化団体からの要請を受けて多彩な後援事業を実施し、一定の利用者数を得た。

【課題】

- ・今後もさまざまな外部機関・団体からの要請で開催を受け入れる事例が出てくると予想されることから、これらの要請に円滑に対応していくための体制づくりが必要となる。

8. 新しい観光ニーズへの対応

【成果】

- ・観光事業団体などと連携し、企画展などの博物館事業の広報強化を図ることができた。

【課題】

- ・東日本大震災以降低迷が続いている学校団体による学習旅行件数を回復させるため、さらには、従来未開拓であった地域からの集客数増加を目指すため、県の関係機関や観光事業団体とも連携して、効果的な広報のあり方を検討する。

9. 使命の明示と事業の点検

【成果】

- ・中期目標に掲げた各事業の実績評価と次年度の評価指標を、年報やホームページで公表した。
- ・東日本大震災以降、使命における「活動の指針」に「震災からの復興支援」を掲げ、それに関連した事業を展開

してきた。また、従来の博物館活動に加え、新たな視点に立った活動が不可欠になったと考えられることから、博物館の使命の内容を一部改訂した。

【課題】

- ・利用者ニーズを把握するため、各種アンケート調査を実施し、問題点や批判的な意見については情報の共有に努めてきたが、議論や検討はやや不十分であった。各種アンケートの結果を利用者の声としてホームページ等で公表するとともに、それを広報活動や各種事業の企画に的確に反映させていくことも検討すべき課題である。

10. 人材の育成と機能的な組織

【成果】

- ・学芸員による学会・研修会等への参加
- ・博物館実習生の受け入れ

【課題】

- ・特に研修会での成果を学芸員全体で共有し、それを博物館業務に効果的に反映させていく。

11. 危機管理

【成果】

- ・地震・火災に対する避難・誘導経路や手順を確認するため、定期的に防災・避難訓練を行った。
- ・地震発生時には、展示解説員と学芸員が連携して、観客の安全確保に当たった。
- ・展示室・収蔵庫において温湿度の計測を実施した。

【課題】

- ・繁忙期に不測の事態が発生した場合を想定した避難・誘導訓練の実施
- ・展示ケースの老朽化
- ・空調設備の老朽化。

12. ふくしまの宝の発掘と保全

【成果】

- ・国や県、大学の関係機関などと連携して、旧警戒区域からの資料搬出・保管環境の保全活動を行った。また、救出された資料の一部については、整理分類を進めた。

【課題】

- ・旧警戒区域内などに所在する学校や個人が所有している資料の救出・保全
- ・文化庁補助事業「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」に採択された東日本大震災被災資料収集事業「ふくしま震災遺産保全プロジェクト」の実施

13. ふくしまの宝の公開と活用

【成果】

- ・東日本大震災で被災した須賀川市朝日稲荷神社から救出された絵馬を展示資料として、特集展を開催した。『朝日稲荷神社の絵馬』
- ・旧警戒区域内に所在する大熊町民俗伝承館から搬出した考古資料を中心に、常設展のなかで公開した。『ふるさとの考古資料4 【大熊町】遺跡探訪』

【課題】

- ・いわゆる文化財レスキューで救出された資料は多岐にわたる。今後、さまざまな性格をもった資料をどのように公開していくのかを検討する必要がある。
- ・文化財レスキュー活動のようすを紹介する展示コーナーの常設

14. ふくしまの再生と活性化

【成果】

- ・各種団体と連携し、館の内外において復興支援を目的とした各種事業を行った。また、国の委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」を活用して、さまざまな事業を行った。

【課題】

- ・各種文化団体や市民グループとの連携をさらに深めて、被災地域の歴史・文化活動への支援を充実させる。

目 次

I	沿 革	1
II	事業の概要	3
	1. 資料収集事業	3
	(1) 収集展示委員会	3
	(2) 受贈・受託	3
	(3) 購入	3
	2. 保存管理事業	4
	(1) 資料の収蔵	4
	(2) 登録・整理	5
	(3) 貸出	7
	(4) 保存	8
	3. 展示事業	9
	(1) 常設展示	9
	(2) 企画展示	12
	(3) 特集展	34
	(4) 移動展	35
	(5) 指定文化財の公開	37
	(6) 展示解説	37
	(7) 体験学習室	38
	(8) 博物館新情報収集・展示室改善プロジェクト	39
	4. 調査研究事業	40
	(1) 展示資料調査研究	40
	(2) その他の調査研究事業	41
	(3) 職員の研究活動	41
	5. 教育普及事業	43
	(1) 講座・講演会	43
	(2) 学校・文化施設との連携	50
	(3) 生涯学習・研究支援	54
	(4) 博物館友の会活動への支援	56
	6. 広報広聴活動および出版事業	58
	(1) 広報活動	58
	(2) 広聴活動	61
	(3) 出版事業	61
	7. 東日本大震災からの復興支援	62
	(1) 文化財レスキュー	62
	(2) 市町村埋蔵文化財技術協力	64
	(3) ふくしま応援ミュージアムイベント	64
	(4) 館長サタデープロジェクト	67
	(5) 復興応援パートナー事業	67
	(6) はま・なか・あいつ文化連携プロジェクト	68
	8. 連携事業	75
	(1) 磐梯山ジオパーク推進事業	75
	(2) ふくしまサイエンスぶらっとフォーム	76
	(3) 福島芸術計画 × Art Support Tohoku - Tokyo	77
III	管理運営	80
	1. 組織・職員	80
	2. 予算	81
	3. 委員会の開催	82
	(1) 運営協議会	82
IV	利用状況	83
	1. 入館者統計	83
	(1) 平成25年度入館者統計	83
	(2) 入館者の推移	84
	(3) 企画展入館者統計	86
	2. 出版物販売	88
V	法 規	91
	福島県立博物館条例	91
	福島県立博物館運営協議会条例	92
	福島県立博物館条例施行規則	92
	福島県立博物館組織規則	95
	福島県立博物館条例に基づく知事の権限を福島県教育委員会に委任する規則	96
	福島県立博物館収集展示委員会設置要綱	96
	福島県立博物館資料所在調査要領	96
	福島県立博物館資料調査員設置要綱	97
	福島県立博物館友の会規約	97
VI	施設の概要	99
	1. 建築概要	99
	2. 設 備	99
	3. 平面図・各室一覧	100
	4. 施設の修理・改築	102
VII	利用案内	103

I 沿 革

《開館にいたるまで》

- 昭和52年 5月13日 文化を考える県民会議の設置
6～ 8月 文化に関する県民意識調査の実施
- 昭和53年 1月24日 文化を考える県民会議から県の文化振興について知事に報告
7月26日 第1回文化振興会議開催
- 昭和54年 2月 2日 文化振興会議から文化振興の具体策について知事に報告
3月19日 文化施設等整備基金条例制定
4月 1日 福島県教育庁文化課内に文化施設班を設置
12月24日 福島県美術品等取得基金条例制定
- 昭和55年 4月 1日 福島県教育庁文化課内文化施設整備室を設置
- 昭和56年 1月26日 県立博物館基本構想検討委員会から建設基本構想の報告を受ける
2月 3日 県立博物館の建設地を「会津若松市」と決定
- 昭和57年 2月18日 県立博物館収集展示委員会より「県立博物館総合展示及び部門展示計画」の報告
- 昭和58年 7月30日 建築実施設計を委託（株式会社佐藤武夫設計事務所）
展示実施設計を委託（株式会社トータルメディア開発研究所）
- 昭和59年 6月 8日 建設工事契約（㈱清水建設仙台支店・㈱会津土建・㈱秋山建設による共同企業体）
7月 7日 県立博物館建築工事着工（～61.3.25）
7月10日 展示工事委託契約（㈱トータルメディア開発研究所・㈱乃村工藝社・㈱丹青社による共同企業体）
7月13日 展示工事着工（～61.9.10）
- 昭和61年 3月25日 県立博物館条例 同施行規則 同運営協議会条例及び組織規則制定（61.4.1 施行）
3月31日 県立博物館公所開設にともない文化施設整備室を廃止
4月 1日 県立博物館公所開設 高橋富雄が初代館長として就任 運営協議会委員10名委嘱
10月 1日 展示解説員19名採用
10月18日 県立博物館開館

《開館してから》

- 昭和61年11月28日 登録博物館の指定（第10号）
- 昭和63年 8月21日 入館者50万人達成
- 平成元年 3月10日 友の会設立
- 平成 2年10月 7日 入館者100万人達成
- 平成 4年 3月31日 日本育英会の第一種学資金の返還を免除される職を置く研究所等の指定（文部大臣）
- 平成 5年 4月 1日 展示解説員22名となる
- 平成 7年 5月 5日 入館者200万人達成
- 平成 8年10月 5日 開館10周年記念式典を催す
- 平成12年10月15日 入館者300万人達成
- 平成13年 1月25日 博物館リニューアル事業に伴い、新基本構想検討委員会により「福島県立博物館新基本構想」が策定される
- 平成14年 3月25日 博物館リニューアルの新基本構想に基づいて「展示替え基本計画」を策定

- 平成15年 3月24日 博物館条例第4条改正により小・中学生及び高校生の普通観覧料を無料とする
- 3月28日 高橋富雄館長 「金曜講座」第393回目開催
- 3月31日 高橋富雄館長退任
- 4月 1日 赤坂憲雄が県立博物館長に就任
前館長高橋富雄に県立博物館名誉館長の称号授与
- 平成16年 4月 8日 赤坂憲雄館長・学芸員 「木曜の広場」第1回開催
- 平成17年 5月 6日 入館者350万人達成
- 平成18年 9月29日 博物館開館20周年を祝う会「おめでとう20歳の博物館」開催
- 平成19年 7月21日 当館と鹿児島県歴史資料センター黎明館との共同企画で企画展「樹と竹―列島の文化北から南から―」を開催
- 平成20年 7月19日 磐梯山噴火記念館および野口英世記念館と連携して共同企画展「会津磐梯山」を開催
- 平成22年 6月26日 県内の5つの文化施設（福島県立博物館、福島県文化センター、文化財センター白河館、アクアマリンふくしま、ふくしま県民の森フォレストパークあだたら）が連携して夏の企画展「山に生き森に遊ぶ―ふくしまの森林文化―」を開催
- 平成23年 3月11日 宮城県牡鹿半島沖の海底を震源としたマグニチュード9.0の大地震が発生。会津若松市は震度5強。博物館では設備および資料に若干の被害があり、展示室の安全性の確認と修繕工事のため4月10日まで休館。
- 平成24年 5月15日 「福島県被災文化財等救援本部」が発足。当館は、福島県教育庁文化財課、福島大学、福島県文化振興財団とともに幹事として参画。8月～11月にかけて、東京電力福島第1原発事故による警戒区域内に所在する双葉町歴史民俗資料館、富岡町歴史民俗資料館、大熊町民俗伝承館に収蔵されている資料の梱包、搬出、一時保管場所への搬入作業を実施。
- 平成25年 5月17日 2013年NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」を開催
- 11月27日 「博物館ニュース」創刊から400号達成

II 事業の概要

1. 資料収集事業

(1) 収集展示委員会

ア. 収集展示委員会委員

館の収集資料、企画展の計画等についての審議のため、12人を委嘱している。

福島県立博物館収集展示委員会 委員名簿

氏名	役職名	備考
有賀 祥隆	元東北大学大学院文学研究科教授	委員長
野沢 謙治	郡山女子大学短期大学部文化学科教授	副委員長
入間田宣夫	一関市博物館館長	委員
大石 雅之	岩手県立博物館学芸部長	委員
岡田 清一	東北福祉大学教授	委員
佐々木利和	北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授	委員
設楽 博己	東京大学大学院人文社会系研究科教授	委員
原田 一敏	東京芸術大学大学美術館教授	委員
三上 喜孝	山形大学人文学部人間文化学科准教授	委員
村川 友彦	福島県史学会会長、元福島県歴史資料館課長	委員
柳田 俊雄	東北大学総合学術博物館教授	委員
渡邊 一雄	福島県考古学会顧問	委員

イ. 会議

平成26年3月6日(木)

議題

- ①平成25年度事業の実施状況について
- ②平成26年度事業計画について
- ③平成26年度の企画展等について
- ④その他
文化財レスキュー事業の実施状況について

(2) 受贈・受託

ア. 歴史資料

(ア) 受贈

天保通宝	1件	個人
福島県関係観光絵葉書およびパンフレット類	1件	個人
西国三十三所他御詠歌ほか	11件	個人
掛物ほか	10件	個人
浅羽家資料	29件	個人
陣笠	1件	個人
若松城写真	1件	個人
日本甲冑の新研究(上・下)	2件	個人
歩兵第六十五陸連隊行動概要ほか	11件	個人

(イ) 受託

古文書(卷子)ほか	262件	双葉町教育委員会教育長
-----------	------	-------------

脇差	1件	個人
老中奉書ほか	2件	個人
酒井安右衛門関係文書	1件	個人
斎藤家肝煎文書	1件	個人
築田家家系など	6件	個人
童子訓版木火鉢ほか	2件	個人
金剛界大日如来仏像ほか	5件	個人
切手・葉書等郵便資料	390件	個人
板かるた	1件	個人

イ. 美術資料

(ア) 受贈

白地松竹梅鶴亀模様打掛ほか	3件	個人
武井柯亭書ほか	3件	個人

ウ. 民俗資料

(ア) 受贈

彼岸獅子の絵	1件	個人
断ち板ほか	4件	個人
行燈ほか	29件	個人
宝船ほか	4件	個人
解説冊子ほか	4件	個人
背あて具ほか	2件	個人
天神人形ほか	4件	個人
唐人凧ほか	5件	個人

(イ) 受託

龍立ほか	3件	個人
会津幕之内誌ほか	4件	個人

エ. 考古資料

(ア) 受贈

三島町佐渡畑遺跡及び柳津町砂子原居平遺跡採集石鏃等ほか	89件	個人
-----------------------------	-----	----

(イ) 受託

黒曜石製石核ほか	7件	個人
重弁蓮華文軒丸瓦	35件	富岡町教育委員会教育長

オ. 自然資料

(ア) 受贈

長石ほか	7件	個人
ヒロノリュウ頸骨ほか	2件	個人
鉱物・岩石標本等	98件	福島県立梁川高等学校校長
先カンブリア時代及び顕生代の岩石・化石	30件	個人

(イ) 受託

化石・鉱物標本	1件	個人
---------	----	----

(3) 購入

ア. 美術資料

東日本大震災復興記録写真「Reflection」
1件
港千尋・岡部昌生作フロッタージュ作品・
関連資料パッケージ「ARCHIVES 2001-
2012」 1件
岡部昌生作フロッタージュ「おらほの碑」
1件

イ. 自然資料

カモノハシリユウとアルバートサウルス産状
(複製) 1件
プロトケラトプス頭骨 (複製) 1件
三葉虫化石 1件
三疊紀・ジュラ紀動物化石他 80件

ウ. 図書資料

(ア) 一般図書

考古分野50冊、歴史分野41冊、美術分野88
冊、民俗分野56冊、自然分野74冊、保存分
野75冊、その他179冊 計563冊

(イ) 定期刊行物

定期刊行物リスト (平成26年3月31日現在)

	定期購読雑誌	分野
1	考古学研究	考古
2	宗教研究	民俗
3	ナショナルジオグラフィック	共通
4	第四紀研究	自然
5	ヒストリア	歴史

	定期購読雑誌	分野
6	考古学雑誌	考古
7	日本民俗学	民俗
8	信濃	共通
9	ミュゼ	共通
10	史林	共通
11	史学雑誌	歴史
12	歴史評論	歴史
13	地方史研究	歴史
14	日本史研究	歴史
15	日本歴史	歴史
16	歴史学研究	歴史
17	仏教芸術	美術
18	美術手帖	美術
19	芸術新潮	美術
20	国華	美術
21	古代文化	考古
22	文化財発掘出土情報	考古
23	考古学ジャーナル	考古
24	季刊考古学	考古
25	日経サイエンス	自然
26	科学	自然
27	化学	保存科学
28	海洋	自然
29	地球	自然
30	月刊文化財	共通
31	たくさんのふしぎ	共通
32	ニュートン	共通

2. 保存管理事業

(1) 資料の収蔵

ア. 博物館資料

資料受入れ時点における収蔵資料件数の、

現在までの累計を示す。件数は概数であり、「一括」で受け入れた資料も1件と数えている。

収蔵資料数 (平成26年3月31日現在)

分野	件数	備考
考古	20,386	土器・石器・金属器ほか
民俗	13,164	生活・生業・交通・信仰・芸能用具ほか
歴史	21,749	書籍・文書資料ほか
美術	6,185	絵画・彫刻・工芸資料ほか
自然	48,636	化石・岩石・鉱物ほか
合計	110,120	

収蔵指定文化財一覧 (寄託資料を含む)

(平成26年3月31日現在)

連番	指定順	指定者	指定種別	資料種類	指定番号	資料名	点数	単位	備考
1	26	国	重要文化財	絵画	1903	絹本著色阿弥陀二十五菩薩来迎図	1	幅	館蔵
2	1	国	重要文化財	絵画	6	紙本著色蒲生氏郷像	1	幅	寄託
3	10	国	重要文化財	工芸品	2065	銅鉢	2	口	指定4口中の2口寄託
4	13	国	重要文化財	工芸品	2187	椿彫木彩漆笈	1	背	館蔵
5	6	国	重要文化財	工芸品	981	白銅三鈷杵	1	点	寄託

連番	指定順	指定者	指定種別	資料種類	指定番号	資 料 名	点数	単位	備考
6	9	国	重要文化財	工 芸 品	2055	刺繍阿弥陀名号掛幅	1	幅	寄託
7	17	国	重要文化財	考古資料	352	会津大塚山古墳出土品	一括		寄託
8	14	福島県	重要文化財	絵 画	10	絹本著色松平榮翁像	1	幅	館蔵
9	31	福島県	重要文化財	絵 画	25	絹本著色達磨図	1	幅	寄託
10	32	福島県	重要文化財	絵 画	26	絹本墨画著色寒山図・絹本墨画著色拾得図	2	幅	寄託
11	3	福島県	重要文化財	絵 画	3	紙本著色千葉妙見寺縁起	2	巻	寄託
12	19	福島県	重要文化財	絵 画	13	絹本著色名体不離阿弥陀画像	1	幅	寄託
13	34	福島県	重要文化財	絵 画	27	絹本著色熊野曼陀羅図	1	幅	寄託
14	35	福島県	重要文化財	絵 画	28	絹本著色普賢菩薩像	1	幅	寄託
15	2	福島県	重要文化財	絵 画	2	紙本著色両界種子曼荼羅	2	幅	寄託
16	11	福島県	重要文化財	彫 刻	29	木造地藏菩薩坐像	1	軀	寄託
17	7	福島県	重要文化財	彫 刻	81	銅造聖観音菩薩立像(羽黒山湯上神社)	1	軀	寄託
18	8	福島県	重要文化財	彫 刻	23	銅造聖観音菩薩立像(福聚寺)	1	軀	寄託
19	29	福島県	重要文化財	工 芸 品	58	銅鉢	1	口	寄託
20	24	福島県	重要文化財	工 芸 品	55	青磁牡丹唐草文大瓶	1	口	寄託
21	16	福島県	重要文化財	工 芸 品	40	十一面観音版木	1	枚	寄託
22	20	福島県	重要文化財	工 芸 品	42	刺繍阿弥陀三尊来迎掛幅	1	幅	寄託
23	22	福島県	重要文化財	工 芸 品	53	大名家婚礼調度等	47	件	寄託
24	12	福島県	重要文化財	書 跡	8	紙本墨書猪苗代兼載書八代集秀逸	1	巻	寄託
25	15	福島県	重要文化財	書 跡	10	相馬家系図	1	巻	寄託
26	38	福島県	重要文化財	典 籍	3	家世実紀	277	冊	館蔵
27	36	福島県	重要文化財	古 文 書	10	築田家文書	一括		寄託
28	39	福島県	重要文化財	考古資料	35	流廃寺跡出土金銀象嵌鉄剣	1	口	寄託
29	4	福島県	重要文化財	考古資料	1	福島信夫山出土品	一括		館蔵
30	21	福島県	重要文化財	考古資料	14	金銅製双魚袋金具	2	枚	館蔵
31	25	福島県	重要文化財	考古資料	21	原山1号墳出土埴輪	一括		館蔵
32	33	福島県	重要文化財	考古資料	28	常世原田遺跡出土品	一括		館蔵
33	5	福島県	重要文化財	考古資料	2	田村山古墳出土品	一括		寄託
34	41	福島県	重要文化財	考古資料	46	相馬・双葉地方の弥生時代石器	一括		館蔵
35	43	福島県	重要文化財	考古資料	23	松野千光寺経塚出土品	一括		寄託
36	23	福島県	重要文化財	考古資料	20	五職神経塚出土銅製経筒 附 石製外容器 3口	3	口	寄託
37	37	福島県	重要文化財	考古資料	33	森北1号墳出土品	一括		寄託
38	40	福島県	重要文化財	考古資料	40	荒屋敷遺跡出土品	一括		寄託
39	28	福島県	重要文化財	歴史資料	4	絹本著色恵日寺絵図	1	幅	寄託
40	30	福島県	重要文化財	歴史資料	5	陸奥国会津城絵図	1	鋪	館蔵
41	42	福島県	重要文化財	歴史資料	15	絹本著色飯豊山山道絵図	1	巻	寄託
42	18	福島県	重要有形民俗文化財	有形民俗文化財	16	上行合人形	368	点	寄託
43	27	福島県	天然記念物	化 石	63	パレオパラドキシア化石梁川標本	1	体	館蔵

イ. 図書および映像資料

(ア) 収蔵図書数 (平成26年3月31日現在)

考古分野：23,264冊 民俗分野：4,424冊
 歴史分野：9,629冊 美術分野：3,673冊
 自然分野：15,894冊 保存分野：1,564冊
 その他：53,992冊 合計：112,440冊

(イ) 収蔵映像資料数(平成26年3月31日現在)

収蔵映像資料総数：1,370点

(2) 登録・整理

ア. 資料管理システムの運用

マイクロソフト社製コンピュータ基本ソフトWindows XPのメーカーサポートが平成26年4月9日を以て終了するのに伴い、かねがね、同基本ソフト上でしか正しく動作しない従来の資料管理システムMuseum Keeperを更新する必要が生じていた。本年度、これを実施するための予算が認められたのでシステム

を更新した。新たにASP方式の博物館資料管理専用システムである早稲田システム開発株式会社製 I.B. Museum SaaS を導入し、既存データを移行して更新を完了した。同時に、来館者サービスの一端として資料情報の公開等に対応するため、LAN回線を改修・延長し、端末パソコン等を更新・増設して公開のための準備を行った。

これらにより資料管理システムは一新された。新システムはASP方式であるため、県教育委員会のFKS回線を介して端末パソコンをインターネットに接続し、システムを利用するものとした。このため、これまで運用して来た資料管理システム専用の館内LAN回線をFKS回線に統合したので、2系統あった回線が一本化された。

今回、システム更新のために要した費用は、

1. 新システム導入

(データ移行、入力画面設計・制作、帳票出力用ローカルプログラムの作成、操作法説明会費用等を含む) 380万円

2. LAN回線の改修および延長工事

172万円

3. 端末機器購入(設定、調整費用含む)

235万円

である。

新システムの導入により、これまで不可能だったデータの一括登録や一括修正が可能となり、システムの機能は格段に向上した。また、ASP方式の採用によりサーバーの設置が不要となったことから、サーバーのメンテナンスや老朽化に伴う交換、定期的なデータのバックアップ作業などがすべて不要となり、これによりランニングコストもこれまでより削減された。更に、システムのインターネットへの接続により、資料情報の外部公開が可能となり、サービス機能が大幅に向上した。

今後、初期不良があれば修正し、資料登録に関して運用を開始する。また資料情報の外部公開についてはその準備を進め、試験的な運用を行って不都合が発生しないか確認の後、本格的に運用する。

イ. 資料の登録

整理が終了した資料のデータを資料管理システムに入力し、資料の登録を行った。表中の数値は登録済み資料の件数を示す。なお本年度は、上記した資料管理システム更新作業に伴い、旧システムを使用できる期間が制限

されたため、表に示したのは平成26年2月13日までの登録件数である。また同じ理由から、本年度は中期目標による従来のような資料の登録目標件数を設けなかったため、登録件数はこれまでより少なくなっている。ただし中期目標における5年間で1万件の登録件数の目標は、すでに平成24年度末に達成済みである。

登録資料数 (平成26年2月13日現在)

資料類別	登録資料 (平成25年度)	登録資料 (累計)
考古資料類	568	11,634
民俗資料類	62	13,610
歴史資料類	0	36,567
美術工芸品類	3	6,218
自然標本類	274	23,645
合計	907	91,674

ウ. ボランティア

博物館資料の整理のため、次の通り資料整理ボランティアを受け入れ、資料の整理を行った。

(ア) 自然資料整理

桑原 功 企画展「対決! 恐竜展」展示設
営および撤収作業協力

述べ7日

(イ) 古文書整理

古文書整理ボランティア登録者のうち12名が延べ68日参加し、松崎達夫家文書の整理作業(表題・年代・法量などのデータ採取)を行った。終了したのは257点。参加者は五十嵐晴日子、大堀義子、小熊和子、笠間せい子、川原太郎、菊池フミ子、小関栄助、佐藤敏子、佐藤紀子、鈴木清二、馬場純、星弘明の諸氏。

(3) 貸出

ア. 博物館資料

貸出資料一覧

資料名	貸出先	期間	展覧会名
谷文晁「八仙人図」	サントリー美術館	6月11日～9月16日	企画展「生誕250周年谷文晁」
蒲生氏郷書状蒲生郷成宛1幅	仙台市博物館	9月20日～11月29日	特別展「伊達政宗の夢－慶長遣欧使節と南蛮文化－」
蒲生氏郷画像			
蒲生記			
阿弥陀二十五菩薩来迎図	サントリー美術館	11月23日～ 平成26年1月13日のう ちの3週間（展示期間）	平等院鳳凰堂平成修理記念 「天上の舞 飛天の美」
只見町猿倉遺跡出土ナイフ形石器1点	三条市諸橋轍次記念館多 目的ホール	6月20日～8月10日	企画展「八十里越を行く」
刺繍阿弥陀名号掛幅1幅（阿弥陀 寺所蔵）	南相馬市博物館	9月14日～ 12月6日（会期）	平成25年度秋季特別展「鹿島 のたからもの 南相馬市のなか で」
刺繍阿弥陀三尊来迎図掛幅1幅 （阿弥陀寺所蔵）			
法然上人像版木（阿弥陀寺所蔵）			
郡山市熱海町出土ナウマンゾウ 臼歯（レプリカ）	公益財団法人郡山市文 化・学び振興公社	7月31日～8月31日	大安場史跡公園開園5周年記 念事業ダンボールアートDE 夏休み「昔の動物園」コーナ ー
会津藩廻米路絵図	千葉県立関宿城博物館	10月1日～12月10日	特別展「川が結ぶ－東北地方 と江戸を結んだ利根川水運－
戊辰戦争図（白河之戦）	白河市歴史民俗資料館	9月20日～11月4日 （会期）	特別企画展「新島八重の生涯 と白河～白河がつなぐ故郷へ の想い」
真匠銀光「会津戦争記聞」			
官軍勝利会津落城			
早川松山「会津軍記」			
慶應四年辰正月伏見戦争以来戦 死人別			
新島八重再現ドレス			
金銅製双鱼袋金具（甲・乙）2点	南相馬市博物館	9月1日～12月6日	特別展「鹿島のたからもの 南相馬市のなかで」
相馬・双葉地方の弥生時代石器の うち天神沢遺跡出土石包丁6点			
朝日稲荷神社奉納絵馬23点（須 田秀幸氏寄託）	須賀川市博物館	9月3日～10月27日	企画展「震災から救出された 須賀川の歴史展」
会津美里町油田遺跡1356号土坑 出土勾玉・管玉1連	栃木県立博物館	9月18日～12月15日	企画展「弥生人の祈り」
同 1547号土坑出土管玉1連			
十二天図軸木7本（修復銘有）	磐梯町磐梯山慧日寺資料 館	10月5日～ 11月30日（会期）	企画展「慧日寺再興への軌跡 －近世の慧日寺を支えた住持 たち－」
宝物并年中行事目録 恵日寺 1冊			
若松城下絵図屏風	同志社大学同志社社史資 料センター	11月29日～ 12月23日（展示期間）	ハリス理化学館同志社ギャラ リー第1回企画展「新島襄と 八重」
新島八重筆一行書「心和得天真」		平成26年2月5日～ 2月28日（展示期間）	

資料名	貸出先	期間	展覧会名
新島八重再現ドレス	福島県織物同業会 会場：かわまたおりもの 展示館	11月16日～ 12月15日（会期）	特別企画展「川俣シルクを使 った「八重の桜」衣装展」
新島八重関連写真パネル			
鳥脚類恐竜「ヒロノリュウ」の 頸椎	群馬県立自然史博物館	11月19日～ 平成26年3月25日	研究のための複製製作
「ヒロノリュウ」の歯			
渡部南嶽「山水図」	奥会津博物館	平成26年4月26日～ 7月26日 (展示期間)	企画展「渡部南嶽」
渡部南嶽「牛図」			
十二天図旧軸木のうち慶長六年 銘1点	磐梯町磐梯山慧日寺資料 館	平成26年3月27日～ 12月3日	磐梯町磐梯山慧日寺資料館常 設展
十二天図旧軸木のうち正徳六年 銘（二月上旬吉祥）1点			
新生代植物化石 温帯－冷温帯 植物群と暖帯－亜熱帯性植物群 14点	財団法人ふくしま海洋科 学館	平成26年4月1日～ 平成27年3月31日	同館常設展
鈴木敬治植物化石コレクション より、福島県金山町玉梨におけ る上井草層中の堆積岩塊から産 出する植物化石24点	国立科学博物館地学研究 部	平成26年3月20日～ 平成27年3月31日	植物化石の同定を行なうため

イ. 写真資料

全133件

歴史：109点

美術：53点

考古：37点

民俗：14点

自然：22点

計235点

(4) 保 存

ア. 防虫作業等

(ア) 保存環境調査

常設展示室・収蔵資料展示室・企画展示
室、収蔵庫（一時、第1～第6収蔵庫）、
エントランスホール、体験学習室、講堂、
事務室、会議室、研究室、図書室、空調機
械室など主要なスペースについて昆虫、室

内塵埃中昆虫、空中浮遊菌、空中浮遊塵埃
数、気相（アルカリガス定性、ホルムアル
デヒド、酢酸、アンモニアの気中濃度）及
び温度、湿度、照度等について調査を行っ
た。

調査は季節による生息害虫等の状況を確
認するため、6月17日～7月3日、10月29
日～11月28日の2回にわたり実施した。

(イ) 燻蒸庫による燻蒸

第1回（8月8日）～第3回（3月27日）
まで、新収蔵資料および企画展出品資料な
どを中心に約345件の燻蒸を実施した。

3. 展示事業

(1) 常設展示

総合展示と部門展示からなる。総合展示は、原始から現代までの福島県の歴史を通観し、人々の暮らしを時系列に沿って展示している。原始・古代・中世・近世・近現代・自然と人間の6つのテーマで構成される。部門展示は、テーマ性の高い専門的な展示であり、民俗・自然・考古・歴史美術の展示に分かれる。このうち「歴史美術」は実質的には美術分野が中心で展示する小規模展示室として機能している。

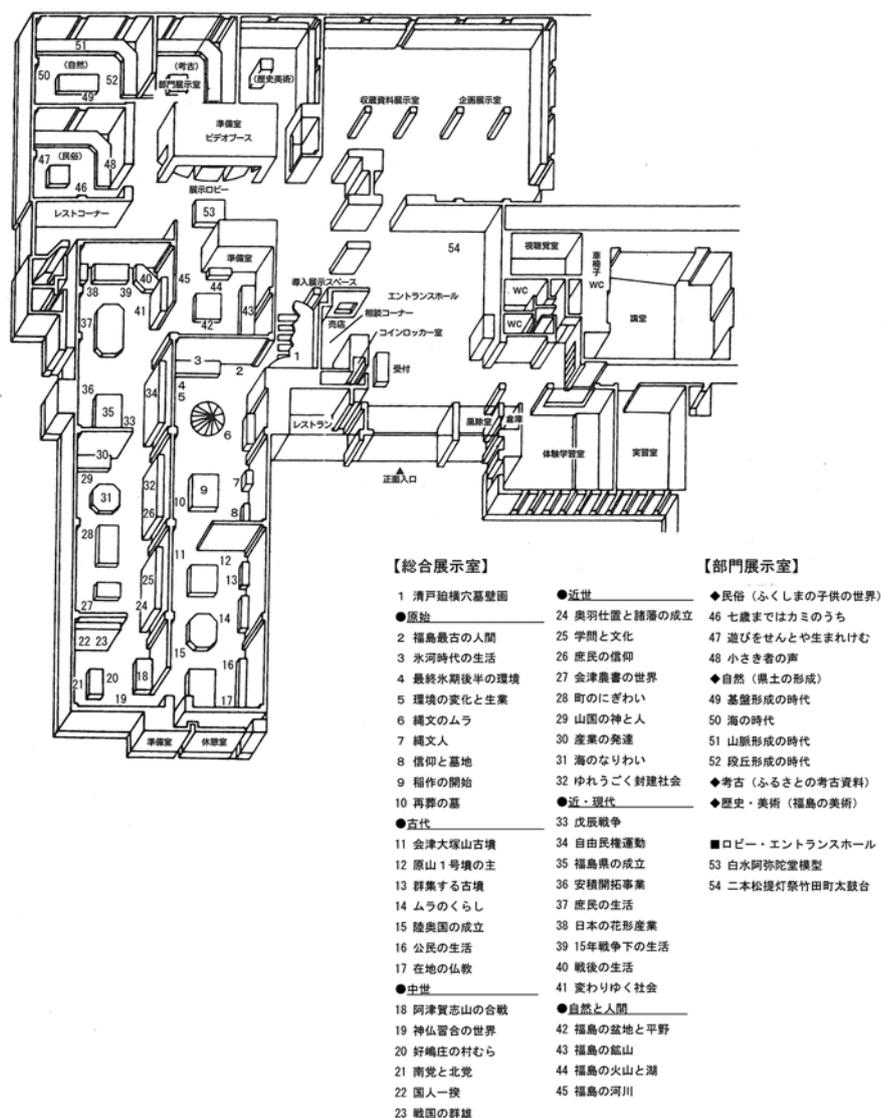
従来、部門展示の歴史美術では年間7～8回のテーマを設けた中規模展示を開催しているが、他の常設展示では小規模な展示替えを不定期に実施していたのみであり、来館者に常設展示の固定化と捉えられてしまう懸念があった。

そこで平成21年度からは、期間を区切って展示替えを行う、「テーマ展」と「ポイント展」を新たな範疇として常設展示に加えることとし、今年度も継続して実施した。「テーマ展」は特定のテーマ・ストーリー設定に基づく中規模の展示であり、「ポイント展」は1点ものの資料や数点の特色ある資料に着目して紹介する小規模展示である。どちらの展示も学芸員が日頃行っている資料収集と専門的な研究の成果を反映させて資料の持つ価値を再評価しようとする試みである。

テーマ展・ポイント展として常設展示の中で独立的に扱うことにより、展示替えをしやすくする効果が生まれた。

ア. 展示構成

福島県立博物館の展示構成



イ. テーマ展

常設展エリア内において、特定のテーマを設定した小・中規模展示を「テーマ展」として実施した。本年度が5年目である。全8回実施。「ふくしまの考古資料4【大熊町】遺跡探訪」展は大熊町教育委員会との共催事業である。

- ①「ふるさとの考古資料3 館蔵『9人のコレクション』展」(部門：考古展示室)
平成24年度より継続～平成25年5月12日(日)
- ②「東神指の彼岸獅子」(部門：歴史美術展示室)
平成24年度より継続～
平成25年5月6日(月・祝)
- ③「絵図でタイムトリップ!幕末の若松城下」(収蔵資料展示室)
平成25年4月13日(土)～5月6日(月・祝)
- ④「ふるさとの考古資料4【大熊町】遺跡探訪」(部門：考古展示室)
平成25年6月18日(火)～
平成26年5月11日(月・祝)
- ⑤「資料でたどる山川浩と健次郎」(部門：歴史美術展示室)
平成25年7月20日(土)～9月23日(月・祝)
- ⑥「現代「漆・歴史」考」(部門：歴史美術展示室)
平成25年10月5日(土)～12月8日(日)
- ⑦「けんぱくの宝2013」(部門：歴史美術展示室)
平成25年12月21日(土)～平成26年2月2日(日)
- ⑧「博物館に漂着した資料たち—会津に生きた女性にいただいた資料から—」(部門：歴史美術展示室)
平成25年2月20日(木)～3月26日(水)



ふるさとの考古資料4【大熊町】遺跡探訪



博物館に漂着した資料たち



絵図でタイムトリップ!幕末の若松城下

ウ. ポイント展

常設展エリア内において、特定資料の公開を目的とした小規模展示を「ポイント展」として実施した。本年度が5年目である。全19回実施。また、今年度は博物館実習生の制作による「東北郷土玩具の世界—県立博物館コレクションより—」をポイント展として実施した。

- ①「青年貯蓄会の嶋台」(部門:民俗展示室)
平成25年4月4日(木)～5月1日(水)
- ②「伝来資料にみる土津神社Vol.1」(総合:近世展示室)
平成25年4月6日(土)～6月28日(金)
- ③「近世に書かれた中世の城絵図」(総合:中世展示室)
平成25年4月6日(土)～7月19日(金)
- ④「八重の時代の会津人」(総合:近・現代展示室)
平成25年4月6日(土)～12月27日(金)
- ⑤「伝統の継承—福島県立会津工業高校所蔵逸品ギャラリー—」(レストコーナー)
平成25年4月6日(土)～12月15日(日)
- ⑥「伝来資料にみる土津神社Vol.2」(総合:近世展示室)
平成25年6月29日(土)～9月27日(金)
- ⑦「近世農具の発展」(総合:近世展示室)
平成25年7月18日(木)～10月9日(水)
- ⑧「会津葦名氏・伊達政宗の文書」(総合:中世展示室)
平成25年7月20日(土)～12月27日(金)
- ⑨「土偶ちゃん♡」(総合:原始展示室)
平成25年7月25日(木)～12月8日(日)
- ⑩「落下傘で作った着物」(部門:民俗展示室)
平成25年8月1日(木)～8月28日(水)
- ⑪「東北郷土玩具の世界—県立博物館コレクションより—」(エントランスホール)
平成25年9月1日(日)～9月29日(日)
- ⑫「江戸から会津へ—幕末の道中絵図にみる諸藩と宿場」(総合:近世展示室)
平成25年9月28日(土)～12月27日(金)
- ⑬「米作りを始めた頃の土器」(総合:原始展示室)
平成25年10月26日(土)～平成26年3月2日(日)
- ⑭「古代山岳寺院—棚倉町流麿寺跡」(総合:古代展示室)
平成25年10月26日(土)～平成26年3月2日(日)
- ⑮「火の用心!—道具でみる消防—」(部門:民俗展示室)
平成25年10月31日(木)～12月11日(日)

- ⑯「食卓を彩った昔の道具たち」(部門:民俗展示室)

平成25年12月19日(木)～平成26年2月19日(水)

- ⑰「石英と水晶」(レストコーナー)

平成26年2月7日(金)～3月30日(日)

- ⑱「小さなひな祭り」(部門:民俗展示室)

平成26年2月27日(木)～4月9日(水)

- ⑲「近世の水制工法」(総合:自然と人間展示室)

平成26年2月28日(金)～3月30日(日)



土偶ちゃん♡



博物館実習生によるポイント展『東北郷土玩具の世界』



食卓を彩った昔の道具

(2) 企画展示

歴史・美術・民俗・考古・自然の各分野が単独もしくは協力し企画した館のオリジナルなテーマに基づいた展示を中心に、期間を限定して開催している。

ア. 春の企画展

「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」

- (ア) 会 期 平成25年5月17日(金)～7月3日(水) 開館日数：46日間
- (イ) 会 場 福島県立博物館企画展示室
- (ウ) 入 場 者 数 23,935人
- (エ) 担当学芸員 歴史分野：佐藤洋一・古山智行
- (オ) 趣 旨

NHK大河ドラマ「八重の桜」と連動しながら、新島八重の生涯を「プロローグ」「会津の教え」「幕末の京都」「会津籠城」「古都復興―覚馬と襄―」「ハンサムウーマンへ」「エピローグ」の構成で紹介した。八重ゆかりの品々や彼女が生きた時代の関連資料約200点に加え、会場内には実際に使用していた家具を用いながら八重と夫である新島襄が暮らした新島旧邸（京都市指定有形文化財）の応接間を復元した。江戸・明治・大正・昭和という4つの時代を力強く生きた八重と戊辰戦争の敗戦から立ち上がった人々の姿を通して、復興へのメッセージを伝える展覧会となった。

なお本展は東京（東京都江戸東京博物館）、福島（当館）、京都（京都府京都文化博物館）の3会場を巡回した。

カ) 展示構成

プロローグ

- 第1章 会津の教え
- 第2章 幕末の京都
- 第3章 会津籠城
- 第4章 古都復興―覚馬と襄―
- 第5章 ハンサムウーマンへ

エピローグ

キ) 展示資料総数

210点

ク) 主な展示資料

- ・家訓（題字：松平容保 本文筆：山川浩）
- ・若松城下絵図屏風
- ・日新館童子訓（上・下巻）
- ・松平容保肖像写真 ・孝明天皇御宸翰
- ・鳥羽伏見合戦図 ・錦旗・山本覚馬建白
- ・奥羽越列藩同盟旗 ・白虎隊自刃図
- ・泣血氈

- ・新島八重筆和歌条幅「ふるさとの」
- ・新島襄所用コート ・新島八重宛書簡
- ・八重と襄の肖像 ・新島旧邸家具類
- ・新島襄遺言 ・日本赤十字社章
- ・新島八重筆一行書「心和得天眞」
- ・昭和三年京都会津会秋季例会記念集合写真

ケ) 関連行事

- ①記念講演会「描かれた幕末の会津藩―追鳥狩図・蛤御門の辺図を読み解く―」
講師：茨城大学人文学部教授 高橋修氏
日時：平成25年5月29日(水)
14時～15時45分
- ②シンポジウム「企画委員が語るNHK大河ドラマ特別展 八重の桜」1
講師：東京都江戸東京博物館 齋藤慎一氏
当館学芸員 佐藤洋一 高橋 充
日時：平成25年6月12日(水)
14時～15時45分
- ③シンポジウム「企画委員が語るNHK大河ドラマ特別展 八重の桜」2
講師：京都府京都文化博物館学芸員 西山剛
同志社大学同志社社史資料センター社史資料調査員 小枝弘和氏
当館学芸員 古山智行
日時：平成25年6月26日(水)
14時～15時45分

ふくしまから ぼほよほう。
Fukushima from Bohohoyohou.

家訓 源安斎書

2013年NHK大河ドラマ 特別展

激闘の時代を力強く生きた
新島八重と襄、
会津人の“絆”の物語
ゆかりの品々約200点 八重が愛した故郷 福島へ

山本 覚馬

八重と襄が暮らした
新島旧邸の応接間を復元

2013年5月17日(金)～7月3日(水)
9:30～17:00(入館は16:30まで) [休館日：6月3日(日)]
※5月17日(金)の入館は11:00からになります。 6月10日(日)

主催 福島県立博物館、NHK福島放送局、NHKプラネット東北
協賛 日本写真印刷、ハウス食品、三井住友海上
協力 同志社大学

会場 福島県立博物館 [企画展示室 部門展示室]

〒965-0801 福島県会津若松市城東町1-2 電話 0242-23-0000 0242-23-5500
F010901 www.gemuseum.museum.kanagawa.jp

80000 800000 NHK TV GO

「八重の桜」リーフレット



来場者1万人達成セレモニー



企画委員が語るNHK大河ドラマ特別展『八重の桜』1



シンポジウム「幕末・明治の京都一覚馬と襄、新選組」



展示風景

イ. 夏の企画展

「震災復興・国立科学博物館コラボミュージアムin会津若松

「対決！恐竜展 ティラノサウルスとトリケラトプス」

(ア) 会 期 平成25年7月27日(土)～
9月16日(月・祝)

開館日数：45日間

(イ) 会 場 福島県立博物館企画展示室

(ウ) 入館者数 18,987人

(エ) 担当学芸員 自然分野：相田 優

(オ) 趣 旨

この企画展は、国立科学博物館および全国科学博物館振興財団との共催による「震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム」として実施した。展示では、ふだん地方都市ではあまり目にするのでできない恐竜の全身骨格復元を複数展示し、恐竜に興味を持つ多くの人たち(特に子どもたち)の知的好奇心を満たすとともに、迫力ある恐竜の魅力を楽しんでもらう展示をめざした。

展示資料として、コラボミュージアムの巡回資料であるアロサウルス全身骨格や、平成23年に科博が開催した「恐竜博2011」で反響を呼んだ“しゃがんだ姿勢のティラノサウルス”などを展示し、最近の恐竜学のように紹介した。また、これらと当館の所蔵標本の展示とを組み合わせ、中生代古生物の概要を紹介し、来館者の自然科学的な好奇心を満たす展示となるよう心がけた。

さらに、コラボミュージアムの意図である地域の連携に目を向け、企画展全体の運営においてその実現に積極的に努めた。

(カ) 展示構成

1. アロサウルスとカンプトサウルス
2. 対決！ティラノサウルスとトリケラトプス
3. ジュラ紀の生きものたち
4. 白亜紀の生きものたち
5. ふくしまのジュラ紀化石と恐竜
6. ふくしまの白亜紀化石と恐竜
7. 恐竜時代の化石にさわってみよう

(キ) 展示資料総数

425点

(ク) 主な展示資料

アロサウルス全身骨格復元

カンプトサウルス全身骨格復元(複製)

ティラノサウルス全身骨格復元(複製)

トリケラトプス全身骨格復元（複製）
タルボサウルス全身骨格復元（複製）
世界のジュラ紀化石（裸子植物、アンモナイト、貝類化石など）
世界の白亜紀化石（裸子植物、被子植物、アンモナイト、魚類など）
相馬中村層群産化石（恐竜足跡、裸子植物など）
双葉層群産恐竜化石（フタバリュウ、オオヒサリュウなど）

(ケ) 関連行事

① 記念講演会「最新恐竜学」

日時：8月11日(日) 13時30分～15時

会場：福島県立博物館講堂

講師：国立科学博物館研究主幹

真鍋 真 氏

② 企画展イベント「夏休み恐竜ナイトミュージアム」(ふくしま応援ミュージアムイベントを兼ねる)

日時：8月17日(土) 17時30分～19時

会場：福島県立博物館企画展示室・講堂

講師：当館学芸員

相田 優・船尾武彦・竹谷陽二郎

FTVアナウンサー

浜中順子氏 (ボランティア)

③ 実技講座「ペーパーアートで恐竜をつくろう」

日時：8月24日(土) 13時30分～15時

会場：福島県立博物館実習室

講師：美術家 半沢政人氏

④ 企画展イベント「夏休み恐竜ナイトミュージアム Part II」

日時：9月15日(日) 17時30分～19時

会場：福島県立博物館企画展示室・講堂

講師：当館学芸員

相田 優・船尾武彦・竹谷陽二郎

FTVアナウンサー

若槻麻美氏 (ボランティア)

⑤ 展示解説会

7月28日(日) 13時30分～14時30分

講師：当館学芸員 相田 優

8月11日(日) 15時30分～16時30分

講師：国立科学博物館研究主幹

真鍋 真 氏

9月16日(月) 13時30分～14時30分

講師：当館学芸員 相田 優

(ク) 成果と課題

・開館日数45日というやや短めの会期中で、ほぼ1万9000人に達する入場者を迎えることができた。また、アンケートで

は80%以上の人が「おもしろかった」「まあまあおもしろかった」と回答しており、来館者の満足度という点では成功を収めたと言える。

- ・国立科学博物館および全国科学博物館振興財団と当館との「コラボミュージアム」という共催形式で開催することができ、また、先方には震災による被災地域への復興支援という強い意図があったため、予算措置と展示資料の両面において多大な支援を得ることができた。このため、当館側の開催経費は比較的小規模であるにもかかわらず、大規模な展覧会として立ち上げることが可能となった。
- ・恐竜標本に対して人気が集中したことは言うまでもないが、このほか、展示全体の構成や展示解説のわかりやすさ等に関して好意的な評価が散見された。
- ・アンケートによれば、今回の企画に対する賛意とともに、今後も「こどもたち」を対象とした展覧会への期待が多く示された。しかし同時に、来館者の側からは、「恐竜展は子供たちのための企画」という、あらかじめの固定観念で捉えられている様子は否めなかった。
- ・化石にさわるコーナーと恐竜シアターの人気が高かった。しかし恐竜シアターの映像資料は上映時間約5分の作品を1本しか用意できなかったため、上映時間の短さや作品数の不足に対する不満も多く聞かれた。
- ・通例、自然分野の企画展図録は売れ行きが伸びないことが多い。しかし今回はページ数の少ないガイドブック形式で作成し、一冊300円という廉価版としたため、会期中に376冊という異例の販売数を記録した。
- ・事前に詳細な展示形態を把握できない恐竜標本があったため、展示室で標本の配置が終了した後、動線の一部に窮屈な箇所が生じた。今後においては十分慎重に検討すべき反省点であった。
- ・国立科学博物館の連絡先が分散していることや、関係する連絡先が多く生じたことから、準備期間中の打合せと事務手続きに予想以上の時間と労力を取られ、展示内容そのものを十分に検討する余裕が失われた。
- ・結果的に準備時間が不足気味となり、十分な解説パネルとグラフィックスパネル

を用意できないコーナーが生じた。また、小型標本の展示手法を十分に工夫する時間が足りず、展示が単調になった。
・館内のコーヒーショップで小規模な恐竜

グッズ販売を行ったが、人気は高く、同時にミュージアムショップがないことへの不満や批判が聞かれた。

震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム in 会津若松

「対決！恐竜展 ティラノサウルスとトリケラトプス」展示資料一覧

展示テーマ

A：アロサウルスとカンプトサウルス

E：ふくしまのジュラ紀化石と恐竜

B：対決！ティラノサウルスとトリケラトプス

F：ふくしまの白亜紀化石と恐竜

C：ジュラ紀の生きものたち

G：恐竜時代の化石にさわってみよう

D：白亜紀の生きものたち

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
1	A	H25-01-001	アロサウルス 全身復元骨格	肉食恐竜	<i>Allosaurus fragilis</i>	ジュラ紀後期	モリソン層	アメリカ合衆国 ユタ州	国立科学博物館
2	A	N201300131	アロサウルスの 歯	肉食恐竜	<i>Allosaurus fragilis</i>	ジュラ紀後期	モリソン層	アメリカ合衆国 ワイオミング州	福島県立博物館
3	A	H25-01-002	カンプトサウルス 全身復元骨格(複製)	植物食恐竜	<i>Camptosaurus</i> sp.	ジュラ紀後期	モリソン層	アメリカ合衆国	国立科学博物館
4	A	H25-01-003	ステゴサウルスの プレート	植物食恐竜	<i>Stegosaurus</i> sp.	ジュラ紀	モリソン層	アメリカ合衆国 コロラド州	国立科学博物館
5	A	H25-01-003	ステゴサウルスの スパイク	植物食恐竜	<i>Stegosaurus</i> sp.	ジュラ紀	モリソン層	アメリカ合衆国 コロラド州	国立科学博物館
6	A	N199000001	カマラサウルスの 大腿骨	植物食恐竜	<i>Camarasaurus</i> sp.	ジュラ紀		アメリカ合衆国	福島県立博物館
7	A	N199700013	アンキサウリプスの 足跡(複製)	肉食恐竜	<i>Anchisauripus tuberosus</i>	ジュラ紀		アメリカ合衆国 マサチューセッツ州	福島県立博物館
8	A	N200401893	恐竜の糞		Coprolite	ジュラ紀後期	モリソン層	アメリカ合衆国 ユタ州	福島県立博物館
9	B	N200501290	プシッタコサウルス 全身骨格産状(複製)	植物食恐竜	<i>Psittacosaurus meileyingensis</i>	白亜紀前期		中華人民共和国 遼寧省	福島県立博物館
10	B	N199700010	イグアノドンの 歯(複製)	植物食恐竜	<i>Iguanodon mantelli</i>	白亜紀前期		イギリス サセックス州	福島県立博物館
11	B	N199700008	イグアノドンの 脊椎骨	植物食恐竜	<i>Iguanodon</i> sp.	白亜紀前期		イギリス ワイト島	福島県立博物館
12	B	N199700009	イグアノドンの 骨	植物食恐竜	<i>Iguanodon</i> sp.	白亜紀前期		イギリス ワイト島	福島県立博物館
13	B	H25-02-001	ティラノサウルス 全身復元骨格(複製)	肉食恐竜	<i>Tyrannosaurus rex</i>	白亜紀後期	ヘルクリーク層	アメリカ合衆国 サウスダコタ州	国立科学博物館
14	B	H25-02-002	ティラノサウルスの 頭骨(幼体)(複製)	肉食恐竜	<i>Tyrannosaurus rex</i>	白亜紀後期	ヘルクリーク層	アメリカ合衆国 モンタナ州	国立科学博物館
15	B	H25-02-003	トリケラトプス 全身復元骨格(複製)	植物食恐竜	<i>Triceratops prorsus</i>	白亜紀後期	ヘルクリーク層	アメリカ合衆国 モンタナ州	国立科学博物館
16	B	H25-02-004	トリケラトプスの 頭骨(幼体)(複製)	植物食恐竜	<i>Triceratops</i> sp.	白亜紀後期	ヘルクリーク層	アメリカ合衆国 モンタナ州	国立科学博物館
17	B	N201300167	トリケラトプスの歯	植物食恐竜	<i>Triceratops horridus</i>	白亜紀後期		アメリカ合衆国 モンタナ州	福島県立博物館
18	B	H25-02-005	タルボサウルス 全身復元骨格(複製)	肉食恐竜	<i>Tarbosaurus bataar</i>	白亜紀後期	ネメグト層	モンゴル人民 共和国	国立科学博物館
19	B	N201200404	ヴェロキラプトル 全身骨格産状(複製)	肉食恐竜	<i>Velociraptor osmolskae</i>	白亜紀後期		モンゴル人民 共和国	福島県立博物館
20	B	N201300169	ヴェロキラプトル の頭骨(複製)	肉食恐竜	<i>Velociraptor mongoriensis</i>	白亜紀後期	ジャドフタ層	モンゴル人民 共和国	福島県立博物館

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
21	B	N201300168	プロトケラトプスの頭骨(複製)	植物食恐竜	Protoceratops andrewsi	白亜紀後期	ジャドフタ層	モンゴル人民共和国	福島県立博物館
22	B	N200501289	サウロロプスの頭骨(亜成体)(複製)	植物食恐竜	Saurolophus sp.	白亜紀後期		モンゴル人民共和国	福島県立博物館
23	B	N201300170	カモノハシリュウとアルバートサウルスの産状(複製)	植物食恐竜・肉食恐竜	Hadrosauridae gen. et sp. indet., Albertosaurus sp.	白亜紀後期		アメリカ合衆国ワイオミング州	福島県立博物館
24	B	N199100001	ハドロサウルス類の指骨	植物食恐竜	Hadrosauridae gen. et sp. indet.	白亜紀		アメリカ合衆国モンタナ州	福島県立博物館
25	B	N199100002	ハドロサウルス類の指骨	植物食恐竜	Hadrosauridae gen. et sp. indet.	白亜紀		アメリカ合衆国モンタナ州	福島県立博物館
26	B	N200501287	恐竜の卵	植物食恐竜	“Dinosaur egg”	白亜紀		中華人民共和国 湖南省	福島県立博物館
27	C	N200600472	エクイセティテス	トクサ類	Equisetites iwamuroensis	ジュラ紀中期	来馬層群	富山・新潟県境	福島県立博物館
28	C	N200600442	エクイセティテス	トクサ類	Equisetites sp.	ジュラ紀中期	来馬層群	富山・新潟県境	福島県立博物館
29	C	N200600399	オニキオプシス	シダ類	Onychiopsis elongata	ジュラ紀中期	歌野層	山口県下関市	福島県立博物館
30	C	N200600424	コニオプテリス	シダ類	Coniopteris reiridaniensis	ジュラ紀中期	来馬層群	富山・新潟県境	福島県立博物館
31	C	N200600398	エボラシア	シダ類	Eboracia microlobifolia	ジュラ紀中期	歌野層	山口県下関市	福島県立博物館
32	C	N200600315	グレイケナイテス	シダ類	Gleichenites sp.	ジュラ紀中期	西中山層	山口県	福島県立博物館
33	C	N200600436	クラスロプテリス	シダ類	Clathropteris meniscoides	ジュラ紀中期	来馬層群	富山・新潟県境	福島県立博物館
34	C	53-8	マトニディウム	シダ類	Matonidium goepperti	ジュラ紀後期		福島県南相馬市原町区	国立科学博物館
35	C	N201300084	オスマンデスの樹幹	シダ類	Osmundites dunlopi	ジュラ紀	“ワルーン炭層”	オーストラリアクィーンズランド	福島県立博物館
36	C	N200600428	トダイテス	シダ類	Todites denticulatus	ジュラ紀中期	来馬層群	富山・新潟県境	福島県立博物館
37	C	N200600425	トダイテス	シダ類	Todites fastuosus	ジュラ紀中期	来馬層群	富山・新潟県境	福島県立博物館
38	C	N200600432	マラティア	シダ類	Marattia asiatica	ジュラ紀中期	来馬層群	富山・新潟県境	福島県立博物館
39	C	N200600427	アステロセーカ	シダ類	Asterotheca cf. okafujii	ジュラ紀中期	来馬層群	富山・新潟県境	福島県立博物館
40	C	N200600403	ニルソニア	ソテツ類	Nilssonia cf. densinervis	ジュラ紀中期	歌野層	山口県下関市	福島県立博物館
41	C	N200600440	ニルソニア	ソテツ類	Nilssonia nipponica	ジュラ紀中期	来馬層群	富山・新潟県境	福島県立博物館
42	C	N200801113	オトザマイテス	ベンネチテス類	Otozamites feistmanteli	ジュラ紀		オーストラリアクィーンズランド	福島県立博物館
43	C	N200600446	オトザマイテス	ベンネチテス類	Otozamites neiridaniensis	ジュラ紀中期	来馬層群	富山・新潟県境	福島県立博物館
44	C	N200600431	テロフィルム	ベンネチテス類	Pterophyllum propinguum	ジュラ紀中期	来馬層群	富山・新潟県境	福島県立博物館
45	C	N200600449	タイロフィルム	ベンネチテス類	Ptilophyllum nipponicum	ジュラ紀中期	来馬層群	富山・新潟県境	福島県立博物館
46	C	N200600400	タイロフィルム	ベンネチテス類	Ptilophyllum oshikaense	ジュラ紀中期	歌野層	山口県下関市	福島県立博物館
47	C	53-6	ウィリアムソニア	ベンネチテス類	Williamsonia sp.	ジュラ紀後期		宮城県石巻市	国立科学博物館

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
48	C	53-7	ウェルトリチア	ベンネチテス類	Weltrichia sp.	ジュラ紀後期		宮城県石巻市	国立科学博物館
49	C	N200600384	ディクティオザマイテス	ベンネチテス類	Dictyozamites ellipticus	ジュラ紀中期	歌野層	山口県下関市	福島県立博物館
50	C	N200600402	ザマイテス	ベンネチテス類	Zamites densipinnatus sp. nov.	ジュラ紀中期	歌野層	山口県下関市	福島県立博物館
51	C	N200600416	ザマイテス	ベンネチテス類	Zamites nipponicus	ジュラ紀中期	歌野層	山口県下関市	福島県立博物館
52	C	53-5	ザマイテス	ベンネチテス類	Zamites nipponicus	ジュラ紀後期		宮城県石巻市	国立科学博物館
53	C	N200600328	ザマイテス	ベンネチテス類	Zamites varius	ジュラ紀中期	歌野層	山口県下関市	福島県立博物館
54	C	N200600405	テニオプテリス	所属不明の裸子植物	Taeniopteris cf. de-terrae	ジュラ紀中期	歌野層	山口県下関市	福島県立博物館
55	C	N200600310	ギンクゴ	イチョウ類	Ginkgo huttoni	ジュラ紀中期		イギリス ヨーク州	福島県立博物館
56	C	N200600434	スフェノバイエラ	イチョウ類	Sphenobaiera cf. eurybasis	ジュラ紀中期	来馬層群	富山・新潟県境	福島県立博物館
57	C	N200600288	ブラキフィルム	針葉樹類	Brachyphyllum ex gr. Expansum	ジュラ紀中期	歌野層	山口県下関市	福島県立博物館
58	C	N200600410	カプレシノクラドス	針葉樹類	Cupressinocladus koyatoriensis	ジュラ紀中期	歌野層	山口県下関市	福島県立博物館
59	C	N200501324	ポドザミテス	針葉樹類	Podozamites sp.	ジュラ紀		石川県白山市	福島県立博物館
60	C	N200800876	タムナステリア	六放サンゴ	Thamnasteria sp.	ジュラ紀後期		フランス	福島県立博物館
61	C	N200801114	カラモフィリオプシス	六放サンゴ	Calamophylliopsis? sp.	ジュラ紀後期		ドイツ	福島県立博物館
62	C	N201300085	イサストラエア	六放サンゴ	Isastraea bernardiana	ジュラ紀中期		フランス	福島県立博物館
63	C	N200103533	テコスミア	六放サンゴ	Thecosmilia sp.	ジュラ紀後期	鳥巢石灰岩	高知県佐川町	福島県立博物館
64	C	N201300087	テコスミア	六放サンゴ	Thecosmilia trichotoma	ジュラ紀後期		ドイツ	福島県立博物館
65	C	N200103532	モンタストレア	六放サンゴ	Montastrea aff. Aokii	ジュラ紀後期	鳥巢石灰岩	高知県佐川町	福島県立博物館
66	C	N200700973	オボルネラ	巻貝 (オキナエビス類)	Obornella palaemon	ジュラ紀中期		ドイツ	福島県立博物館
67	C	N201300090	プレウロトマリア	巻貝 (オキナエビス類)	Pleurotomaria armata	ジュラ紀中期		ドイツ	福島県立博物館
68	C	N200300248	ピルゴトロクス	巻貝 (オキナエビス類)	Pyrgotrochus bessinus	ジュラ紀		スイス	福島県立博物館
69	C	N201300087-2	ネリネア	巻貝	Nerinea sp.	ジュラ紀後期		ドイツ	福島県立博物館
70	C	N200300247	ネリネア	巻貝	Nerinea tuberculosa	ジュラ紀後期		フランス	福島県立博物館
71	C	N200900762	グラマトドン	二枚貝	Grammatodon subdecussata	ジュラ紀中期		ドイツ	福島県立博物館
72	C	N200801106	モディオオルス	二枚貝	Modiolus maedae	ジュラ紀中期	御手洗層	岐阜県高山市	福島県立博物館
73	C	N200900826	イノセラムス	二枚貝	Inoceramus? sp.	ジュラ紀中期	綱木坂層	宮城県気仙沼市	福島県立博物館
74	C	N201300121	シュードペクテン	二枚貝	Pseudopecten equivalvis	ジュラ紀		イギリス グロスター州	福島県立博物館
75	C	N200300238	プラジオストマ	二枚貝	Plagiostoma giganteum	ジュラ紀前期		フランス	福島県立博物館

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
76	C	N200700974	グリファエア	二枚貝 (カキ類)	<i>Gryphaea mecullochi</i>	ジュラ紀前期		イギリス グロスター州	福島県立博物館
77	C	N200300246	ローファ	二枚貝 (カキ類)	<i>Lopha marshii</i>	ジュラ紀		フランス	福島県立博物館
78	C	N199300163	ミオフォレラ	二枚貝 (サンカクガイ類)	<i>Myophorella clavellata</i>	ジュラ紀		フランス	福島県立博物館
79	C	N199300164	スカフォトリゴ ニア	二枚貝 (サンカクガイ類)	<i>Scaphotrigonia navis</i>	ジュラ紀		フランス	福島県立博物館
80	C	N200601176	トリゴニア	二枚貝 (サンカクガイ類)	<i>Trigonia costata</i>	ジュラ紀中期		ドイツ	福島県立博物館
81	C	N200900761	トリゴニア	二枚貝 (サンカクガイ類)	<i>Trigonia interlaevigata</i>	ジュラ紀中期		ドイツ	福島県立博物館
82	C	N200900763	コエラスタルテ	二枚貝	<i>Coelastarte sp.</i>	ジュラ紀後期		マダガスカル	福島県立博物館
83	C	N200900764	ネオクラッシナ	二枚貝	<i>Neocrassina sp.</i>	ジュラ紀後期		マダガスカル	福島県立博物館
84	C	N200300239	フォラドマイヤ	二枚貝	<i>Pholadomya sp.</i>	ジュラ紀前期		イギリス グロスター州	福島県立博物館
85	C	N200801116	テトリマイヤ	二枚貝	<i>Tetorimya carinata</i>	ジュラ紀中期	御手洗層	岐阜県高山市	福島県立博物館
86	C	N201300120	プレウロマイヤ	二枚貝	<i>Pleuromya costata</i>	ジュラ紀		イギリス グロスター州	福島県立博物館
87	C	N199000003	セノセラス	オウムガイ	<i>Cenoceras lineatum</i>	ジュラ紀前期		フランス	福島県立博物館
88	C	N201300091	シューダガニ デス	オウムガイ	<i>Pseudaganides aganiticus</i>	ジュラ紀後期		ドイツ	福島県立博物館
89	C	N200900744	フィロセラス	アンモナイト	<i>Phylloceras sp.</i>	ジュラ紀後期		マダガスカル	福島県立博物館
90	C	N200401853	リトセラス	アンモナイト	<i>Lytoceras sp.</i>	ジュラ紀		ドイツ	福島県立博物館
91	C	N199400103	プシロセラス	アンモナイト	<i>Psiloceras planorbis</i>	ジュラ紀前期		イギリス サマセット州	福島県立博物館
92	C	N200401891	アリエタイテス	アンモナイト	<i>Arietites sp.</i>	ジュラ紀前期		ドイツ	福島県立博物館
93	C	N200801096	アルニオセラス	アンモナイト	<i>Arnioceras sp.</i>	ジュラ紀前期		イギリス ウィルト州	福島県立博物館
94	C	N201100804	アステロセラス	アンモナイト	<i>Asteroceras confusum</i>	ジュラ紀前期		イギリス ドーセット州	福島県立博物館
95	C	N201300094	ガガティセラス	アンモナイト	<i>Gagaticeras gagateum</i>	ジュラ紀前期		イギリス ヨーク州	福島県立博物館
96	C	N200801101	プロミクロセ ラス	アンモナイト	<i>Promicroceras sp.</i>	ジュラ紀前期		イギリス ドーセット州	福島県立博物館
97	C	N201100803	アカンソプレ ウロセラス	アンモナイト	<i>Acanthopleuroceras valdani</i>	ジュラ紀前期		フランス	福島県立博物館
98	C	N201100810	リパロセラス	アンモナイト	<i>Liparoceras cheltiense</i>	ジュラ紀前期		イギリス グロスター州	福島県立博物館
99	C	N200801088	プレウロセラス	アンモナイト	<i>Pleuroceras solare</i>	ジュラ紀前期		ドイツ	福島県立博物館
100	C	N200801100	ダクティリオ セラス	アンモナイト	<i>Dactiloceras commune</i>	ジュラ紀前期	アルム 頁岩層	イギリス ヨーク州	福島県立博物館
101	C	N198800044	ハルポセラス	アンモナイト	<i>Harpoceras sp.</i>	ジュラ紀		ドイツ	福島県立博物館
102	C	N200801097	ハマトセラス	アンモナイト	<i>Hammatoceras sp.</i>	ジュラ紀前期		フランス	福島県立博物館
103	C	N201100796	ペレコディテス	アンモナイト	<i>Pelekodites spatians</i>	ジュラ紀中期	綱木坂層	宮城県気仙沼市	福島県立博物館

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
104	C	N201100795	ソニニア	アンモナイト	Sonninia sp.	ジュラ紀中期	綱木坂層	宮城県気仙沼市	福島県立博物館
105	C	N201100812	ルドウィジア	アンモナイト	Ludwigia murchisonae	ジュラ紀中期	“下位オー ライト層”	イギリス ドーセット州	福島県立博物館
106	C	N200801099	オエコプティ チウス	アンモナイト	Oecoptychius refractus	ジュラ紀中期		フランス	福島県立博物館
107	C	N200900736	オケトセラ	アンモナイト	Ochetoceras sp.	ジュラ紀後期		マダガスカル	福島県立博物館
108	C	N201300097	ステファノセ ラス	アンモナイト	Stephanoceras orbigny	ジュラ紀中期		ドイツ	福島県立博物館
109	C	N200801090	コスモセラ	アンモナイト	Kosmoceras jason	ジュラ紀中期	“オックスフォ ード粘土層”	イギリス ウィルト州	福島県立博物館
110	C	N200700965	マクロセファリ テス	アンモナイト	Macrocephalites macurocephalus	ジュラ紀中期		フランス	福島県立博物館
111	C	N200801092	カドセラ	アンモナイト	Cadoceras sublaeve	ジュラ紀中期		イギリス ウィルト州	福島県立博物館
112	C	N201100816	クェンステッド セラ	アンモナイト	Quenstedtoceras lamberti	ジュラ紀中期		ロシア サラトフ	福島県立博物館
113	C	N201100797	ガランティアナ	アンモナイト	Garantiana sp.	ジュラ紀中期	荒砥層	宮城県石巻市	福島県立博物館
114	C	N200801095	ガランティアナ	アンモナイト	Garantiana sp.	ジュラ紀中期		フランス	福島県立博物館
115	C	N199300154	パーキンソニア	アンモナイト	Parkinsonia parkinsoni	ジュラ紀前期		イギリス ドーセット州	福島県立博物館
116	C	N200900746	ブラティモルフ イテス	アンモナイト	Bullatimorphites bullatus	ジュラ紀中期		フランス	福島県立博物館
117	C	N201100798	シュードニュー ケニセラ	アンモナイト	Pseudoneuqueniceras yokoyamai	ジュラ紀中期	手取層群	福井県大野市	福島県立博物館
118	C	N200900739	アウラコスフィン クトイデス	アンモナイト	Aulacosphinctoides infundibulus	ジュラ紀後期	サリグラム 層	ネパール	福島県立博物館
119	C	N200800877	ディコトモスフ インクテス	アンモナイト	Dichotomosphinctes sp.	ジュラ紀後期		フランス	福島県立博物館
120	C	N200300212	オルソスフィン クテス	アンモナイト	Orthosphinctes sp.	ジュラ紀後期		マダガスカル	福島県立博物館
121	C	N200900742	ペリスフィンク テス	アンモナイト	Perisphinctes sp.	ジュラ紀後期		マダガスカル	福島県立博物館
122	C	N201100822	ストラジェフス キア	アンモナイト	Strajevskya hypophantiformis	ジュラ紀後期		ロシア 北極 ウラル地方	福島県立博物館
123	C	N200801089	クラスベディ テス	アンモナイト	Craspedites subditus	ジュラ紀後期		ロシア コストロマ	福島県立博物館
124	C	N200300231	ユウアスピドセ ラス	アンモナイト	Euaspidoceras douvillei	ジュラ紀後期		フランス	福島県立博物館
125	C	N200700967	ラエバプティ クス	アンモナイトの 顎器の一部	Laevaptychus sp.	ジュラ紀後期		ドイツ	福島県立博物館
126	C	N201100818	ラセニア	アンモナイト	Rasenia involuta	ジュラ紀後期		イギリス リンカン州	福島県立博物館
127	C	N200900735	ブランフォルデ イセラ	アンモナイト	Blanfordiceras sp.	ジュラ紀後期	サリグラム 層	ネパール	福島県立博物館
128	C	N200401858	パキテウシス	ベレムナ イト	Pachyteuthis sp.	ジュラ紀		ロシア ミハイロフ	福島県立博物館
129	C	N200401886	メソリムルス	カプトガニ	Mesolimulus walchi	ジュラ紀		ドイツ	福島県立博物館
130	C	N200800875	エイガー	エビ	Aeger tipularius	ジュラ紀後期		ドイツ	福島県立博物館
131	C	N200401885	アントリンボス	エビ	Antrimpos sp.	ジュラ紀		ドイツ	福島県立博物館

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
132	C	N200801118	エリマ	ザリガニ	<i>Eryma modestiformis</i>	ジュラ紀後期		ドイツ	福島県立博物館
133	C	N199700015	ステノフレビア	トンボ	<i>Stenophlebia amphitrite</i>	ジュラ紀		ドイツ	福島県立博物館
134	C	N201100834	ペンタクリニテス	ウミユリ	<i>Pentacrinites</i> sp.	ジュラ紀中期		フランス	福島県立博物館
135	C	N200801110	アピオクリニテス	ウミユリ	<i>Apicrinites roissyanus</i>	ジュラ紀後期		フランス	福島県立博物館
136	C	N200900774	ミレリクリニテス	ウミユリ	<i>Millericrinites polydactulus</i>	ジュラ紀後期		フランス	福島県立博物館
137	C	N200801109	オフィオペトラ	クモヒトデ	<i>Ophiopetra lithographica</i>	ジュラ紀後期		ドイツ	福島県立博物館
138	C	N200900768	ラブドシダリス	ウニ	<i>Rhabdocidaris orbignyana</i>	ジュラ紀後期		フランス	福島県立博物館
139	C	N201100828	シュードシダリス	ウニ	<i>Pseudocidaris mammosa</i>	ジュラ紀後期		スペイン	福島県立博物館
140	C	N201100827	フィメキヌス	ウニ	<i>Phymechinus mirabilis</i>	ジュラ紀中～後期	オックスフォード層	フランス	福島県立博物館
141	C	N201100825	クリペウス	ウニ	<i>Clypeus ploti</i>	ジュラ紀中期	“下位オーライト層”	イギリス グロスター州	福島県立博物館
142	C	N201300122	ペンディナ	ウニ	<i>Pedina sublaevis</i>	ジュラ紀		フランス	福島県立博物館
143	C	N201300123	プセフェキヌス	ウニ	<i>Psephechinus</i> sp.	ジュラ紀		モロッコ	福島県立博物館
144	C	N201300128	セミオノータス	硬骨魚類	<i>Semionotus tenuiceps</i>	ジュラ紀	ディアフィールド層	アメリカ合衆国 マサチューセッツ州	福島県立博物館
145	C	N201000053	パキコルムス	硬骨魚類	<i>Pachycormus curtus</i>	ジュラ紀前期	ポシドニア頁岩	ドイツ	福島県立博物館
146	C	N201000054	トリソプス	硬骨魚類	<i>Thrissops micropodius</i>	ジュラ紀前期	ポシドニア頁岩	ドイツ	福島県立博物館
147	C	N201300126	レプトレピス	硬骨魚類	<i>Leptolepis gregarious</i>	ジュラ紀	プーラワウフ層	オーストラリア ニューサウスウェールズ	福島県立博物館
148	C	N201300127	レプトレピス	硬骨魚類	<i>Leptolepis sprattiformis</i>	ジュラ紀		ドイツ	福島県立博物館
149	C	N199500002	リコプテラ	硬骨魚類	<i>Lycoptera davidi</i>	ジュラ紀		中華人民共和国 遼寧省	福島県立博物館
150	C	N201300125	フレッティア	硬骨魚類	<i>Hulettia americana</i>	ジュラ紀	トディルト層	アメリカ合衆国 ニューメキシコ州	福島県立博物館
151	C	N201300124	カベンドリクティス	硬骨魚類	<i>Cavendrichthys talbragarensis</i>	ジュラ紀	プーラワウフ層	オーストラリア ニューサウスウェールズ	福島県立博物館
152	C	N201300129	タルシス	硬骨魚類	<i>Tharsis dubius</i>	ジュラ紀		ドイツ	福島県立博物館
153	C	N201300130	トディルティア	硬骨魚類	<i>Todiltia schoewei</i>	ジュラ紀		アメリカ合衆国 ニューメキシコ州	福島県立博物館
154	C	N199700046	アーケオプテリクス(複製)	始祖鳥	<i>Archaeopteryx lithographica</i>	ジュラ紀		ドイツ	福島県立博物館
155	D	N200600220	オニキオプシス	シダ類	<i>Onychiopsis elongata</i>	白亜紀前期	尾口層	石川県	福島県立博物館
156	D	N200600198	コニオプテリス	シダ類	<i>Coniopteris burejensis</i>	白亜紀前期	尾口層	石川県	福島県立博物館
157	D	N200600219	コニオプテリス	シダ類	<i>Coniopteris</i> sp.	白亜紀前期	尾口層	石川県	福島県立博物館
158	D	N200600289	エボラシア	シダ類	<i>Eboracia</i> sp.	白亜紀前期	尾口層	石川県	福島県立博物館
159	D	N200600393	アジアンティテス	シダ類	<i>Adiantites</i> sp.	白亜紀前期	尾口層	石川県	福島県立博物館

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
160	D	N200600271	クラドフレビス	シダ類	<i>Cladophlebis distans</i>	白亜紀前期	尾口層	石川県	福島県立博物館
161	D	53-9	チャセンシダ	シダ類	<i>Asplenium dicksonianum</i>	白亜紀後期		岩手県久慈市	国立科学博物館
162	D	N200600229	ビリシア	シダ類	<i>Birisia onychioides</i>	白亜紀前期	尾口層	石川県	福島県立博物館
163	D	43-1	ニルソニア	ソテツ類	<i>Nilssonia ezoensis</i>	白亜紀後期		北海道夕張市	国立科学博物館
164	D	53-12	ニルソニア	ソテツ類	<i>Nilssonia glossoformis</i>	白亜紀後期		福井県池田町	国立科学博物館
165	D	N200600283	ニルソニア	ソテツ類	<i>Nilssonia kotoi</i>	白亜紀前期	尾口層	石川県	福島県立博物館
166	D	N200600277	ニルソニア	ソテツ類	<i>Nilssonia nipponensis</i>	白亜紀前期	尾口層	石川県	福島県立博物館
167	D	N201000403	タイロフィルム	ベンネチテス類	<i>Ptilophyllum pecten</i>	白亜紀前期	西の谷層	高知県香美市	福島県立博物館
168	D	N200600286	ディクティオザマイテス	ベンネチテス類	<i>Dictyozamites kawasakii</i>	白亜紀前期	尾口層	石川県	福島県立博物館
169	D	53-11	イチョウ	イチョウ類	<i>Ginkgo adiantoides</i>	白亜紀後期		ロシア サハリン州	国立科学博物館
170	D	N200601181	カセキイチョウ	イチョウ類	<i>Ginkgoites</i> sp.	白亜紀前期		ロシア シベリア	福島県立博物館
171	D	N200600293	ギンゴイディウム	イチョウ類	<i>Ginkgoidium nathorsti</i>	白亜紀前期	尾口層	石川県	福島県立博物館
172	D	53-10	アラウカリーテス	針葉樹類	<i>Araucarites longifolia</i>	白亜紀後期		岩手県久慈市	国立科学博物館
173	D	N200600236	ポドザマイテス	針葉樹類	<i>Podozamites reinii</i>	白亜紀前期	尾口層	石川県	福島県立博物館
174	D	N200600265	ポドザマイテス	針葉樹類	<i>Podozamites</i> sp.	白亜紀前期	尾口層	石川県	福島県立博物館
175	D	N200600295	ゼノキシロン	針葉樹類	<i>Xenoxylon latiporosum</i>	白亜紀前期	尾口層	石川県	福島県立博物館
176	D	43-9	ディコティロフィルム	双子葉類	<i>Dicotylophyllum iwateanum</i>	白亜紀後期		福島県いわき市	国立科学博物館
177	D	43-3	“スズカケノキ”	双子葉類	" <i>Platanus</i> " <i>cuneifolia</i>	白亜紀後期		岩手県野田村	国立科学博物館
178	D	53-16	アラリアエフィルム	双子葉類	<i>Araliaephyllum polevoi</i>	白亜紀後期		ロシア サハリン州	国立科学博物館
179	D	43-4	セイシカズラ	双子葉類	<i>Cissus marginata</i>	白亜紀後期		岩手県野田村	国立科学博物館
180	D	53-15	ドリオフィルム	双子葉類	<i>Dryophyllum subfalcatum</i>	白亜紀後期		岩手県久慈市	国立科学博物館
181	D	43-6	ラウロフィルム	双子葉類	<i>Laurophyllum</i> sp.	白亜紀後期		ロシア サハリン州	国立科学博物館
182	D	53-13	ユリノキ	双子葉類	<i>Liriodendron ijimae</i>	白亜紀後期		岩手県久慈市	国立科学博物館
183	D	43-2	リリオフィルム	双子葉類	<i>Liriophyllum sakhalinense</i>	白亜紀後期		ロシア サハリン州	国立科学博物館
184	D	43-5	メニスペルミテス	双子葉類	<i>Menispermites kujiensis</i>	白亜紀後期		岩手県久慈市	国立科学博物館
185	D	43-8	クエレウキア	双子葉類	<i>Quereuxia angulata</i>	白亜紀後期		ロシア サハリン州	国立科学博物館
186	D	43-7	トロコデンドロイデス	双子葉類	<i>Trochodendroides sakhalinensis</i>	白亜紀後期		ロシア サハリン州	国立科学博物館
187	D	53-14	ヤナギ属類似の被子植物	双子葉類	" <i>Salix</i> " <i>lancensis</i>	白亜紀後期		岩手県久慈市	国立科学博物館

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
188	D	53-17	ヤシ科の幹 (茎・根)	単子葉類	Palmaceae gen. et sp. indet.	白亜紀後期		アメリカ合衆国 テキサス州	国立科学博物館
189	D	N201300132	被子植物の葉	被子植物	“Dinosaur age leaves”	白亜紀	ダコタ砂岩	アメリカ合衆国 ミネソタ州	福島県立博物館
190	D	N201300133	被子植物の葉	被子植物	“Dinosaur age leaves”	白亜紀	ダコタ砂岩	アメリカ合衆国 ミネソタ州	福島県立博物館
191	D	N200300258	キクロリテス	六放 サンゴ	Cyclolites ellipticus	白亜紀中期		フランス	福島県立博物館
192	D	N201300100	パレオコエニア	六放 サンゴ	Palaeocoenia sp.	白亜紀後期		オーストリア	福島県立博物館
193	D	N201300142	キリガイダマシ	巻貝	Turritella mcnairyensis	白亜紀	リプレイ層	アメリカ合衆国 テネシー州	福島県立博物館
194	D	N201300137	ハイイロツメタ	巻貝	Euspira halli	白亜紀	リプレイ層	アメリカ合衆国 テネシー州	福島県立博物館
195	D	N201300144	クダボラ	巻貝	Turris proxima	白亜紀	リプレイ層	アメリカ合衆国 テネシー州	福島県立博物館
196	D	N200601175	プレシオティ グマティス	巻貝 (ネリネア類)	Plesioptygmatis buchi	白亜紀後期	ゴサウ層	オーストリア	福島県立博物館
197	D	N201300139	ピルグリフェラ	巻貝	Pyrgulifera humerosa	白亜紀	ピアリバー 層	アメリカ合衆国 ユタ州	福島県立博物館
198	D	N201300141	セリフサス	巻貝	Serrifusus tennessensis	白亜紀	リプレイ層	アメリカ合衆国 テネシー州	福島県立博物館
199	D	N201200339	ベッコウキララ	二枚貝	Portlandia sanchuensis	白亜紀前期	羽ノ浦層	徳島県勝浦町	福島県立博物館
200	D	N201200340	ナノナビス	二枚貝	Nanonavis yokoyamai	白亜紀前期	羽ノ浦層	徳島県勝浦町	福島県立博物館
201	D	N200300244	ククラエア	二枚貝	Cucullaea gabrielis	白亜紀前期		フランス	福島県立博物館
202	D	N201300152	タマキガイ	二枚貝	Glycymeris subcrenata	白亜紀	リプレイ層	アメリカ合衆国 テネシー州	福島県立博物館
203	D	N201200343	ハボウキガイ	二枚貝	Pinna sp.	白亜紀前期	羽ノ浦層	徳島県勝浦町	福島県立博物館
204	D	N201200344	プテリネラ	二枚貝	Pterinella shinoharai	白亜紀前期	羽ノ浦層	徳島県勝浦町	福島県立博物館
205	D	N201200348	ゲルビリア	二枚貝	Gervillia forbesiana	白亜紀前期	羽ノ浦層	徳島県阿南市	福島県立博物館
206	D	N200501283	エクソギラ	二枚貝 (カキ類)	Exogyra sp.	白亜紀		アメリカ合衆国 アラバマ州	福島県立博物館
207	D	N200300245	グリファエア	二枚貝 (カキ類)	Gryphaea arcuata	白亜紀前期		イギリス グロスター州	福島県立博物館
208	D	N201300160	イタボガキ	二枚貝 (カキ類)	Ostrea subspatulata	白亜紀	ピーディー 層	アメリカ合衆国 ノースカロライナ州	福島県立博物館
209	D	N200700972	ラストラム	二枚貝 (カキ類)	Rastellum sp.	白亜紀後期		マダガスカル	福島県立博物館
210	D	N201200329	ニッポニトリゴ ニア	二枚貝 (サンカクガイ類)	Nipponitrigonia kikuchiana	白亜紀前期	傍示層	徳島県上勝町	福島県立博物館
211	D	N201200349	プテロトリゴ ニア	二枚貝 (サンカクガイ類)	Pterotrigonia pocilliformis	白亜紀前期	羽ノ浦層	徳島県勝浦町	福島県立博物館
212	D	N200700968	トリゴニア	二枚貝 (サンカクガイ類)	Trigonia elisae	白亜紀前期		ベルギー	福島県立博物館
213	D	N200300243	ヤーディア	二枚貝 (サンカクガイ類)	Yaadia daedalea	白亜紀前期		ベルギー	福島県立博物館
214	D	N201200352	アスタルテ	二枚貝	Astarte subsenecta	白亜紀前期	羽ノ浦層	徳島県阿南市	福島県立博物館
215	D	N201300147	ワダチザルガイ	二枚貝	Cardium stantoni	白亜紀	リプレイ層	アメリカ合衆国 テネシー州	福島県立博物館

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
216	D	N201200357	プロトカルディア	二枚貝	<i>Protocardia ibukii</i>	白亜紀前期	立川層	徳島県勝浦町	福島県立博物館
217	D	N201200368	コストシレナ	二枚貝	<i>Costocyrena ohnishii</i>	白亜紀前期	立川層	徳島県勝浦町	福島県立博物館
218	D	N201200360	ハヤミナ	二枚貝 (シジミ類)	<i>Hayamina naumanni</i>	白亜紀前期	立川層	徳島県勝浦町	福島県立博物館
219	D	N201200332	テトリア	二枚貝 (シジミ類)	<i>Tetoria sanchuensis</i>	白亜紀前期	羽ノ浦層	徳島県阿南市	福島県立博物館
220	D	N201300148	シレナ	二枚貝	<i>Cyrena meeki</i>	白亜紀		オーストラリア ニューサウスウェールズ	福島県立博物館
221	D	N201300116	ゴニオマイヤ	二枚貝	<i>Goniomya</i> sp.	白亜紀後期	フォックス ヒルズ層	アメリカ合衆国 サウスダコタ州	福島県立博物館
222	D	N201200353	プレクトマイヤ	二枚貝	<i>Plectomya aritagawana</i>	白亜紀前期	羽ノ浦層	徳島県勝浦町	福島県立博物館
223	D	N201300111	ラディオリテス	厚歯二枚貝	<i>Radiolites</i> sp.	白亜紀後期		アラブ首長国 連邦	福島県立博物館
224	D	N201300104	キマトセラス	オウムガイ	<i>Cymatoceras</i> sp.	白亜紀前期		マダガスカル	福島県立博物館
225	D	N200900811	ユウトレフォセラス	オウムガイ	<i>Eutrephoceras dekayi</i>	白亜紀後期	ピエール層	アメリカ合衆国 サウスダコタ州	福島県立博物館
226	D	N201300105	エオゴードリセラス	アンモナイト	<i>Eogaudryceras numidum</i>	白亜紀前期		マダガスカル	福島県立博物館
227	D	N201100800	ゴードリセラス	アンモナイト	<i>Gaudryceras tenuiliratum</i>	白亜紀後期	オソウシナイ層	北海道中川町	福島県立博物館
228	D	N199901176	スピートニセラス	アンモナイト	<i>Speetonicerias</i> sp.	白亜紀		ロシア ウルジュノフスク	福島県立博物館
229	D	N201200328	デスモセラス	アンモナイト	<i>Desmoceras dawsoni shikokuense</i>	白亜紀前期	藤川層	徳島県上勝町	福島県立博物館
230	D	N201000412	メソプゾシア	アンモナイト	<i>Mesopuzosia pacifica</i>	白亜紀後期	上部蝦夷層群	北海道小平町	福島県立博物館
231	D	N198600044	ユーパキディスカス	アンモナイト	<i>Eupachydiscus haradai</i>	白亜紀後期		北海道苫前町	福島県立博物館
232	D	N200300230	ホライテス	アンモナイト	<i>Hoplites bennetianus</i>	白亜紀前期		フランス	福島県立博物館
233	D	N198800045	プラセンチセラス	アンモナイト	<i>Placenticerias meeki</i>	白亜紀		アメリカ合衆国 サウスダコタ州	福島県立博物館
234	D	N199901177	アンキロセラス	アンモナイト	<i>Ancyloceras</i> sp.	白亜紀前期		ロシア ウルジュノフスク	福島県立博物館
235	D	N199901178	アンキロセラス	アンモナイト	<i>Ancyloceras</i> sp.	白亜紀前期		ロシア ウルジュノフスク	福島県立博物館
236	D	N200300222	ドオビレイセラス	アンモナイト	<i>Douvilleicerias</i> sp.	白亜紀中期		マダガスカル	福島県立博物館
237	D	N198800046	バキュリテス	アンモナイト	<i>Baculites grandis</i>	白亜紀		アメリカ合衆国 モンタナ州	福島県立博物館
238	D	N200000915	ユーポストリコセラス	アンモナイト	<i>Eubostriochoceras japonicum</i>	白亜紀後期	滝ノ沢層	北海道夕張市	福島県立博物館
239	D	N200000917	テキサナイテス	アンモナイト	<i>Polyptychoceras</i> sp., <i>Texanites</i> sp.	白亜紀後期	羽幌川層	北海道苫前町	福島県立博物館
240	D	N199400102	ジェレツキテス	アンモナイト	<i>Jeletzkytes nebrascensis</i>	白亜紀後期	フォックス ヒルズ層	アメリカ合衆国 サウスダコタ州	福島県立博物館
241	D	N201300109	ゴニオテウシス	ベレムナイト	<i>Goniot euthis quadrata</i>	白亜紀後期		ドイツ	福島県立博物館
242	D	N201100829	アスタクス	ザリガニ	<i>Astacus</i> sp.	白亜紀前期		中華人民共和国 遼寧省	福島県立博物館
243	D	N201100830	クリコイドスケロサス	ザリガニ	<i>Cricoidoscelosus aethus</i>	白亜紀前期	義県層	中華人民共和国 遼寧省	福島県立博物館

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
244	D	N201300162	ホマルス	ザリガニ	<i>Homarus hakelensis</i>	白亜紀		レバノン	福島県立博物館
245	D	N201300163	パラクリシア	ザリガニ	<i>Paraelythia</i> sp.	白亜紀		レバノン	福島県立博物館
246	D	N199700050	シダリス	ウニ	<i>Cidaris</i> sp.	白亜紀		モロッコ	福島県立博物館
247	D	N199700049	マンジュウウニ	ウニ	<i>Echinolampas</i> sp.	白亜紀		スペイン	福島県立博物館
248	D	N199700047	カルディアスター	ウニ	<i>Cardiaster</i> sp.	白亜紀		スペイン	福島県立博物館
249	D	N200401849	エキノコリス	ウニ	<i>Echinocorys</i> sp.	白亜紀後期		ドイツ	福島県立博物館
250	D	N201200354	ヘテラスター	ウニ	<i>Heteraster macroholcus</i>	白亜紀前期	羽ノ浦層	徳島県勝浦町	福島県立博物館
251	D	N200401851	ミクラスター	ウニ	<i>Micraster</i> sp.	白亜紀後期		ドイツ	福島県立博物館
252	D	N201200405	スクレロリンクス	軟骨魚類 (ノコギリエイ)	<i>Sclerorhynchus</i> sp.	白亜紀後期		レバノン	福島県立博物館
253	D	N200501284	キクロバティス	軟骨魚類 (エイ)	<i>Cyclobatis</i> sp.	白亜紀		レバノン	福島県立博物館
254	D	N199700043	サカタザメ	軟骨魚類 (エイ)	<i>Rhinobatos</i> sp.	白亜紀後期		レバノン	福島県立博物館
255	D	N200700989	ネオプロシネテス	硬骨魚類	<i>Neoproscinetes</i> sp.	白亜紀 中期	サンタナ層	ブラジル セアラ州	福島県立博物館
256	D	N199600006	ピンクティファー	硬骨魚類	<i>Vinctifer</i> sp.	白亜紀		ブラジル セアラ州	福島県立博物館
257	D	N199700045	ラコレピス	硬骨魚類	<i>Rhacolepis buccalis</i>	白亜紀前期		ブラジル セアラ州	福島県立博物館
258	D	N199600005	ダスティルベ	硬骨魚類	<i>Dastilbe</i> sp.	白亜紀		ブラジル セアラ州	福島県立博物館
259	D	N199700042	ユーリフォリス	硬骨魚類	<i>Eurypholis boissieri</i>	白亜紀後期		レバノン	福島県立博物館
260	D	N199700039	ヘミサウリーダ	硬骨魚類	<i>Hemisaurida hakelensis</i>	白亜紀後期		レバノン	福島県立博物館
261	D	N200500350	モササウルス類の顎骨	海生 トカゲ類	<i>Mosasauroidea</i> gen. et sp. indet.	白亜紀後期	“硫黄含有層”	モロッコ	福島県立博物館
262	E	H25-05-022	オニキオプシス	シダ類	<i>Onychiopsis</i> sp.	ジュラ紀後期	富沢層	福島県南相馬市鹿島区	荒好
263	E	H25-05-013	オニキオプシス	シダ類	<i>Onychiopsis elongata</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
264	E	N201200054	オニキオプシス	シダ類	<i>Onychiopsis yokoyamai</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
265	E	H25-05-014	エボラシア	シダ類	<i>Eboracia microlobifolia</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
266	E	N198600451	グレイケナイテス	シダ類	<i>Gleichenites</i> cf. <i>yuasensis</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
267	E	N200400010	マトニディウム	シダ類	<i>Matonidium</i> ex gr. <i>goepperti</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市鹿島区	福島県立博物館
268	E	N201200114	アジアントプテリス	シダ類	<i>Adiantopteris</i> sp.	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
269	E	N201200154	クラドフレビス	シダ類	<i>Cladophlebis acutipennis</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
270	E	H25-05-015	クラドフレビス	シダ類	<i>Cladophlebis</i> cf. <i>virginiensis</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
271	E	N198600402	スフェノプテリス	シダ類	<i>Sphenopteris elegans</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市鹿島区	福島県立博物館

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
272	E	H25-05-016	ニルソニア	ソテツ類	<i>Nilssonia</i> ex gr. <i>schaumburgensis</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
273	E	N198600429	ニルソニア	ソテツ類	<i>Nilssonia</i> ex gr. <i>Canadensis</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
274	E	KHFM-210001	ニルソニオクレイダス	ソテツ類	<i>Nilssoniocladus japonicus</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市鹿島区	南相馬市博物館
275	E	KHFM-210005	ニルソニオクレイダス	ソテツ類	<i>Nilssoniocladus tairae</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市鹿島区	南相馬市博物館
276	E	SDS'05-524	エンセファラータイトス	ソテツ類	<i>Encephalartites</i> sp. nov.	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	平 宗雄
277	E	H25-05-017	オトザマイテス	ベンネチテス類	<i>Otozamites</i> sp.	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
278	E	H25-05-018	テロフィルム	ベンネチテス類	<i>Pterophyllum</i> sp.	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
279	E	H25-05-019	タイロフィルム	ベンネチテス類	<i>Ptilophyllum jurassicum</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
280	E	N198600433	ザマイテス	ベンネチテス類	<i>Zamites nipponicus</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
281	E	NK000375	ベンネチテス類の花	ベンネチテス類	<i>Bennettiales</i> gen. et sp. indet.	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	瀧澤マリ子
282	E	H25-05-020	エラトクレイダス	針葉樹類	<i>Elatocladus</i> sp.	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
283	E	H25-05-021	パラセコイア	針葉樹類	<i>Parasequoia</i> cf. <i>cretacea</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
284	E	N198600466	ナゲイオプシス	針葉樹類	<i>Nageiopsis</i> sp. B	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
285	E	N201200110	テニオプテリス	所属不明の裸子植物	<i>Taeniopteris somaensis</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
286	E	N201200073	ペローデア	所属不明の裸子植物	<i>Pelourdea nipponica</i>	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	福島県立博物館
287	E	N200103519	エナルヘリア	六放サンゴ	<i>Enallhelia nipponica</i> var. <i>somaensis</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	福島県立博物館
288	E	H25-05-031	アンベレイヤ	巻貝	<i>Amberleya?</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	平 宗雄
289	E	N200700120	モミジソデガイ科の一種	巻貝	<i>Aporrhaidae</i> gen. et sp. indet.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	福島県立博物館
290	E	H25-05-032	ディクロロマ	巻貝	<i>Dicroloma</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	平 宗雄
291	E	H25-05-033	ハルバゴデス	巻貝	<i>Harpagodes</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市原町区	平 宗雄
292	E	H25-05-034	アンプリナ	巻貝	" <i>Ampullina</i> " sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	平 宗雄
293	E	H25-05-035	アンプロスパイラ	巻貝	<i>Ampullospira</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	荒 好
294	E	H25-05-036	バクトロプティキス	巻貝 (ネリネア類)	<i>Bactroptyxis nobilis?</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	平 宗雄
295	E	H25-05-037	コスマネア	巻貝 (ネリネア類)	<i>Cossmanea tahoto?</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県相馬市富沢	平 宗雄
296	E	H25-05-038	クリプトプロクス	巻貝 (ネリネア類)	<i>Cryptoplocus abukumensis</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	平 宗雄
297	E	H25-05-039	ネリネア	巻貝 (ネリネア類)	<i>Nerinea somaensis</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	平 宗雄
298	E	H25-05-040	グロブラリア	巻貝	" <i>Globularia</i> " sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	平 宗雄
299	E	H25-05-041	アプティクシエラ	巻貝	<i>Aptyxiella?</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	平 宗雄

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
300	E	H25-05-042	ネリトマ	巻貝	<i>Neritoma</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県相馬市 富沢	平 宗雄
301	E	H25-05-023	二枚貝類の一種	二枚貝	<i>Bivalvia</i> gen. et sp. indet.	ジュラ紀中期	粟津層	福島県相馬市 北沢	八巻安夫
302	E	H25-05-025	プラジオストマ	二枚貝	<i>Plagiostoma</i> sp.	ジュラ紀中期	山上層	福島県相馬市 山上	八巻安夫
303	E	H25-05-043	グラマトドン	二枚貝	<i>Grammatodon takiensis</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 鹿島区	平 宗雄
304	E	H25-05-044	アルコミチルス	二枚貝	<i>Arcomytilus laitmairensis</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 鹿島区	平 宗雄
305	E	H25-05-045	イノベルナ	二枚貝	<i>Inoperna plicata</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 鹿島区	平 宗雄
306	E	H25-05-046	ピンナ	二枚貝	<i>Pinna</i> cf. <i>mitis</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 鹿島区	平 宗雄
307	E	H25-05-047	トリキテス	二枚貝	<i>Trichites</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 鹿島区	平 宗雄
308	E	H25-05-048	プテリア	二枚貝	<i>Pteria masatanii</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 原町区	平 宗雄
309	E	H25-05-049	クラミス	二枚貝	<i>Chlamys?</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 鹿島区	平 宗雄
310	E	H25-05-050	エオペクテン	二枚貝	<i>Eopecten kurisakensis?</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 原町区	平 宗雄
311	E	H25-05-051	エオペクテン	二枚貝	<i>Eopecten punctus</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 鹿島区	平 宗雄
312	E	H25-05-052	ソーマペクテン	二枚貝	<i>Somapecten kamimanensis</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 鹿島区	平 宗雄
313	E	H25-05-053	プラジオストマ	二枚貝	<i>Plagiostoma enormicosta</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 鹿島区	平 宗雄
314	E	N200700109	プラジオストマ	二枚貝	<i>Plagiostoma</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 鹿島区	福島県立博物館
315	E	H25-05-026	ローファ	二枚貝 (カキ類)	<i>Lopha</i> sp.	ジュラ紀中期	山上層	福島県相馬市 山上	八巻安夫
316	E	H25-05-027	イタボガキ	二枚貝 (カキ類)	<i>Ostrea</i> sp.	ジュラ紀中期	山上層	福島県相馬市 山上	八巻安夫
317	E	N200402393	カキ類の一種	二枚貝 (カキ類)	<i>Ostreoidea</i> gen. et sp. indet.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県相馬市 富沢	福島県立博物館
318	E	H25-05-028	ミオフォレラ	二枚貝 (サンカクガイ類)	<i>Myophorella sugayensis</i>	ジュラ紀中期	山上層	福島県相馬市 山上	八巻安夫
319	E	N200700132	ミオフォレラ	二枚貝 (サンカクガイ類)	<i>Myophorella crenulata</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 鹿島区	福島県立博物館
320	E	N200700133	ミオフォレラ	二枚貝 (サンカクガイ類)	<i>Myophorella dekaiboda</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 鹿島区	福島県立博物館
321	E	H25-05-029	ニッポニトリゴニア	二枚貝 (サンカクガイ類)	<i>Nipponitrigonia sagawai</i>	ジュラ紀中期	山上層	福島県相馬市 山上	八巻安夫
322	E	H25-05-054	アスタルテ	二枚貝	<i>Astarte sakamotoensis</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 原町区	平 宗雄
323	E	H25-05-055	ネオクラッシナ	二枚貝	<i>Neocrassina</i> cf. <i>subdepressa</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 原町区	平 宗雄
324	E	H25-05-056	プロトカルディア	二枚貝	<i>Protocardia tosenis</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 鹿島区	荒 好
325	E	N200700126	ゴニオマイヤ	二枚貝	<i>Goniomya nonvscripta</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市 鹿島区	福島県立博物館

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
326	E	H25-05-057	ミオフォラス	二枚貝	<i>Myopholas</i> cf. <i>acuticostata</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	平 宗雄
327	E	N199800190	ネオブルメシア	二枚貝	<i>Neoburmesia iwakiensis</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	福島県立博物館
328	E	H25-05-058	フォラドマイヤ	二枚貝	<i>Pholadomya</i> cf. <i>somensis</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市原町区	八巻安夫
329	E	H25-05-059	プレクトマイヤ	二枚貝	<i>Plectomya punctostriata</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	平 宗雄
330	E	H25-05-060	タンクレディア	二枚貝	<i>Tancredia?</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市原町区	平 宗雄
331	E	H25-05-061	オウムガイ類の一種	オウムガイ	<i>Nautiloidea</i> gen. et sp. indet.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	平 宗雄
332	E	H25-05-030	リトセラス科の一種	アンモナイト	<i>Lytoceras</i> cf. gen. et sp. indet.	ジュラ紀中期	山上層	福島県相馬市山上	八巻安夫
333	E	KHFM-220012	ホルコフィロセラス	アンモナイト	<i>Holcophylloceras</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	南相馬市博物館
334	E	KHFM-220010	ハプロセラス	アンモナイト	<i>Haploceras</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	南相馬市博物館
335	E	MM008499	タラメリセラス	アンモナイト	<i>Taramelliceras</i> cf. <i>strombecki</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市原町区	南相馬市博物館
336	E	MM008498	タラメリセラス	アンモナイト	<i>Taramelliceras</i> cf. <i>trachinotum</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市原町区	南相馬市博物館
337	E	N198600386	アウラコスフィンクトイデス	アンモナイト	<i>Aulacosphinctoides</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	福島県立博物館
338	E	MM008470	アウラコスフィンクトイデス	アンモナイト	<i>Aulacosphinctoides tairai</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市原町区	南相馬市博物館
339	E	N200500627	サブディコトモデラス	アンモナイト	<i>Subdichotomoceras chisatoi</i>	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	福島県立博物館
340	E	N200500634	アスピドセラス	アンモナイト	<i>Aspidoceras</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	福島県立博物館
341	E	H25-05-095	ヒボノチセラス	アンモナイト	<i>Hyboniticeras</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市原町区	荒 好
342	E	H25-05-024	矢石類の一種	ベレムナイト	<i>Belemnitida</i> gen. et sp. indet.	ジュラ紀中期	粟津層	福島県相馬市北沢	八巻安夫
343	E	MM-008504	エノプロクリティア	エビ	<i>Enoploclytia?</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市原町区	只野歩夢
344	E	MM-008505	エリマ	ザリガニ	<i>Eryma</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市原町区	南相馬市博物館
345	E	KHFM-220022	プロタクシウス	アナジャコ	<i>Protaxius</i> sp.	ジュラ紀後期	中ノ沢層	福島県南相馬市鹿島区	南相馬市博物館
346	E	H25-05-001	獣脚類の足跡(ナチュラルプリント)	肉食恐竜	<i>Theropoda</i> gen. et sp. indet.	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	八巻安夫
347	E	H25-05-002	獣脚類の足跡(ナチュラルプリント)	肉食恐竜	<i>Theropoda</i> gen. et sp. indet.	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市原町区	平 宗雄
348	E	N200402685	コエルロサウルス類の足跡(複製)	肉食恐竜	<i>Coelurosauria</i> gen. et sp. indet.	ジュラ紀後期	栃窪層	福島県南相馬市鹿島区	福島県立博物館
349	F	N198600380	ディコティロフィルム	双子葉類	<i>Dicotylophyllum iwateanum</i>	白亜紀後期	笠松層	福島県いわき市大久町	福島県立博物館
350	F	MM008526	ヘミノーチラス	オウムガイ	<i>Heminautilus</i> sp.	白亜紀前期	小山田層	福島県南相馬市鹿島区	南相馬市博物館
351	F	MM008508	キリアニセラス	アンモナイト	<i>Kilianiceras</i> sp.	白亜紀前期	小山田層	福島県南相馬市鹿島区	南相馬市博物館
352	F	MM008518	キリアネラ	アンモナイト	<i>Kilianella</i> sp.	白亜紀前期	小山田層	福島県南相馬市鹿島区	南相馬市博物館
353	F	MM008509	ネオコスモセラス	アンモナイト	<i>Neocosmoceras akiyamae</i>	白亜紀前期	小山田層	福島県南相馬市鹿島区	南相馬市博物館

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
354	F	MM008510	トゥルマンニセラス	アンモナイト	Thurmanniceras isokusense	白亜紀前期	小山田層	福島県南相馬市鹿島区	南相馬市博物館
355	F	H25-05-063	シュードメラニア	巻貝	Pseudomelania? sp.	白亜紀前期	小山田層	福島県南相馬市鹿島区	平 宗雄
356	F	H25-05-067	カシオペ	巻貝	Cassiope sp.	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
357	F	H25-05-064	グラマトドン	二枚貝	Grammatodon takiensis	白亜紀前期	小山田層	福島県南相馬市鹿島区	平 宗雄
358	F	H25-05-068	グリキメリス	二枚貝	Glycymeris amakusensis	白亜紀後期	足沢層	福島県広野町	鈴木千里
359	F	N198600470	タマキガイ	二枚貝	Glycymeris sp.	白亜紀後期	足沢層	福島県広野町	福島県立博物館
360	F	N198600315	イノセラムス	二枚貝	Inoceramus uwajimensis	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	福島県立博物館
361	F	H25-05-091	イノセラムス	二枚貝	Inoceramus amakusensis	白亜紀後期	玉山層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
362	F	H25-05-071	ディディモチス	二枚貝	Didymotis akamatsui	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
363	F	H25-05-070	イタボガキ	二枚貝 (カキ類)	Ostreidae gen. et sp. indet.	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
364	F	H25-05-072	コンボウガキ	二枚貝 (カキ類)	Konbostrea konbo	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
365	F	H25-05-065	ミオフォレラ	二枚貝 (サンカクガイ類)	Myophorella orientalis	白亜紀前期	小山田層	福島県南相馬市鹿島区	平 宗雄
366	F	H25-05-073	アピオトリゴニア	二枚貝 (サンカクガイ類)	Apiotrigonia minor	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
367	F	N200103645	トリゴニア	二枚貝 (サンカクガイ類)	Trigonia subovalis	白亜紀後期	足沢層	福島県広野町	福島県立博物館
368	F	N199800214	ヤーディア	二枚貝 (サンカクガイ類)	Yaadia kimurai	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	福島県立博物館
369	F	H25-05-074	ミルテア	二枚貝	Myrtea ezoensis	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
370	F	H25-05-075	エリファイラ	二枚貝	Eriphyla amakusensis	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
371	F	H25-05-076	ロクソ	二枚貝	? Loxo japonica	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
372	F	H25-05-077	アフロディナ	二枚貝	Aphrodina cf. pseudoplana	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
373	F	N199400085	アナゴードリセラス	アンモナイト	Anagaudryceras limatum	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	福島県立博物館
374	F	H25-05-079	ジンボイセラス	アンモナイト	Jimboiceras ? sp.	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
375	F	N199800196	メソプゾシア	アンモナイト	Mesopuzosia yubarensis	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	福島県立博物館
376	F	H25-05-080	コリグノニセラス科の一種	アンモナイト	Collignoniceratidae gen. et sp. indet.	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
377	F	H25-05-081	フォレストリア	アンモナイト	Forresteria sp.	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
378	F	H25-05-082	シュードバロイシセラス	アンモナイト	Pseudobarroisiceras onilahyense	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
379	F	H25-05-084	バキュリテス	アンモナイト	Baculites yokoyamai	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
380	F	H25-05-085	ユーボストリコセラ	アンモナイト	<i>Eubostrochoceras</i> sp.	白亜紀後期	足沢層	福島県広野町	鈴木千里
381	F	H25-05-086	ニッポニテス	アンモナイト	<i>Nipponites</i> sp.	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
382	F	H25-05-087	エゾイテス	アンモナイト	<i>Ezoites</i> sp.	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
383	F	H25-05-089	スカフィテス	アンモナイト	<i>Scaphites</i> sp.	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
384	F	H25-05-092	テキサナイテス	アンモナイト	<i>Texanites</i> sp.	白亜紀後期	玉山層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
385	F	H25-05-093	ポリプチコセラ	アンモナイト	<i>Polyptychoceras</i> sp.	白亜紀後期	玉山層	福島県いわき市大久町	鈴木千里
386	F	H25-05-090	ハコエビ	エビ	<i>Linuparus</i> sp.	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市大久町	いわき市教育委員会
387	F	H25-05-006	フタバリュウの脛骨	ティラノサウルス科の肉食恐竜	<i>Tyrannosauridae</i> gen. et sp. indet.	白亜紀後期	足沢層	福島県広野町	広野町教育委員会
388	F	H25-05-007	オオヒサリュウの頸椎	ハドロサウルス科の植物食恐竜	<i>Hadrosauridae</i> gen. et sp. indet.	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市久之浜町	いわき市教育委員会
389	F	H25-05-094	ハドロサウルス類の胸骨	ハドロサウルス科の植物食恐竜	<i>Hadrosauridae</i> gen. et sp. indet.	白亜紀後期	足沢層	福島県いわき市久之浜町	いわき市教育委員会
390	F	H25-05-008	ヒロノリュウの頸骨	ハドロサウルス科の植物食恐竜	<i>Hadrosauridae</i> gen. et sp. indet.	白亜紀後期	足沢層	福島県広野町	福島県立博物館
391	F	H25-05-009	ヒロノリュウの歯	ハドロサウルス科の植物食恐竜	<i>Hadrosauridae</i> gen. et sp. indet.	白亜紀後期	足沢層	福島県広野町	福島県立博物館
392	F	H25-05-011	ヒサノハマリュウの歯	ティタノサウルス科の植物食恐竜	<i>Diplodocidae</i> gen. et sp. indet.	白亜紀後期	玉山層	福島県いわき市大久町	いわき市教育委員会
393	F	H25-05-012	竜脚垂目の歯	植物食恐竜	<i>Sauropoda</i> fam., gen. et sp. indet.	白亜紀後期	笠松層	福島県広野町	八巻安夫
394	G	EF0048	リンコネラ	腕足類	<i>Rhynchonella</i> sp.	ジュラ紀		フランス	福島県立博物館
395	G	EF0021	ダクティリオセラ	アンモナイト	<i>Dactylioceras</i> sp.	ジュラ紀		ドイツ	福島県立博物館
396	G	EF0078	ペリスフィンクテス	アンモナイト	<i>Perisphinctes</i> sp.	ジュラ紀		フランス	福島県立博物館
397	G	EF0042	ベレムナイト	ベレムナイト	<i>Belemnites</i> sp.	ジュラ紀		ロシア モスクワ	福島県立博物館
398	G	EF0073	パキテウシス	ベレムナイト	<i>Pachyteuthis</i> sp.	ジュラ紀		ロシア ミハイロフ	福島県立博物館
399	G	EF0045	ローファ	二枚貝 (カキ類)	<i>Lopha marshii</i>	ジュラ紀		フランス	福島県立博物館
400	G	EF0011	リコプテラ	硬骨魚類	<i>Lycoptera</i> sp.	ジュラ紀		中華人民共和国 遼寧省	福島県立博物館
401	G	EF0072	恐竜の糞		Coprolite	ジュラ紀	モリソン層	アメリカ合衆国 ユタ州	福島県立博物館
402	G	EF0034	ダクティリオセラ	アンモナイト	<i>Dactylioceras</i> sp.	ジュラ紀前期		イギリス ヨーク州	福島県立博物館
403	G	EF0020	アンモナイト	石灰岩中のアンモナイト	<i>Ammonoidea</i> gen. et sp. indet.	ジュラ紀後期		ドイツ	福島県立博物館
404	G	EF0024	オルソスフィンクテス	アンモナイト	<i>Orthosphinctes</i> sp.	ジュラ紀後期		マダガスカル	福島県立博物館

No.	テーマ	資料番号	資料名	分類	学名または英名	地質時代	地層名	産地	所蔵者
405	G	EF0092	ダクティリオセラ ラス	アンモナイト 岩塊	Dactyloceras commune	ジュラ紀前期		イギリス ヨーク州	福島県立博物館
406	G	EF0095	ダクティリオセラ ラス	アンモナイト	Dactyloceras semicelatum	ジュラ紀前期		ドイツ	福島県立博物館
407	G	N199000001	カマラスウル ス属の一種	植物食恐竜	Camarasaurus sp.	ジュラ紀		アメリカ合衆国	福島県立博物館
408	G	EF0027	クレオニセラ ス	アンモナイト	Cleonicerus sp.	白亜紀		マダガスカル	福島県立博物館
409	G	EF0029	プロライエリセ ラス	アンモナイト	Prolyelliceras sp.	白亜紀		ペルー	福島県立博物館
410	G	EF0033	ユウアスピドセ ラス	アンモナイト	Euaspidoceras douvillei	白亜紀		フランス	福島県立博物館
411	G	EF0022	リパロセラ ス	アンモナイト	Liparoceras sp.	白亜紀		イギリス	福島県立博物館
412	G	EF0106	アンモナイト	アンモナイト	Ammonoidea gen. et sp. indet.	白亜紀		マダガスカル	福島県立博物館
413	G	EF0101	クレオニセラ ス	アンモナイト	Cleonicerus sp.	白亜紀後期		マダガスカル	福島県立博物館
414	G	EF0079	ミクラスター	ウニ	Micraster sp.	白亜紀後期		ドイツ	福島県立博物館
415	G	EF0075	エキノコリス	ウニ	Echinocorys sp.	白亜紀後期		ドイツ	福島県立博物館
416	G	EF0010	モササウルス の歯	海生 ハチュウ類	“Mosasaurus teeth”	白亜紀後期		モロッコ	福島県立博物館
417	G	EF0093	モササウルス の歯	海生 ハチュウ類	“Mosasaurus teeth”	白亜紀後期	テガナ層	モロッコ	福島県立博物館
418	G	EF0008	スピノサウルス の歯	肉食恐竜	“Spinosaurus teeth”	白亜紀後期		モロッコ	福島県立博物館
419	G	EF0030	ホライテス	アンモナイト	Hoplites bennetianus	白亜紀前期		フランス	福島県立博物館
420	G	EF0032	エコネセラ ス	アンモナイト	Aconecerus trautscholdi	白亜紀前期		ロシア サラトフ	福島県立博物館
421	G	EF0018	ホプロスカフィ テス	アンモナイト	Hoploscephites sp.	白亜紀前期	フォックス ヒルズ層	アメリカ合衆国 サウスダコタ州	福島県立博物館
422	G	EF0019	ホプロスカフィ テス	アンモナイト	Hoploscephites sp.	白亜紀前期	フォックス ヒルズ層	アメリカ合衆国 サウスダコタ州	福島県立博物館
423	G	EF0096	キマトセラ ス	オウムガイ	Cymatoceras sp.	白亜紀前期		マダガスカル	福島県立博物館
424	G	EF0043	グリファエア	二枚貝 (カキ類)	Gryphea arcuata	白亜紀前期		イギリス グロスター州	福島県立博物館
425	G	N201300146	バキュリテス 属の一種	アンモナイト	Baculites sp.	白亜紀		イスラエル	福島県立博物館



「対決! 恐竜展」リーフレット



展示解説会 1



展示解説会 2



オープニングセレモニー



ペーパーアートで恐竜をつくろう

ウ. 秋の企画展

「東北大学総合学術博物館のすべてⅩⅢ 考古学からの挑戦—東北大学考古学研究の軌跡—」

- (ア) 会 期 平成25年10月5日(土)～12月1日(日) 開館日数：50日間
- (イ) 会 場 福島県立博物館企画展示室
- (ウ) 入館者数 2,685人
- (エ) 担当学芸員 考古分野：藤原妃敏
田中 敏
- (オ) 趣 旨

東北大学における考古学研究は、理学部の松本彦七郎、医学部の長谷部言人・山内清男らにより大正年間から開始された。大正14(1925)年には、喜田貞吉などが中心となり、「奥羽史料調査部」を創設し、東北地方における歴史研究の拠点として、原始・古代の資料収集と調査研究を始めた。このような研究の流れは、サハリン(樺太)の調査や弥生時代の遺跡、多賀城跡の調査などで大きな成果をもたらした伊東信雄や、旧石器時代の研究に精力的に取り組んだ芹沢長介に受け継がれた。長年にわたる調査・研究によって蓄積された膨大な資料の多くは現在、東北大学片平キャンパス内にある文学研究科考古学陳列館に収蔵されており、その一部は東北大学総合学術博物館において一般に公開されている。

今回の企画展では、それらのなかから福島県関連の資料も含め、考古学の研究史に登場する著名な遺跡から出土した資料を中心に紹介し、先学が歩んできた考古学研究の足跡をたどった。

(カ) 展示構成

- 第1章 人類文化の起源を求めて — 最古の狩人たち
- 第2章 縄文文化の探究
- 第3章 東北の弥生文化の実像を求めて — 北にひろがる米作り
- 第4章 東北の古墳文化の解明に挑む — 一枚の鏡から
- 第5章 古代陸奥国を掘る — 律令支配のあかし
- 終 章 考古学研究史に足跡を印した東北大学の先駆者

(キ) 展示資料総数

約900点

(ク) おもな展示資料

- ・長崎県福井洞穴出土石器
- ・宮城県沼津貝塚出土骨角器(重文)

- ・青森県垂柳遺跡出土資料
- ・福島県会津大塚山古墳出土資料(重文)
- ・宮城県多賀城跡出土資料

(ケ) 関連行事

- ①記念講演会「東北大学の旧石器文化研究—日本最古の文化を掘り下げる—」
講師：東北大学総合学術博物館教授 柳田俊雄氏
日時：10月12日(土) 13時30分～15時
会場：講堂
- ②記念講演会「サハリン考古学の先駆者伊東信雄博士」
講師：東北大学大学院文学研究科教授 阿子島香氏
日時：11月3日(日・祝) 13時30分～15時
会場：講堂
- ③記念講演会「弥生文化・古墳文化・続縄文文化」
講師：福島県考古学会顧問 中村五郎氏
日時：11月23日(土・祝) 13時30分～15時
会場：講堂
- ④展示解説会
講師：当館学芸員 田中 敏
日時：10月12日(土)・11月3日(日・祝)
講演会終了後

(コ) 成果と課題

今回の企画展は、東北歴史博物館との共同企画展で本来、平成23年度に開催する予定であったが、東日本大震災の影響で仕切り直しとなった展覧会である。展示資料の多くは、通常は東北大学文学研究科考古学陳列館に収蔵され、一般には公開されていない資料のため、今回展示公開し、皆さんにご覧いただけたことは意義深かったと考える。ただし、来場者数が少なかったことは少し残念であった。企画展のみどころなどについて原稿を作成し、それを新聞社に持ち込み掲載していただくなど、広報活動に努めたが、その効果はあまりなかったようだ。ほかの広報媒体の活用や広報対象の検討など、効果的な広報のあり方が課題として残った。

(アンケートの意見より)

- ・見学順路を示してほしい。
- ・知識の少ない私にとっては、ものの意義の見解などもみられると嬉しかったかなと思いました。
- ・地道な研究が東北の歴史を発掘していて

すばらしい。

- ・縄文土器の型式や石器の石質も表記してほしかった。
- ・概略が書かれているパンフレットなどがあるとよい。
- ・数多くの重要なものを見学できてありがとうございました。宮城県に行かないと見られないものばかりです。
- ・縄文土器をながめているだけで幸福になりました。
- ・会津大塚山古墳が学術的にとても価値のあるものだとして初めて知った。
- ・土偶が自分に似ていてウキウキした。



「考古学からの挑戦」リーフレット



友の会会員向けの内覧会



記念講演会「東北大学の旧石器文化研究



展示解説会



展示風景

(3) 特集展

新しく収集した寄贈・寄託資料を中心に、特定のテーマに基づいて一定の期間開催する展示会。企画展示室の一角にある収蔵資料展示室を使用するが多い。たし企画展のように特別の料金はとらず常設展料金で観覧できる。予算化せず常設展費予算でやりくりする。

ア.「東北の伝承切り紙－千葉惣次コレクションを中心にして－」

- (ア) 会 期 平成26年1月30日(木)～
3月27日(木)
- (イ) 会 場 福島県立博物館企画展示室
- (ウ) 入館者数 2494人(会期中の常設展入館者数)
- (エ) 担当学芸員 民俗分野：榎陽介・二瓶浩伸・内山大介・佐々木長生
- (オ) 趣 旨

神事や儀礼の際に作られる伝承切り紙の美しさに心ひかれ、東北各地をめぐり集めた千葉惣次氏のコレクションを中心に、当館所蔵のコレクションも合わせて展示した。千葉氏は千葉県長南町に伝わる土人形・芝原人形の継承者であり、また郷土玩具の研究・収集家でもある。その千葉氏と東北をめぐり、伝承切り紙の写真を撮られてきた写真家・大屋孝雄氏の作品とともに展覧会を構成した。

(カ) 主な展示資料

上山八幡宮(宮城県南三陸町)の切り透かし、新山神社(岩手県奥州市)の御幣、養泉院(福島県二本松市)の御幣、八坂神社(岩手県北上市)の網飾りなど

(キ) 関連事業

展示解説会講師：千葉惣次氏・大屋孝雄氏
日時：平成26年3月9日(日) 13:30～
会場：福島県立博物館 企画展示室

(ク) 成果と課題

千葉氏の収集した宮城・岩手の伝承切り紙に当館が所蔵する福島県内の資料を加えて展示した内容であったが、アンケートをみる限りでは来館者の満足度は高かった。また会場では精巧に仕上げられた切り紙を一点一点じっくりと見て歩く人が多くみられ、資料のもつ力を再認識した展覧会となった。

平成25年度特集展

東北の伝承切り紙

千葉惣次コレクションを中心にして

紙を小刀で切ると、そこから魔法のように生まれ出る美しい造形。シンプルな御幣から複雑な形が重なる神棚飾りまで、多様な造形を披露してくれる伝承切り紙の世界にご案内します。

会場：福島県立博物館 企画展示室
観覧料：常設展料金でご覧になれます。
大人・大学生260円(210円)
※()内は20名以上の団体
高校生・小中学生 無料

展示解説会
講師：千葉惣次さん・大屋孝雄さん
日時：平成26年3月9日(日)13:30～
会場：福島県立博物館 企画展示室
常設展観覧料が必要です

平成26年1月30日(木)
～3月27日(木)



〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25
TEL: 0242-28-6000 FAX: 0242-28-5986
Email: netmaster@general-museum.fks.ed.jp

福島県立博物館
Fukushima Museum

「東北の伝承切り紙」リーフレット



展示風景



展示解説会

(4) 移動展

県立博物館の企画展の一部や、当館の収蔵品を市町村の博物館・資料館で公開して欲しいという要望も多いために移動展を実施している。利用を促進するために移動展のパッケージプラン（別表）を用意し、その中から選んでいただくということも試みてきた。

ア. 震災復興・国立科学博物館コラボミュージアムinおのまち

「恐竜がやってきた！ そうだ！ アロサウルスにあいにいこう！」

主催：小野町ふるさと文化の館、国立科学博物館、全国科学博物館振興財団

共催：福島県立博物館

(ア) 会 期 平成25年10月5日(土)～
11月4日(月・祝)

(イ) 会 場 小野町ふるさと文化の館

(ウ) 入館者数 2,904人

(エ) 担当学芸員 自然分野：相田 優

(オ) 趣 旨

国立科学博物館・全国科学博物館振興財団による「震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム」は、上記の期間を会期として小野町ふるさと文化の館でも開催された。同館でのコラボミュージアムは、恐竜アロサウルスをはじめとして、国立科学博

物館から貸出されたいいくつかの恐竜関連標本に基づく展覧会である。同展において、当館は小野町ふるさと文化の館より、関連する化石・岩石等の展示標本の貸出要請を受けた。当館では要請のあった標本類の貸出と、展示作業の支援を行うこととし、小野町ふるさと文化の館に対して当館との共催を依頼することにより、これらの展示を当館移動展の一環とした。また、関連企画「恐竜作品コンテスト」において審査員として協力した。

(カ) 展示資料

アリエタイテス（ジュラ紀アンモナイト）

ステノフレビア（ジュラ紀昆虫類）

ジュレツキテス（白亜紀アンモナイト）

サウロロフス頭骨（複製）（白亜紀恐竜）

花崗岩（阿武隈山地産 白亜紀深成岩類）

ハンレイ岩（小野町産 深成岩類）

ほか16点 合計22点

(キ) 関連企画「恐竜作品コンテスト」

依頼事項：コンテスト審査員

日 時：平成25年12月18日(水)

午前10時30分～

場 所：小野町多目的研修会施設

出席者：当館学芸員 相田 優

移動展パッケージプラン一覧

No.	分野	規模	タイトル	期間	資料点数	概要
1	考古	A	福島県立博物館所蔵 県指定考古資料展	1～2ヶ月	30～40点	県指定品である優品の紹介
2	考古	B	三貫地貝塚展	1～6ヶ月	約40点	新地町にある縄文時代貝塚の特集
3	考古	B～C	さわってみよう、縄文人・古代人の どうぐ・うつわ・かざり	1～6ヶ月	約41点	ハンズオン+実物資料 原始・古代を実感
4	自然	A	謎の海獣 パレオパラドキシア	協 議	約60点	梁川町発掘の1600万年前の化石
5	自然	B～C	見る・さわる 世界の化石	協 議	約670点から選択	ハンズオン 生物の歴史と化石の楽しさを提供
6	美術	A	けんぱくの宝	協 議	約15点	一級的美術工芸品
7	美術	B	近くで見よう ハンズオン対応資料展	協 議	約20点	ハンズオン ふれて学ぶ美術品
8	民俗	B～C	東北の仕事着	1～2ヶ月	約1200点から選択	コレクション資料 体験講座も可
9	民俗	A～B	郷土玩具	1～2ヶ月	約1900点から選択	コレクション資料 県内各地の郷土玩具
10	民俗	B～C	ふくしまの火伏せ	1～2ヶ月	3セット	安達（中）・三島（会）・鹿島（浜）の火伏せとは
11	民俗	B～C	東日本のわら人形	1～2ヶ月	約20点	関東以北、村を守る想いとは

No.	分野	規模	タイトル	期間	資料点数	概要
12	歴史	B	お金の歴史	2ヶ月程度	約250点	お金の歴史をわかりやすく
13	分野横断	A	県立博物館移動展 はま・なか・あいつの名品	1～2ヶ月	約280点	けんぱくの所蔵する各地の名品が大集合
14	分野横断	A	博物館がやってきた！！ ー県立博物館収蔵庫のヒ・ミ・ツー	1～2ヶ月	約280点	普段は入れないけんぱく収蔵庫のヒミツとは
15	分野横断	A	未来へ伝える 県立博物館の宝展	1～2ヶ月	約50点	考古・美術の一級資料をご紹介します
16	分野横断	A	さわって感じる 化石・古代・美しさ展	1～2ヶ月	約730点から選択	大ハンズオン展、ふれて感じる展覧会です

※規模欄の記号は以下を表します。なお、この表示はおおよその目安であり、出品資料の詳細は担当学芸員と相談のうえ決定します。

A：広いフロア・多くの展示設備を必要とし、美専車での輸送が必要な大規模プラン。展示室内か入口に監視員要。

B：美専車不要の資料、未指定品で構成する中規模プラン。一定のフロア、展示設備が要。展示室内か入口に監視員要

C：美専車不要の資料、未指定品で構成する小規模プラン。展示室入口に監視員か資料保全の囚れる展示ケース等が必要

内容の詳細は、当館HP <http://www.general-museum.fks.ed.jp/> をご覧ください

移動展 出品可能個別資料一覧

No.	分野	資料名	数量(最大)	指定	美専	露出展示	その他条件
1	民俗	渡部つとむコレクション	約1200点	無	不要	相談	寄託資料：仕事着・子供祝着など 寄託資料
2	民俗	大竹コレクション	約1500点	無	不要	相談	こけし、郷土玩具など
3	民俗	東日本のわら人形	約20体	無	※要	可	企画展「境の神・風の神」で製作したもの。美専ではなくとも業者による輸送が必要
4	民俗	会津の雪の装い	約10点	無	不要	可	ハンズオン：カンジキ各種、菅笠、ゲンベエ、雪踏み俵、蓑など
5	民俗	オカマサマ	1セット	無	不要	可	企画展「豊かなる世界」で製作したもの。旧安達町：屋根裏に下げていたセット。男性、女性、牛蒡、鯉節、干し柿、鶴、亀など
6	民俗	火伏せ	1セット	無	不要	可	企画展「豊かなる世界」で製作したもの。三島町名入地区：男性、女性 製作時の写真
7	民俗	火伏せ	1セット	無	不要	可	南相馬市鹿島区：蛇、牛蒡、魚
8	民俗	皮箕	2	無	不要	可	サワグルミ製 三島町他
9	民俗	オリッカ	3	無	不要	可	サワグルミ制 会津美里町
10	民俗	苧引き鉄	3	無	不要	可	
11	民俗	苧引き用舟	3	無	不要	可	くり抜き
12	民俗	麻糸	1袋	無	不要	可	
13	民俗	糸車	2	無	不要	可	麻糸よりかけ用
14	民俗	地機	1	無	不要	可	糸がかけてある
15	民俗	鯉鉢	3	無	不要	可	本郷焼
16	民俗	切立	3	無	不要	相談	本郷焼 一部寄託資料も
17	考古	三貫地貝塚出土縄文土器(複製)	10	無	不要	可	ハンズオン
18	考古	平安時代土器(複製)	10	無	不要	可	ハンズオン
19	考古	首飾り(複製)	1	無	不要	可	ハンズオン

No.	分野	資料名	数量(最大)	指定	美専	露出展示	その他条件
20	考古	古墳時代鏡(複製)	1	無	不要	可	ハンズオン
21	考古	大窪横穴須恵器類	10	無	不要	可	
22	考古	勿来金冠塚古墳出土冑	1式	無	不要	不可	
23	考古	勿来金冠塚古墳冑(複製)	1	無	不要	可	ハンズオン
24	歴史	いわき地区に関する古文書等歴史資料	10	無	不要	不可	1ヶ月程度
25	歴史	相双地区に関する古文書等歴史資料	10	無	不要	不可	1ヶ月程度
26	歴史	県南地区に関する古文書等歴史資料	10	無	不要	不可	1ヶ月程度
27	歴史	県中地区に関する古文書等歴史資料	10	無	不要	不可	1ヶ月程度
28	歴史	県北地区に関する古文書等歴史資料	10	無	不要	不可	1ヶ月程度
29	歴史	南会津地区に関する古文書等歴史資料	20	無	不要	不可	1ヶ月程度
30	歴史	北会津地区に関する古文書等歴史資料	20	無	不要	不可	1ヶ月程度



移動展展示風景

(5) 指定文化財の公開

本館の展示で以下の指定文化財の公開を行った。

ア. 国指定

- 〈重文〉磐城檜葉天神原遺跡出土品(壺1点 甕1点) 檜葉町 (総合展示「原始」)
- 〈重文〉椿彫木彩漆笈 当館 (テーマ展「けんぱくの宝2013」)
- 〈重文〉政典 京都府立総合資料館 (特別展「八重の桜」)
- 〈重文〉レイマン・ハルトマン商会からの書簡 京都府立総合資料館 (特別展「八重の桜」)
- 〈重文〉下令雑記 京都府立総合資料館 (特別展「八重の桜」)
- 〈重文〉宮城県石巻市沼津貝塚出土 亀ヶ岡式土器 台付浅鉢形土器 動物型土製品 岩版 骨角器
東北大学大学院文学研究科 (企画展「考古学からの挑戦」)
- 〈重文〉宮城県名取市経ノ塚古墳出土 円筒埴輪 家形埴輪 短甲型埴輪
東北大学大学院文学研究科 (企画展「考古学からの挑戦」)
- 〈重文〉会津若松市大塚山古墳出土 三角縁

三神二獣鏡 家形四獣鏡 管玉 ガラス玉 算盤玉 豎櫛 鉄剣 鉄鏃 刀子 銅鏃 鉄鏃
会津若松市 (企画展「考古学からの挑戦」)

イ. 県指定

- 十一面観音立像懸仏 八槻都々別神社 (総合展示「中世」)
- 梁川城跡出土品 伊達市教育委員会 (総合展示「中世」)
- 三島町荒屋敷遺跡出土弥生土器壺 三島町教育委員会 (ポイント展「米作りをはじめた頃の土器」)
- 石川町鳥内遺跡出土弥生土器壺 石川町教育委員会 (ポイント展「米作りをはじめた頃の土器」)
- 棚倉町流廃寺跡出土鉄剣 棚倉町教育委員会 (ポイント展「古代山岳寺院ー棚倉町流廃寺跡」)

(6) 展示解説

ア. 展示解説員

平成25年度の展示解説員は13名で前年度と変わらなかった。これに加えて前年度と同様に常設展示室内で2名分の監視員を委託できる予算がついていた。春の企画展では、展示予算の中で監視員を予算化することができず、夏と秋の企画展では、辛うじてそれぞれの展示予算内で監視員を1名委託することができた。

ただ、企画展開催時には企画展示室の入口のもぎりに人数を割かれるなどするため、常設展示室内の監視員として実質1名の減となった。そのため、学芸員による監視・解説活動を増やし、定数減の状況を乗り切ることができなかった。

このような展示解説員の減員により、それ

まで実施されていたような解説員が主となる講座などは、今年度も実施できない状況であった。

また、展示解説員は来館者に展示を解説・案内することが第一の役割であるが、定数減により展示解説員1人で対応しなければならないエリアが広がった関係で十分な解説活動ができない場合が多く、最低限の監視業務を行うので精一杯の状況であることが多かった。

しかし、総合ガイダンスと名付けられた受付での来館者への対応などは、展示や館内の業務をよく知っている解説員でなければ担当できない業務である。現在は、減員の中でもどうか対応している状況であるが、現在の定員が通常業務を実施する上では限界の状態であり、来館者への解説サービスを考えた場合、定数増が図られなければ、本来の業務にも支障を来すおそれも出てくる。

(ア) やさしい展示解説

展示解説員による常設展の定時解説で、原則的に他の行事の入っていない土曜と日曜日の午前11時、午後2時の2回開催することになっている。1回の所要時間は約30分。年度当初は新人解説員の研修などが入るため、やさしい展示解説は8月20日からはじめた。

実施状況

開催日数：56日 実施日数：34日

開催回数：112回 実施回数：39回

総参加人数：111人

(イ) 通し解説

非定期的に行われる常設展・企画展の解説。主として来館の個人・団体の要望に応じて展示解説員1名が全体を解説するもの。解説員の減員のため、通し解説は困難になってきているが、予約の団体の要望にこたえる形で実施してきていることが多い。

実施回数：18回

(ウ) 部屋送り解説

非定期的常設展・企画展の解説。主として来館する個人の要望に応じ、各展示室の担当として立っている解説員が順に引き継いで解説する。

実施回数：72回

(エ) 体験講座

体験講座などの解説員が主体となって実施する講座は、解説員業務に比して人数が少ないために平成25年度も実施されなかった。ただし、七夕の時期には竹飾り、クリ

スマスには手製のクリスマスツリー、小正月に合わせての団子飾り、ひな祭りの時期に自作の雛人形の段飾りなど、解説員が自分たちで作ったものを体験学習室内に展示することは継続している。

イ. 学芸員

企画展および特集展の開催中は展示監視に立つポストが増えることになり、展示解説員だけでは解説員の昼休みや休憩時間の減員に対応できないので、学芸員が代わって展示室に立つことになっている。原則1コマ45分である。25年度は年間で132回を数えた。とくに展示室内の監視員が予算化できなかった春の企画展では解説員の人員配置を工夫したが、前年度以上に学芸員が展示室に立つ回数も増加した。学芸員が展示室に立つことは単なる解説員の肩代わりではなく、実際に展示室に立つことにより得るもの、気づくものが多かったが、通常業務とのバランスの点で今後の検討が必要である。また、企画展、テーマ展、特集展については、公民館、研究団体などからの依頼に応じて、担当分野の学芸員が65団体に対して65回の展示解説を実施した。

ウ. 展示解説のための印刷物

①福島県立博物館常設展示解説図録

常設展の解説図録。昭和61年初版発行。106p.

②福島県立博物館ガイドブック

常設展の展示内容をコンパクトに解説。裏方の館活動も紹介。昭和61年発行。28p.

③Fukushima Museum Permanent Exhibition

Guide Book

英文の展示解説パンフレット。希望する来館者に無償配布。平成18年発行。14p.

(7) 体験学習室

エントランスホール隣に設置してある無料で使用できる場所。囲炉裏のついた畳敷きの座敷と木のフローリングの部分がある。昔のおもちやが用意されていて、自由に遊べるほか、季節ごとに昔の着物を着ることができる。着付けは衣服の上からだがかなり本格的で好評を得ている。また、資料に触れるハンズオンコーナーは半年ごとの入れ替えになっている。この部屋には展示解説員が常駐し来館者に対応している。



体験学習室

ア. 衣装

(ア) 衣装着付け

体験学習室で時代衣装の着付け体験を行っている。着衣のままその上に着る形ではあるが、かなり本格的な衣装着付けであり、展示解説員は着付けの技術をきちんと学ばなければならないし、一回の時間もかかる。しかし、他の博物館ではここまできちんと着つけることはそれほど多くはないと思われ、当館の体験学習室のセールスポイントでもある。前年度の合計706回に比べてやや増加したが、22年度の891回には及ばなかった。

①衣装着付け件数 768件

②着付けた衣装 春：直垂、打掛 夏：
水干（子供用）、秋：
推古朝朝服、天武朝女
官朝服
冬：山伏、白拍子

衣装の着付けはかなり本格的なもののなので、そのため解説員の研修時間も多くなるし、多人数の要望には一度に答え難い面もある。しかし、着終わった姿を鏡に映して満足する来館者が多く見られる。

(イ) 衣装展示

春：大鎧、稚児鎧 夏：大鎧、稚児鎧
秋：武士旅姿、壺装束
冬：半衿、南蛮装束

イ. 手作り資料展示

季節に関する手作りの資料を展示した。製作は展示解説員が担当。

7月：七夕飾り／12月：クリスマスツリー／
1月：団子さし／3月：手作り雛人形

ウ. おもちゃ

畳の上で幼児におもちゃで遊ばせるお母さんや家族連れが多くみられる。壁の引き出し

に用意されているおもちゃの利用も多い。修理を必要とするおもちゃもあり、解説員の係で担当している。

おもちゃの修理：236件

エ. ハンズオンコーナー

来館者が展示品を実際に手に取り使用方法を体験できるコーナー

平成25年10月～平成26年3月「雪国のはきもの」（民俗分野）



ハンズオンコーナー「雪国のはきもの」

(8) 博物館新情報収集・展示室改善プロジェクト

将来の博物館リニューアルを見据えて、新設あるいはリニューアルした博物館の視察、新しい展示手法に関する情報収集を行っている。今年度は、東日本大震災資料の収集に関する報告会を職員向けに開催した。内容は、「災害資料展示について」（内山大介）、「浜通り被災資料巡検について」（金澤文利）であった。

また、博物館実習では「新しい展示の立案について」の単元を担当し、実習生による展示制作「福島県の郷土玩具」を指導した。このほかリニューアルに関する会議を実施している。

4. 調査研究事業

(1) 展示資料調査研究

将来の博物館リニューアルに向けて、新たな研究成果と展示資料の収集のため、考古・歴史・民俗・美術・自然の各分野がテーマを設定し、調査を実施している。なお、本年度より各分野における研究テーマを一新し、以下の4テーマで新たな調査研究を開始することとした。

ア. 新生代植物化石の再評価

(ア) 趣旨

当館自然分野の収蔵資料のなかで最も重要なものの一つに鈴木敬治植物化石コレクションがある。このコレクションは(故)鈴木敬治福島大学名誉教授が当館に寄贈されたもので、その内容の大部分は福島県内産の新生代植物化石である。これらの標本は、これまでに10,000点以上について鑑定、整理が行われてきたが、鈴木氏の他界後、多数の未整理標本が残された。

これらについて、最近、新たに1,000点以上の整理を進めることができた。最近の進捗についてはボランティアの力によるところが大きく、また、産地・地質時代にまとまりのある標本の整理を進めることができた。

そこで、これらの標本について鑑定内容を確認した上で成果を論文として記録・公表し、これまでに行ってきた本コレクション整理の成果に付け加えたい。また、整理済標本を展示する機会を設け、より充実したコレクションの再評価につなげたい。

(イ) 概要

郡山市熱海町地域における片平層、金山町猿倉沢地域における上井草層の化石産地確認調査を行うとともに、付近の地質概要を把握する。また、すでに収蔵されている同地域の植物化石について、同定内容の再確認、標本写真撮影、未登録標本のラベリングおよび登録等を順次行い、展示公開や博物館紀要への執筆等により成果を公表する。なお本年度は、国立科学博物館研究員の矢部淳氏を招き、上井草層産の植物化石の同定について再検討を依頼した。

イ. 会津藩社倉制の研究

(ア) 趣旨

江戸時代には備荒貯蓄や米価調整のため、各藩や代官所においてさまざまなシステムの構築が試みられた。その備荒貯蓄政策の代表的なものは会津藩の例で、保科正

之がはじめた社倉や社跡米の制度である。この制度は藩政時代から全国的にも注目されたが、その詳細について、系統的な研究はあまり行われていない。よって各種文献の調査等を行い、制度の具体的なシステムについて明らかにすることを旨とする。

(イ) 概要

まずは『家世実紀』など、会津藩の基礎資料の中でどのように記されているのかを調査し、藩の政策としてどのように変遷してきたのかを時系列で追うことに努めた。今後は引き続き家世実紀の調査を行うと共に、周辺資料についても合わせて調査を行い、研究結果を展示や紀要などで公表したい。

ウ. デジタル化した映像資産の整理と活用

(ア) 概要

平成25年度では、ふくしまの映像文化アーカイブ事業で収集しデジタル化した映像について、それぞれの映像に何が映っているかを中心として、内容が検索できるようなインデックスを付ける作業を行った。これは映像資産の活用のための基礎的な作業である。たとえば、「結婚式」という語で検索すれば、映像のタイトルに「結婚式」とあるもののほかに、実際結婚の様子が記録されているものがヒットする。しかも、各映像の何分何秒ぐらいにそのような映像が登場するかを記録することによって、より簡単に求める映像までたどりつくことができるようになる。なお、その成果については、平成26年度中に紀要で公開する予定である。

エ. 町方資料の受け入れと整理

(ア) 趣旨

会津若松市の河野家が設立した酒造博物館には、此花酒造の酒造関連資料のほか城下町の生活を物語る町方資料が多く収蔵されていたが、現在は閉鎖中である。おそらく数千点にのぼると考えられるこれらの資料は会津の都市生活史・民俗史を研究する上で貴重な文化財であり、それを後世に残すために資料の受け入れと整理を検討した。

(イ) 概要

平成23年度に寄贈の申し出を受けて事前調査を行い、平成24年度には会津若松市と合同で現地で資料調査を行った。その際、

建物の雨漏り等によりカビの発生している資料などがみられたため、緊急的に資料を県立博物館に搬送して燻蒸等の処置を行っていた。平成25年度は資料全体の受け入れと整理を進める予定であったが、河野家と会津若松市、当館とで協議を進める中で事情により資料の行き先が未定となってしまったため、当初の事業は行うことができなくなった。

(2) その他の調査研究事業

ア. 古文書整理事業

古文書類の調査・研究は、福島県の歴史をさぐるために欠かせない。しかし古文書を歴史資料として活用するためには、1点ずつ整理を行い、表題・年代・形態・法量・状態などのデータを採取した上で、博物館資料として登録する必要がある。このため、購入・寄贈・寄託などにより当館で受け入れた古文書の整理作業を行っている。また古文書原本を状態よく保存し後世に伝えていくため、古文書をマイクロ撮影し、原本のかわりに閲覧用に提供している。

平成25年度は、昨年度に引き続き松崎達夫家寄贈資料の整理作業を継続して実施したほか、新たに松下眞紀家寄贈資料の整理作業を行った。また資料管理システム更新後の所蔵資料一般公開に向けて、既登録資料のデータを一部整備した(五十嵐コレクション)。マイクロ撮影は、新たに「特定医療法人明智会寄託資料」の撮影を行った。

(3) 職員の研究活動

ア. 研究成果の公表(職員の氏名あいうえお順)

(ア) 印刷物(単行本・自治体史・図録・報告書・紀要・学術雑誌)

阿部綾子 2014.3 「浅羽忠之助の生涯とその遺録ー浅羽家寄贈資料からー」『福島県立博物館紀要』第28号 pp.69-86
福島県立博物館

阿部綾子・高橋 充 2014.3 「寛永二年醍醐寺僧侶の東国下向記(1)」『福島県立博物館紀要』第28号 pp.45-57 福島県立博物館

内山大介 2013.11 「奉納絵馬の救出と地域の活動ー須賀川市朝日稲荷神社の事例ー」『ふくしま再生と歴史・文化遺産』阿部浩一・福島大学うつくしまふくしま未来支援センター編(共著)山川出版社

内山大介 2014.3 「東神指の彼岸獅子ー受託資料の整理と調査からー」『福島県立博物館紀要』第28号 pp.87-97 福島

県立博物館

内山大介 2014.3 「会津の観音講と観音巡礼ー女性の暮らしと産育祈願の民俗ー」『福島の民俗』第42号 pp.42-57 福島県民俗学会。

榎 陽介 2013.9 「裁縫と衣の民俗ー福島県の女性と暮らしー」『講座 東北の歴史 第六巻 生と死』鈴木岩弓・田中則和編(共著)清文堂

榎 陽介 2014.3 「博物館に集まった資料たちーある女性から寄贈された資料を巡っての2、3の雑考ー」『福島県立博物館紀要』第28号 pp.35-44 福島県立博物館

高橋 充 2013.11 「奥羽と関東のはざまにてー戦国期南奥の地域権力ー」『入間田宣夫監修講座 東北の歴史第三巻(境界と自他の認識)』pp.88-108 清文堂

高橋 充・阿部綾子 2014.3 「寛永二年醍醐寺僧侶の東国下向記(1)」『福島県立博物館紀要』第28号 pp.45-57 福島県立博物館

高橋 充 2014.3 「三瓶(三平)氏について」『柏木城跡 北塩原村城館等保存・整備・活用検討委員会の記録』北塩原村文化財調査報告書第3集 pp.65-70 北塩原村教育委員会

竹谷陽二郎 2013.8 「中部ジュラ系〜下部白亜系相馬中村層群の層序と化石」『地質学雑誌』第119巻 補遺 pp.68-81 日本地質学会

時枝 務・高橋 充 2014.3 「信夫山頂遺跡出土品の研究(4)」『福島県立博物館紀要』第28号 pp.23-33 福島県立博物館

藤原妃敏・田中 敏・高橋 満 2014.7 「考古学からの挑戦ー東北大学考古学研究の軌跡ー」福島県立博物館企画展図録 福島県立博物館

(イ) 学会発表

榎 陽介 2013.7 「大規模自然災害発生時における被災文化財等救済体制の整備状況について」平成25年度日本博物館協会東北支部・東北地区博物館協会合同研修会

榎 陽介 2014.3 「被災文化財と博物館の現状 平成25年度日本博物館協会研究協議会」東日本大震災から3年復興への道のりを検証する

松田隆嗣・杉崎佐保恵・山崎正彦 2013.7

「新設ケースから発生する有害ガスの
季節及び経年変化について」文化財保存
修復学会第35回大会in仙台

イ. 他団体による委嘱等

- 阿部綾子：青森県史編纂委員 青森県
阿部綾子：相馬市史編さん調査執筆員 相馬
市教育委員会
荒木 隆：会津坂下町史編さん委員 会津坂
下町教育委員会
内山大介：福島県民俗学会事務局 福島県民
俗学会
内山大介：大学共同利用機関法人 人間文化
研究機構（国立歴史民俗博物館）連携研究
「大規模災害と広域博物館連携に関する総
合的研究」連携研究員
榎 陽介：相馬市史編さん執筆委員 相馬市
教育委員会
榎 陽介：福島県民俗学会事務局 福島県民
俗学会
榎 陽介：サポートセンター員 福島大学う
つくしまふくしま未来支援センター
榎 陽介：大学共同利用機関法人 人間文化
研究機構国立歴史民俗博物館共同研究「東
日本大震災被災地域における生活文化研究
の復興と博物館型研究統合」共同研究員
川延安直：喜多方市美術品収集委員 喜多方
市教育委員会
川延安直：「ふるさとの風景展」審査員 喜
多方市美術館
川延安直：いわき市文化財保護審議委員会委
員 いわき市教育委員会
川延安直：須賀川市文化財保護審議委員会委
員 須賀川市教育委員会
川延安直：白河市文化財保護審議委員会委員
白河市教育委員会
川延安直：文化芸術による復興推進コンソー
シアム推進委員 文化芸術による復興推進
コンソーシアム運営委員会
川延安直：福島大学芸術による地域創造研究
所研究員 福島大学
川延安直：会津若松市手づくり舞台制作委員
会委員 会津若松文化振興財団
川延安直：文化のまちづくり事業委員会委員
会津若松文化振興財団
小林めぐみ：福島大学芸術による地域創造研
究所研究員 福島大学
小林めぐみ：会津漆器技術後継者訓練校講師
会津漆器協同組合
佐々木長生：相馬市史編さん調査執筆委員
相馬市教育委員会
佐々木長生：小高町史編纂委員 南相馬市教
育委員会
佐々木長生：森林に係わる調査検討委員会委
員 福島県森林文化課
佐治 靖：環境と開発に関する調査 平安座
自治会
佐治 靖：郡山市文化財保護審議委員会委員
郡山市教育委員会
佐治 靖：檜枝岐民俗誌編纂事業委員 檜枝
岐村教育委員会
佐治 靖：大規模複合災害における自治体・
コミュニティの減災機能に関する社会的
研究 日本学術振興会
佐治 靖：農の哲学プロジェクト 日本学術
振興会
佐治 靖：災害復興における在来知—無形文
化の再生と記憶の継承 国立民族学博物館
佐治 靖：課題研究懇談会—災害人類学 日
本文化人類学会
佐藤洋一：「八重の桜」特別展企画委員
NHKプロモーション
佐藤洋一：福島県文学賞審査委員会委員 福
島県文化スポーツ局
杉崎佐保恵：文化財保存修復学会第35回大会
実行委員
高橋 充：塩川町史編纂委員 喜多方市教育
委員会
高橋 充：二本松城跡整備検討委員会委員
二本松市教育委員会
高橋 充：向羽黒山城跡調査整備委員会委員
会津美里町教育委員会
高橋 充：原町市史編さん専門研究委員 南
相馬市教育委員会
高橋 充：相馬市史編さん調査執筆員 相馬
市教育委員会
高橋 充：会津藩主松平家墓所及び松平氏庭
園整備指導会議委員 会津若松市教育委員
会
高橋 充：会津藩主松平家墓所保存整備委員
会委員 猪苗代町教育委員会
高橋 充：阿津賀志山防塁発掘調査指導及び
整備計画策定委員会委員 国見町教育委員
会
高橋 充：宮脇遺跡調査指導委員会委員 伊
達市教育委員会
高橋 充：会津坂下町史編さん委員会委員
会津坂下町
高橋 充：北塩原村城館等保存・整備・活用
検討委員会委員 北塩原村教育委員会
高橋 充：福島県における歴史資料の保全と

地域総合学構築に関する研究 日本学術振興会
 高橋 充：サポートセンター員 福島大学
 つくしまふくしま未来支援センター
 高橋 充：福島県における歴史資料保全と地域総合資料学の構築に関する研究研究協力者 日本学術振興会
 高橋 満：会津坂下町史編さん委員 会津坂下町教育委員会
 竹谷陽二郎：相馬市史編さん調査執筆員 相馬市教育委員会
 竹谷陽二郎：南相馬市博物館協議会委員 南相馬市博物館
 竹谷陽二郎：磐梯山ジオパーク協議会運営委員長 磐梯山ジオパーク協議会
 竹谷陽二郎：ジオパーク支援委員 日本地質学会
 竹谷陽二郎：ふくしまサイエンスぷらっとフォーラム連携コーディネーター
 竹谷陽二郎：サポートセンター員 福島大学
 うつくしまふくしま未来支援センター
 田中 敏：会津坂下町史編さん委員 会津坂下町教育委員会
 藤原妃敏：会津若松市文化財保護審議委員会 会津若松市教育委員会
 藤原妃敏：郷土研究奨励賞選考委員 会津若松市教育委員会
 藤原妃敏：塩川町史編さん委員 喜多方市教育委員会
 藤原妃敏：原町市史編さん専門研究委員 南相馬市教育委員会

藤原妃敏：鹿島町史編さん委員 南相馬市教育委員会
 藤原妃敏：新鶴民俗資料館運営委員・会津美里町教育委員会
 藤原妃敏：喜多方市立美術館運営協議会委員 喜多方市教育委員会
 藤原妃敏：笹山原No.16遺跡調査指導委員 郡山女子短期大学
 藤原妃敏：福島県考古学会副会長 福島県考古学会
 藤原妃敏：南相馬市博物館協議会委員 南相馬市博物館
 藤原妃敏：会津坂下町史編さん委員 会津坂下町教育委員会
 藤原妃敏：サポートセンター員 福島大学
 つくしまふくしま未来支援センター
 藤原妃敏：森林に係わる調査検討委員会委員 福島県森林文化課
 古山智行：「八重の桜」特別展企画委員 NHKプロモーション
 古山智行：ふるさと福島魅力発見プロジェクト企画委員 福島県観光交流局
 古山智行：教員養成実地指導講師 福島大学
 森 幸彦：原町市史編さん専門研究委員 南相馬市教育委員会
 森 幸彦：鹿島町史編さん委員 南相馬市教育委員会
 森 幸彦：三島町歴史文化基本構想策定委員会文化財調査部会委員 三島町
 森 幸彦：福島県の森林文化に係わる調査検討委員会委員 福島県森林文化課

5. 教育普及事業

(1) 講座・講演会

当館では館長と学芸員による各種講座を開催しているが、そのほかにも、外部に講師を依頼しさまざまな講座・講演会等を実施している。平成25年度の各講座開催数と参加者数を下記に記した。

前年度（平成24年度）の開催回数は91回で今年度は5回少なかった。総参加者数は前年度6,077人で、1,143人の増加を見、前年比119%であった。以下は個別講座・講演等の一覧である。

平成25年度講座・講演会等行事一覧

(1) 木曜の広場

テ	マ	講	師	講師所属	期	日	参加人数
「会津風土記・風俗帳の世界」	1	赤坂憲雄		館長	4月	18日(木)	82
「会津風土記・風俗帳の世界」	2	赤坂憲雄		館長	5月	9日(木)	85
「会津風土記・風俗帳の世界」	3	赤坂憲雄		館長	6月	20日(木)	83
「会津風土記・風俗帳の世界」	4	赤坂憲雄		館長	7月	18日(木)	80
「会津風土記・風俗帳の世界」	5	赤坂憲雄		館長	8月	15日(木)	43
「会津風土記・風俗帳の世界」	6	赤坂憲雄		館長	9月	19日(木)	63
「会津風土記・風俗帳の世界」	7	赤坂憲雄		館長	10月	17日(木)	51

テ	ー	マ	講	師	講師所属	期	日	参加人数
「会津風土記・風俗帳の世界」	8		赤坂憲雄		館長	11月21日	(木)	52
「会津風土記・風俗帳の世界」	9		赤坂憲雄		館長	12月19日	(木)	58
「会津風土記・風俗帳の世界」	10		赤坂憲雄		館長	1月16日	(木)	42
「会津風土記・風俗帳の世界」	11		赤坂憲雄		館長	2月20日	(木)	74
「会津風土記・風俗帳の世界」	12		赤坂憲雄		館長	3月20日	(木)	65

(2) 考古学講座

テ	ー	マ	講	師	講師所属	期	日	参加人数
実技講座「縄文土器を作ろう1」			森 幸彦		学芸員	8月3日	(土)	14
実技講座「縄文土器を作ろう2」			森 幸彦		学芸員	8月4日	(日)	14
考古学講座「土器の野焼き」			森 幸彦		学芸員	9月22日	(日)	14
考古学講座「勾玉・ガラス玉を作ろう」			高橋 満		学芸員	3月8日	(土)	18

(3) 民俗学講座

テ	ー	マ	講	師	講師所属	期	日	参加人数
映像で考える民俗学1「会津の民具について考える」			佐々木長生		学芸員	10月19日	(土)	11
映像で考える民俗学2「会津の絵ろうそくを考える」			榎陽介		専門員	11月2日	(土)	12
映像で考える民俗学3「会津の初市を考える」			二瓶浩伸		学芸員	1月11日	(土)	36
映像で考える民俗学4「会津の彼岸獅子を考える」			内山大介		学芸員	3月1日	(土)	64

(4) 歴史講座

テ	ー	マ	講	師	講師所属	期	日	参加人数
八重の時代の会津人1「山川浩と健次郎」			佐藤洋一		学芸員	8月31日	(土)	68
八重の時代の会津人2「浅羽忠之助」			阿部綾子		学芸員	9月14日	(土)	88
八重の時代の会津人3「西郷頼母」			古山智行		学芸員	11月9日	(土)	94
八重の時代の会津人4「渋谷光信」			高橋 充		学芸員	11月30日	(土)	84
歴史の中の旅1「江戸時代の観音巡礼」			高橋 充		学芸員	1月25日	(土)	108
歴史の中の旅2「斗南への道」			阿部綾子		学芸員	2月1日	(土)	187
歴史の中の旅3「新島襄が見た道」			古山智行		学芸員	2月8日	(土)	82
歴史の中の旅4「明治期 子供雑誌に見る富士登山」			佐藤洋一		学芸員	2月22日	(土)	64

(5) 自然史講座

テ	ー	マ	講	師	講師所属	期	日	参加人数
野外講座「化石をさがそう」			相田 優		学芸員	10月12日	(土)	29
実技講座「化石標本をつくろう」			竹谷陽二郎		学芸員	10月13日	(日)	40
鶴ヶ城の野鳥			古川裕司		野鳥研究家	11月24日	(日)	9

(6) 保存科学講座

テ	ー	マ	講	師	講師所属	期	日	参加人数
福島県立博物館における収蔵資料の予防保存－資料を取り巻く環境の調査と改善－			杉崎佐保恵		学芸員	4月20日	(土)	5

(7) 指導者向け研修

テ	ー	マ	講	師	講師所属	期	日	参加人数
博物館利用指導者研修会			古山智行ほか		学芸員	7月31日	(水)	6

(8) 実技講座

テ	ー	マ	講	師	講師所属	期	日	参加人数
小旗をつくろう			大野青峯・大野久子		伝統技術保持者	5月5日	(日・祝)	21
会津三島の編み組み細工 「マタタビ蔓のそばザル作り」1			五十嵐光栄・目黒政栄		伝統技術保持者	7月6日	(土)	14
会津三島の編み組み細工「マタタビ蔓のそばザル作り」2			五十嵐光栄・目黒政栄		伝統技術保持者	7月7日	(日)	14

(9) 実演

テ	ー	マ	講	師	講師所属	期	日	参加人数
大堀相馬焼の絵付け			半谷みどり		大堀相馬焼窯元 休閑窯	6月23日	(日)	86
昔語り			横山幸子		語り部	9月8日	(日)	32
檜枝岐に伝わるガバぞうり作り			平野チサエ		伝統技術保持者	11月4日	(月・祝)	40
上映会&トークイベント「ドキュメンタリー映画 生きてこそ」			山田登志美 安孫子 亘		語り部 映画監督	3月22日	(日)	275

(10) 企画展関連行事

テ	ー	マ	講	師	講師所属	期	日	参加人数
「2013年NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」友の会 内覧会			西山 剛 齋藤慎一 小枝弘和 佐藤洋一 古山智行		京都府京都文化 博物館学芸員 学芸員 東京都江戸東京 博物館学芸員 同志社大学同志 社社史資料セン ター社史資料調 査員 学芸員 学芸員	5月16日	(木)	72
企画展関連講演会・シンポジウム 基調講演「昭和 3年と会津」 シンポジウム「NHK大河ドラマ特別 展『八重の桜』の魅力」			齋藤慎一 佐藤洋一		東京都江戸東京 博物館学芸員 当館学芸員	6月12日	(水)	134
企画展関連講演会・シンポジウム 基調講演「幕末 京都の活力」 シンポジウム「幕末・明治の京都 一覚馬と襄、新選組一」			西山剛 小枝弘和		京都府京都文化 博物館学芸員 同志社大学同志 社社史資料セン ター社史資料調 査員	6月26日	(水)	215
企画展「震災復興・国立科学博物館コラボミュージ アムin会津若松「対決！恐竜展 ティラノサウルス とトリケラトプス」友の会内覧会			相田 優		学芸員	7月26日	(金)	50
企画展「震災復興・国立科学博物館コラボミュージ アムin会津若松「対決！恐竜展 ティラノサウルス とトリケラトプス」展示解説会			相田 優		学芸員	7月28日	(日)	31
企画展記念講演会「最新恐竜学」			真鍋 真		国立科学博物館 研究主幹	8月11日	(日)	66
震災復興・国立科学博物館コラボミュージアムin会 津若松「対決！恐竜展 ティラノサウルスとトリケ ラトプス」展示解説会			真鍋 真		国立科学博物館 研究主幹	8月11日	(日)	45
ペーパーアートで恐竜をつくろう			半沢政人		美術家	8月24日	(土)	40
震災復興・国立科学博物館コラボミュージアムin会 津若松「対決！恐竜展 ティラノサウルスとトリケ ラトプス」展示解説会			相田 優		学芸員	9月16日	(月・祝)	25

テ	マ	講	師	講師所属	期	日	参加人数
企画展「考古学学からの挑戦」	友の会内覧会	藤原妃敏・田中 敏 荒木 隆・高橋 満		学芸員	10月4日	(金)	65
企画展「考古学学からの挑戦」	記念講演会「東北大学の旧石器文化研究—日本最古の文化を掘り下げる」	柳田俊雄		東北大学総合学術博物館前館長	10月12日	(土)	59
企画展「考古学学からの挑戦」	展示解説会1	田中 敏		学芸員	10月12日	(土)	23
企画展「考古学学からの挑戦」	記念講演会「サハリン考古学の先駆者 伊東信雄博士」	阿子島香		東北大学文学部教授	11月3日	(日・祝)	32
企画展「考古学学からの挑戦」	展示解説会2	田中 敏		学芸員	11月3日	(日・祝)	14
企画展「考古学学からの挑戦」	記念講演会「弥生人と縄文文化」	中村五郎		考古学者	11月23日	(土・祝)	32

(11) ミュージアムイベント

テ	マ	講	師	講師所属	期	日	参加人数
玄如節と会津の民謡		玄如節顕彰会			6月22日	(土)	67
会津磐梯山・市民盆踊り		会津磐梯山盆踊り保存会			8月15日	(木)	300
夏休み恐竜ナイトミュージアム	サプライズイベント絵本読み聞かせ「おまえうまそうだな」	竹谷陽二郎 相田 優 船尾武彦 浜中順子		学芸員 FTVアナウンサー	7月21日	(土)	100
夏休み恐竜ナイトミュージアムPart2	サプライズイベント絵本読み聞かせ「おまえうまそうだな」	竹谷陽二郎 相田 優 船尾武彦 若槻麻美		学芸員 FTVアナウンサー	9月15日	(日)	100
クリスマスコンサート				フルーツトリオ「花咲里」	12月21日	(土)	105
館長サタデープロジェクト 真冬の学習	「福島震災被害とミュージアムのこれから」	吉野高光 津崎 順 赤坂憲雄 藤原妃敏		双葉町教育委員会 アクアマリンふくしま 館長 学芸課長	3月15日	(土)	38

(12) 共催事業

テ	マ	講	師	講師所属	期	日	参加人数
ふくしまスマイルキャラバン	ものづくりワークショップ「張り子の干支づくり」	県子育て支援課			12月15日	(日)	58
ふくしまスマイルキャラバン	「よしもとキッズお笑いワークショップ&トークショー」「ポケモンワークショップ」	県子育て支援課		よしもと興業 キングコング梶原・ムーディー勝山・大西ライオン・イシバシハザマ	12月23日	(月・祝)	621
「ふくしま復興のつどい2014 ～希望のあかり～ in あいづ」		県会津地方振興局		キャンドルジュン 大熊町・大野小学校 大熊中学校 大沼高校 会津マスクワイア等	3月9日	(日)	600

(13) 後援事業

テ ー マ	主催	講師・所属等	期日	参加人数
同志社女子大学 講演会・「八重と会津と板かるた」 トークセッション「八重が結ぶ会津と京都」	同志社女子大学	同志社女子大学 教授 吉海直人 若松城天守閣郷 土博物館学芸員 湯田祥子 学芸員 古山智行	6月1日(土)	187
福島県青少年教化協議会講演会	福島県青少年教化 協議会	エッセイスト 大石邦子	6月16日(日)	150
小教研北会津地区社会科研究会	小教研北会津地区 社会科研究部		7月23日(火)	15
「ふるさと福島」魅力いっぱい！発掘コンテスト	県観光交流課	学芸員 古山智 行ほか	8月2日(金)	180
民家の甲子園	一般社団法人福島 県古民家再生協会		8月4日(日)	159
福島県造形サークル連合大会夏期会津大会	会津造形サークル		8月24日(土)	49
大名庭園サミットin会津若松	大名庭園民間交流 協議会主催 会津 若松市商工観光課 共催		10月6日(日)	210
会津大塚山古墳関連講演会「会津大塚山古墳の意義 ＝発掘後50年-」	会津若松市教育委 員会	考古学者 伊藤 玄三	10月13日(日)	148
「猪苗代湖と白鳥」	NPO風の谷委員 会	民俗学者 赤羽 正春	10月14日(月)	75
会津史学会歴史文化講演会「建造物から見た会津の 歴史」	会津史学会	東京造形大学講 師 松崎照明	10月20日(日)	96
宇宙に夢中！～はやぶさからはやぶさ2～ 「講演会 日本の宇宙開発とその未来」 「映画会 HAYABUSA BACK TO THE EARTH 帰還パー ジョン」	会津そらの会	JAXA准教授 吉 川 真	11月16日(土)	173
宇宙に夢中！「工作教室」	会津そらの会		11月17日(日)	30
放送大学講演会 「福島の再生可能エネルギーを福島県民のために」	放送大学福島学習 センター	放送大学福島学 習センター客員 教授・福島大学 教授 佐藤理夫	12月1日(日)	29
会津史談会公開文化史講座 「会津の寺院と僧侶ー領主の信仰と三十三観音を中心に」	会津史談会	学芸員 高橋充	12月12日(木)	150
会津史談会公開講座 「講演 会津乱世日記松崎矩 綱」	会津史談会	H25史談会賞受賞 者 松崎 建	3月6日(木)	170
会津史談会公開講座 「講演 会津乱世日記松崎矩 綱」	会津史談会	H25史談会賞受賞 者 松崎 建	3月6日(木)	170
サムライシティプロジェクト講演会「会津武士道精 神について～蒲生氏郷から山川健次郎まで～」	サムライシティプ ロジェクト実行委 員会	作家 中村彰彦	3月21日 (金・祝)	200

平成25年度講座・講演会等の回数と参加者数

テ ー マ	回数	参加者数
(1) 木曜の広場	12	778
(2) 考古学講座	4	60
(3) 民俗講座	4	123
(4) 歴史講座	8	775
(5) 自然史講座	3	78
(6) 保存科学講座	1	5
(7) 指導者向け研修	1	6

テ　　マ	回数	参加者数
(8) 実技講座	3	49
(9) 実演	4	433
(10) 企画展関連行事（記念講演・シンポジウム・講座・展示解説会等）	17	903
(11) ミュージアムイベント	10	710
(12) 共催事業	3	1279
(13) 後援事業	17	2191
計	86	7390



木曜の広場
「会津風土記・風俗帳の世界」2（5月9日）



考古学講座
「勾玉・ガラス玉を作ろう」（平成26年3月8日）



木曜の広場
「会津風土記・風俗帳の世界」3（6月21日）



民俗学講座「映像で考える民俗学2
『会津の絵ろうそくを考える』」（11月2日）



考古学講座「縄文土器を作ろう」（8月4日）



民俗学講座「映像で考える民俗学4
『会津の彼岸獅子を考える』」（平成26年3月1日）



歴史講座「八重の時代の会津人2
『浅羽忠之助』」(9月14日)



実技講座「小旗作り」(5月5日)



歴史講座「歴史の中の旅3
『新島襄が見た道』」(平成26年2月8日)



実演「大堀相馬焼の絵付け」(6月23日)



自然史講座「化石をさがそう」(10月12日)



実演「昔語り」(9月8日)



自然史講座「鶴ヶ城の野鳥」(11月24日)



「檜枝岐に伝わるガバぞうり作り」(11月4日)



上映会&トークイベント「ドキュメンタリー映画
生きてこそ」(平成26年3月22日)



共催事業「ふくしま復興のつどい2014
～希望のあかり～ inあいつ」(平成26年3月9日)



共催事業「ふくしまスマイルキャラバン
オープニングセレモニー」(12月12日)

(2) 学校・文化施設との連携

各種学校および文化施設との連携を図りながら、次の事業を展開した。

ア. 展示室での自主学習

常設展示室における児童・生徒の学習活動が有意義なものとなるように、発達段階や見学の目的などに応じた2種類のワークシートを準備している。

(ア) 博物館見学のしおり (小・中学生用)

常設展示室の展示資料を見る際のポイントを与えるように設問形式で構成されており、書き込みながら学べるようになっている。児童・生徒は自分のペースで見学し、自由な考察ができる。個人および団体来館する小・中学生全員に受付で配布している。

博物館見学のしおり

未観日 平成 年 月 日
学校名 _____
名前 _____

《見学のやくそく》

- 静かに見学する。
- 展示品にはさわらない。
- 展示室で飲食をしない。
- 展示室ではフラッシュをつかった写真さつえいをしない。
- 盗撮用カメラはエンビンをつかう。(マジックやサインはつかえません。)

総合展示

★の問題文の[]の中に言葉を入れよう。そして、Q. 質問に答えよう。

① 原始

★1 地図を数10cmほりこんだこのような住居(家)とよんでいます。
Q. 縄文時代は、どんな道具をつかい、どんなものを食べていたのかな? それぞれ、2つか3つ書いてみよう。
(道具) _____ (食べもの) _____

★2 この人が右手にもっているものは[]です。
Q. この道具をつかってなにをしていたのかな?

② 古代

★3 古墳はむかしの権力者の[]です。
Q. 古墳でみつかる「はにわ」には、さまざまなものがあります。どんな形のものがあるかな?

★4 おおくの古墳から、さまざまな宝が見つかります。おもな宝として勾玉、4三角形、赤子中、鏡、銅、大刀...そしてこの展の[]などがはっくつされているのだ!
ヒント: 下の3つの中から1つをえらべよう。
(鏡、銅、玉)

3 古墳とはにわ

Q. 5の正倉の中にはなにがはいついたのかな?

5 正倉

博物館見学のしおり

(イ) ワークシート

小学校高学年から中学生向けに作成されていて、常設展示を構成する6つの大テーマに沿うかたちで、展示室内の主要な資料を題材に取り上げている。当館ホームページからダウンロードすることによって、学習の目的に応じて選択し利用できる。

ワークシート自然と人間№1

よく観察してみよう。きっとしていることが見えてくるよ。

●総合展示
自然と人間F-3 福島の火山と湖
磐梯山



磐梯山は本県の中央北部に位置する活火山で、その活動は10万年以上前始まりました。特に1888（明治21）年7月15日の噴火では小磐梯とよばれた山塊が崩壊し、山の姿は一変しました。同時に大量の泥流が発生し、長瀬川をせき止めて、磐梯湖の湖沼群を誕生させました。また、この噴火では、泥流により500人以上の死者を出す大惨事となりました。

Q1. 1888年の噴火によってできた湖や沼の名まえをあげてみましょう。

Q2. 火山灰をかぶった杉枝は、なぜ保存されたのでしょうか。



ワークシート

イ. 団体体験学習プログラム

児童・生徒が博物館の資料を用いながら体験をすることは、多様なものの見方や考え方を育む上で有効である。当館では入館団体の多様なニーズに対応すべく、事前申込制による「原始・古代のワザに挑戦（考古分野）」「化石にふれてみよう（自然分野）」「糸紡ぎ（民俗分野）」「特別授業！昔の道具（民俗分野）」「度量衡の統一と農民の暮らし（歴史分野）」の5つの団体体験学習プログラムを準備している。実施回数・人数ともに前年度（29回、723名）から増加した。特に「原始・古代のワザに挑戦」の「勾玉づくり」は回数、体験人数が前年比150%以上の増加となり、また小学3年生の授業と連動した内容となっている「特別授業！昔の道具」は前年度同様に高い人気を誇った。

○体験学習プログラム実施状況

「原始・古代のワザに挑戦（考古分野）」

	20回	405名
・勾玉づくり	12回	236名
・火おこし	4回	66名
・石器で切ってみよう	4回	103名

「化石にふれてみよう（自然分野）」

	3回	54名
--	----	-----

「糸紡ぎ（民俗分野）」	3回	116名
「特別授業！昔の道具（民俗分野）」	7回	175名
「度量衡の統一と農民の暮らし（歴史分野）」	3回	52名
合計	38回	802名



体験学習「化石にふれてみよう」



体験学習「昔の道具にふれてみよう」

ウ. 指導者向け研修

学校教育・生涯教育関係者を対象に博物館利用指導者研修会を実施している。団体体験学習プログラムを実際に体験してもらうことにより、当館の学習支援活動への理解を深め、学校や公民館の諸活動における活用の推進を図っている。

平成25年7月31日(金) 参加者6名
(小学校教員4名 中学校教員1名 公民館職員1名)



博物館利用指導者研修会「バックヤード見学」

平成25年度博物館利用指導者研修会プログラム

時 間	内 容	担 当	場 所
9:30～9:45	受付	学習支援班	視聴覚室前
9:45～10:20	開講式	学習支援班(古山智行)	視聴覚室
	研修Ⅰ「博物館の学習支援活動のご案内」		
10:20～10:50	研修Ⅱ「常設展の展示見学」	展示解説員	常設展示室
11:00～11:30	研修Ⅲ「昔の道具解説」	民俗分野(榎陽介)	実習室
11:30～12:00	研修Ⅳ「バックヤードの見学」	学習支援班(二瓶浩伸)	バックヤード
－昼 食－			
13:00～13:30	研修Ⅴ「模造品の火縄銃や刀にふれてみよう」	歴史分野(佐藤洋一)	視聴覚室
13:30～14:20	研修Ⅵ「学芸員による企画展の展示解説」	自然分野(竹谷陽二郎)	企画展示室
14:30～15:30	研修Ⅶ「勾玉づくり体験とその学習効果について」	考古分野(森幸彦)	実習室
15:30～15:45	閉講式	学習支援班	実習室

エ. 学習用具・教材等の貸出

学校での授業づくりや生涯教育関連施設における活動等を支援するため、考古・歴史・民俗・自然の各分野で学習用具・教材等の貸出を行っている。

○学習用具・教材等の貸出実績

- ・舞いぎり式・弓ぎり式・きりもみ式発火具セット17点 福島県立喜多方高等学校
- ・舞いぎり式発火具セット10点

会津若松市大戸公民館

- ・野鳥観察用双眼鏡30点

会津若松市立第二中学校

- ・化石資料94点・鉱物資料18点

京都教育大学

オ. ゲストティーチャー

当館学芸員がもつ専門知識や経験を館外で有効に活用してもらうため、学校等教育機関の要請に応じて現地に赴き、体験学習や講話を中心とした授業を担当している。

ゲストティーチャー実施一覧

月 日	講 師	分野	内 容	実 施 先	科 目
5月16日	佐々木長生	民俗	地域の宝物紹介～奥会津金山の自然とくらし～	福島県立川口高等学校	総合的な学習の時間
5月22日	田中 敏	歴史	いわき地方の原始・古代	いわき市立湯本第二小学校	社会科
6月18日	古山智行	歴史	人のために生きる一瓜生岩子・新島八重・おけいー	会津若松市立東山小学校	総合的な学習の時間
9月19日	古山智行	歴史	ふるさとの偉人について学ぼう！一瓜生岩子・新島八重・おけいー	会津若松市立河東学園小学校	社会科
10月10日	相田 優	自然	会津の自然	会津慈光幼稚園	行事
10月 9日	相田 優	自然	会津の自然	慈光第二幼稚園	行事
12月 3日	榎陽 介	民俗	糸紡ぎ	本郷公民館	行事
2月 6日	榎陽 介	民俗	昔の道具解説	会津若松市立行仁小学校	社会科
2月 6日	古山智行	歴史	戊辰戦争と会津藩	会津若松市立北会津中学校	総合的な学習の時間



ゲストティーチャー「川口高校」



職場体験「考古資料の整理作業」

カ. 職場体験

児童・生徒の進路意識の向上や職業観・勤労観の育成に寄与すべく、職場体験を受け入れている。平成25年度は5校からの要請があり、当館における業務を幅広く体験してもらった。

○職場体験受け入れ実績（児童・生徒のみ）

- ・福島県立若松商業高等学校
(2年生：5名) 2日間
- ・会津若松市立第四中学校
(2年生：4名) 2日間
- ・喜多方市立第二中学校
(2年生：5名) 2日間
- ・湯川村立湯川中学校
(2年生：5名) 2日間
- ・北塩原村立第一中学校
(2年生：5名) 2日間

キ. 博物館実習

学芸員資格取得のための博物館実習を実施

している。平成25年度は県内出身および県内大学に在学する学生12名を受け入れた。昨年度から取り入れた「新しい展示の立案」では、4人ずつ3班に分かれ、「東北郷土玩具の世界」のテーマで当館所蔵民俗資料の展示を実体験した。完成後には展示解説会を実施した。

実習期間 8月27日(火)～9月1日(日)

実習生所属大学一覧

No	大 学 名	人 数
1	新潟大学	4
2	茨城大学	1
3	駒澤大学	1
4	日本大学	1
5	明星大学	1
6	立正大学	1
7	米沢女子短期大学	2
8	郡山女子大学短期大学部	1
合 計		12

平成25年度博物館実習日程・内容

月 日	時 間	内 容	担 当	場 所	
8月 27日 (火)	8:50～9:00	出席確認・諸連絡	学習支援班(森・古山)	第2会議室	
	9:00～9:10	実習生紹介	学習支援班(古山)	事務室	
	9:10～9:40	オリエンテーション	学習支援班(古山)	第2会議室	
	9:50～10:50	福島県立博物館の概要	藤原学芸課長	第2会議室	
	11:00～11:30	博物館の企画運営	企画運営班(田中)	第2会議室	
	11:30～12:00	博物館の展示	展示班(榎)	第2会議室	
		—昼食—			
	13:00～13:30	博物館の資料と調査研究	資料整理班(相田)	第2会議室	
13:30～14:00	博物館の広報普及活動	広報班(佐藤)	第2会議室		
14:00～14:30	博物館の学習支援活動	学習支援班(森)	第2会議室		
14:40～16:00	新しい展示の立案について(趣旨説明など)	博物館新情報収集・展示室改善班(高橋満)	第2会議室		
28日 (水)	16:10～17:00	実習日誌の作成・提出	学習支援班(森・古山)	第2会議室	
	8:50～9:00	出席確認・諸連絡	学習支援班(森・古山)	第2会議室	
	9:10～12:00	自然資料の取り扱い	自然分野(相田・船尾・竹谷)	第2収蔵庫	
		—昼食—			
	13:00～15:50	民俗資料の取り扱い	民俗分野(榎・佐治・二瓶・内山・佐々木)	第1収蔵庫ほか	

月日	時間	内容	担当	場所
28日 (水)	16:00～16:30	新しい展示の立案(作業)	博物館新情報収集・展示室改善班	第2会議室・実習室
	16:30～17:00	実習日誌の作成提出	学習支援班(森・古山)	第2会議室
	8:50～9:00	出席確認・諸連絡	学習支援班(森・古山)	第2会議室
29日 (木)	9:10～12:00	歴史資料の取り扱い	歴史分野(佐藤・高橋充・阿部・古山)	第2会議室
	—昼食—			
	13:00～15:50	遺跡発掘調査見学・発掘体験	考古分野(田中・森・荒木・高橋満)	市内遺跡発掘現場
	16:00～16:30	新しい展示の立案(作業)	博物館新情報収集・展示室改善班	第2会議室・実習室
30日 (金)	16:30～17:00	実習日誌の作成提出	学習支援班(森・古山)	第2会議室
	8:50～9:00	出席確認・諸連絡	学習支援班(森・古山)	第2会議室
	9:10～12:00	美術資料の取り扱い	美術分野(川延・小林・金澤)	第2会議室
	—昼食—			
	13:00～15:50	資料の保存	保存科学分野(杉崎)	実習室
31日 (土)	16:00～16:30	新しい展示の立案(作業)	博物館新情報収集・展示室改善班	第2会議室・実習室
	16:30～17:00	実習日誌の作成提出	学習支援班(森・古山)	第2会議室
	8:50～9:00	出席確認・諸連絡	学習支援班(古山)	第2会議室
	9:10～12:00	新しい展示の立案(作業)	博物館新情報収集・展示室改善班	第2会議室・実習室
9月 1日 (日)	—昼食—			
	13:00～15:30	新しい展示の立案(発表・討議)	博物館新情報収集・展示室改善班	エントランスホール・第2会議室
	15:30～16:00	実習を終えて(感想・意見交換)	学習支援班(古山)	第2会議室
	16:10～17:00	実習日誌の作成・提出	学習支援班(古山)	第2会議室



博物館実習「考古分野・遺跡発掘体験」



博物館実習「新しい展示の立案(展示作業)」

(3) 生涯学習・研究支援

ア. 相談コーナー

エントランスホール内に配置された無料空間。展示図録・報告書・紀要など博物館の刊行物の他、博物館資料に関連した一般図書や図鑑・辞書など2,890冊を配架。入館者が自由に閲覧できる。平成25年度は168冊増加した。

また相談コーナーは、入館者の展示や資料に関する質問や相談の求めに応じて、入館者と学芸員が面談する場でもある。



相談コーナー

イ. 資料の特別観覧

個人や研究機関による研究活動を支援するため、博物館資料の閲覧や撮影を許可し実施している。

分野別特別観覧件数：

考古：6件 29点 歴史：18件140点

自然：2件532点 民俗：1件 3点

合計：27件704点

ウ. 講師派遣

大学や公民館、研究団体などからの依頼に応じて、学芸員を講演会や講座に講師として派遣している。

平成25年度の派遣回数は28回で、前年度（15回）から大きく増加した。

講師派遣一覧

月 日	講 師	分野	演 題 ・ 内 容 等	主 催
4月16日	佐藤洋一	歴史	会津時代の八重	東京都江戸東京博物館
4月30日	古山智行	歴史	山本八重の覚悟	東京都江戸東京博物館
5月23日	阿部綾子	民俗	旧暦について学ぶ	会津若松市北公民館
5月24日	阿部綾子	歴史	「天地明察」～会津暦のはなし～	喜多方市中央公民館
5月24日	榎 陽介	民俗	人の一生と冠婚葬祭①－出産と成長	会津若松市北公民館
5月28日	古山智行	歴史	新島八重について	会津美里町公民館
5月29日	古山智行	歴史	2013年NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」から八重の時代を学ぶ	猪苗代町体験交流館
5月31日	榎 陽介	民俗	人の一生と冠婚葬祭②－出産と成長	会津若松市北公民館
6月15日	古山智行	歴史	新島八重と瓜生岩	福島学院大学
6月20日	佐藤洋一	歴史	幕末の会津藩－松平容保と京都守護職－	磐梯町中央公民館
6月21日	阿部綾子	歴史	下野関連の古文書に親しみ、歴史を学ぶ	栃木県立文書館
6月25日	佐藤洋一	歴史	八重の時代の会津と猪苗代	猪苗代町体験交流館
7月23日	古山智行	歴史	福島県域における戊辰戦争	JA東西しらかわ
7月25日	古山智行	歴史	幕末期の会津藩と新島八重の生涯	磐梯町中央公民館
7月29日	佐藤洋一	歴史	「風船爆弾と福島県」の講義と、新島八重や喜多方事件について	福島県中学校教育研究会耶麻支部社会科部会
7月30日	古山智行	歴史	新島八重の生涯	JA東西しらかわ
8月 1日	古山智行	民俗	新島八重の生き方を学ぶ	郡山市私立幼稚園協会
8月 2日	古山智行	学習支援	「ふるさと福島」魅力いっぱい！発掘コンテスト講演「福島県の歴史・観光資源について」	福島県観光交流局観光交流課
8月 3日	古山智行	歴史	NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」展示解説会	京都府京都文化博物館
8月23日	竹谷陽二郎	自然	恐竜に関する講話	双葉町あいつ生活学級
9月 6日	佐藤洋一	歴史	戊辰戦争と新島八重	生涯学園都市会館
10月 5日	佐藤洋一	歴史	新島八重の会津時代	千葉工業大学同窓会
10月19日	森 幸彦	考古	土偶のおはなし	喜多方市教育委員会
11月21日	古山智行	歴史	新島八重と幕末の会津	(公) 福島県学校給食会
11月28日	阿部綾子	歴史	生江家文書について	会津坂下町教育委員会
11月28日	古山智行	歴史	幕末の家老 西郷頼母近慮	新鶴公民館
12月 9日	古山智行	学習	地理歴史科授業研究	福島大学
2月26日	内山大介	民俗	会津彼岸獅子の歴史と民俗	会津地鶏産地懇談会



講師派遣「会津彼岸獅子の歴史と民俗」

(4) 博物館友の会活動への支援

当館は、福島県立博物館友の会の活動を支援するため、共催事業などの実施、行事に対する講師の派遣、サークル活動への協力、各会員に対して博物館だよりの送付、展示観覧への便宜、資料や文献の閲覧等、研究活動の支援などを行っている。

ア. 友の会の概要

①発足 平成元年3月10日

②設立の目的

博物館活動に協力するとともに、会員が「福島県の歴史と文化・自然」についての研修を深め、会員相互の親睦をはかり、あわせて博物館活動の普及発展に寄与することを目的とする。

③総会の開催

平成26年3月27日に開催した。平成25年度の事業・会務・会計決算等の報告と平成26年度の計画を協議し、承認された。また、各サークルの活動・会計の報告が行われた。

④平成25年度会員数

個人会員：257 家族会員：115
 高校生会員：0 賛助会員：8
 合計：380名

イ. 平成25年度事業概要

(ア) 研修旅行（新島八重ゆかりの地をめぐる京都の旅）

大河ドラマ「八重の桜」ゆかりの土地を訪ねる旅行を2泊3日で計画し、実施した。例年春と秋に2度行っていた研修旅行をまとめて1度とした。

研修先：京都～相国寺、天竜寺、東福寺、同志社大学・同志社女子大学、同志社墓地（八重の墓）、金戒光明寺、京都文化博物館など

期 日：平成25年9月24日～26日（2泊3日）
 参加者：25名

(イ) 会報の発行

年4回（季刊）、会報を発行し会員に配布した。会員の文化活動を紹介する記事を充実させ、会員の顔が見える紙面作りに努めた。

(ウ) 博物館事業への協力

○博物館展示観覧

平成25年度友の会会員入館者数

常設展592件 企画展685件

○友の会会員向け企画展内覧会への参加

5月16日(木)：「大河ドラマ展 八重の桜」
 内覧会 72名参加

7月26日(金)：「対決！恐竜展」内覧会

50名参加

10月4日(金)：「考古学からの挑戦」内覧会

65名参加

○博物館講座への協力

博物館講座へ多くの会員が参加した。

ウ. サークル活動

化石・鉱物探検隊、古文書愛好会、道ばた文化財研究会の3サークルが、それぞれの目的に向かって積極的に活動している。サークルごとに主体的に計画し、自立した活動となっている。

1. 化石・鉱物探検隊

化石や鉱物に興味をもつ研究サークルで、自然史に関する研鑽と会員相互の親睦を深めることを目的とし、平成11年に設立された。会員数35名。野外での巡検や化石・鉱物の採集、研修会等の活動を行っており、博物館の行事にも随時協力している。

平成25年度は次の活動を行った。

①4月14日 上三寄・黒沢、朝日鉱山での鉱物採集

②5月11日 未実施

③6月9日 倉谷鉱山での鉱物採集

④7月7日 八総鉱山本山での鉱物採集

⑤8月4日 裏半田山での鉱物採集

⑥9月8日 未実施

⑦10月6日 黒沢鉱山での好物採集

⑧平成26年2月9日 会員相互による鉱物・化石研修会

⑨3月16日 総会ならびに講演会

2. 古文書愛好会

平成14年度に発足した古文書愛好会は、随時20～30名が参加し、活動が続けてきた。メンバーはそれぞれ5つの班に分かれ、チームを組んで古文書の解読・考察にあたっている。平成25年度は前年度に引き続き月1回・第2土曜日の午前中に開催し、

班ごとに順番に発表を行い、毎回最後に全員で文字・内容の検討を行った。テキストには当初から県指定文化財の築田家文書（福島県立博物館寄託）を用いている。築田家は江戸時代には一貫して若松城下の検断（町役人）をつとめた家で、その文書は城下の諸相を伝える良質な資料であるため、解読を通して少しずつ会津藩の歴史についての知見を深めている。なお本年度は、築田家の屋敷跡など関連史跡をめぐる

現地踏査も行った。

3. 道ばた文化財研究会

年4回の定例会を実施し、その中で文化財を鑑賞する旅行や研修会、忘年会などを実施している。

第1回例会：郡山方面桜鑑賞会、第2回例会：神奈川・東京 新島八重の地を訪ねて、第3回例会：阿弥陀寺見学、第4回例会：忘年会



研修旅行（同志社大学のキャンパスを歩く）



「化石鉱物探検隊」柳津町軽井沢鉱山にて



研修旅行（同志社大学・礼拝堂の前で）



「古文書愛好会」現地踏査の様子 築田家屋敷跡にて



友の会 研修旅行（新島家の墓を訪ねて）



「対決！恐竜展」友の会・内覧会



「道ばた文化財研究会」郡山市笹原川の千本桜にて

6. 広報広聴活動および出版事業

(1) 広報活動

ア. 広報用印刷物

博物館の広報を目的とする印刷物として次のものを発行している。

福島県立博物館 平成24年度 広報用印刷物の印刷部数と送付先

種類	サイズ	印刷数	主な送付先
ポスター	B2	NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」 3,000枚 企画展「対決！恐竜展」3,000枚 企画展「考古学からの挑戦」3,000枚	県内小・中・高校 県内博物館・美術館・ 図書館・公民館・文化施設・教育施設 県外主要博物館 東北・関東地方の県立 図書館・大学図書館 会津地域の銀行・ 病院・JA・道の駅・旅館・ホテル・保養 施設・その他店頭 博物館友の会会員(町 貼り協力者) 県内市町村教育委員会 会津方部県出先機関 県教育事務所
リーフレット	A4	NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」 50,000枚 企画展「対決！恐竜展」30,000枚 企画展「考古学からの挑戦」3,000枚	県内および近県の新聞社・放送局 県内 タウン情報誌 県内公立小・中・高校 県内博物館・美術館・図書館・公民館・文 化施設・教育施設 県外主要博物館 東北・関東地方の県立図書館・大学図書館 会津地域の銀行・病院・JA・道の駅・旅館・ ホテル・保養施設・その他店頭 南東北・ 関東・新潟旅行代理店 博物館友の会会 員(町貼り協力者) 県内市町村教育委 員会 会津方部県出先機関 県教育事 務所
博物館だより (博物館の広報誌)	A4 8頁	3,500冊×4回=14,000冊	県内タウン情報誌 県内公立小・中・高 校 県内私立小・中・高校 県内博物 館・美術館・図書館・公民館・文化施設・ 教育施設 県外主要博物館 東北・関 東地方の国立・県立図書館・大学図書館 県内市町村教育委員会 会津方部県出先 機関 県教育事務所
年間催し物案内	20×39.4cm 四つ折り	45000枚×1回=45,000枚	県内の放送局 県内タウン情報誌 県 内公立小・中・高校 県内私立小・中・ 高校 県内博物館・美術館・図書館・公 民館・文化施設・教育施設 県外主要博 物館 東北・関東地方の県立図書館・大学 図書館 会津地域の銀行・病院・JA・ 道の駅・旅館・ホテル・保養施設・その他 店頭 南東北・関東・新潟旅行代理店 県内市町村教育委員会 会津方部県出先 機関 県教育事務所
はくぶつかん ニュース	A4両面 (館内印刷)	12,600枚×12回=151,200枚	県内公立小・中・高校 県内私立小・中 学校 県内図書館・公民館・教育施設 県内市町村教育委員会 県教育事務所
月行事予定表	A4 (館内印刷)	1,400枚×12回=16,800枚	県内および新潟県の新聞社・放送局 県 内タウン情報誌 会津若松市記者クラブ 会津若松市・周辺市町村の観光・広報係 県内主要文化施設
プレス・リリース (企画展の記者発 表などマスコミ向 けイベント情報の 提供)	A4 (館内印刷)	随時	県内新聞社・放送局・タウン情報誌 場 合により近県のマスコミに提供 県政記 者クラブ 会津若松市記者クラブ

イ. 広告

特に企画展等の広報を目的とする広告を次のとおり実施した。

広告掲載一覧

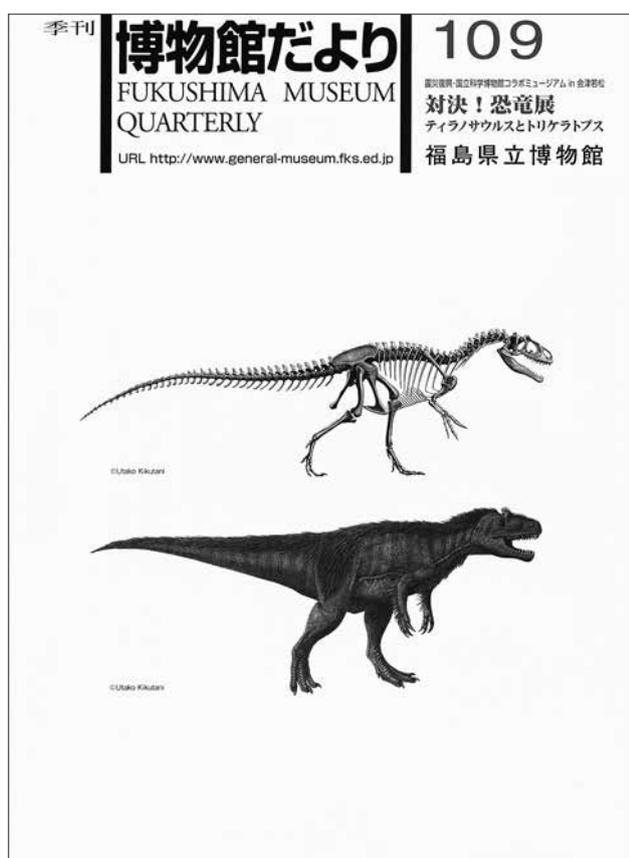
展 示 会	看板（駅前・博物館周り）	新 聞
春の企画展「NHK大河ドラマ特別展『八重の桜』」	○	—
夏の企画展「対決！恐竜展」	○	—
秋の企画展「考古学からの挑戦」	○	—
年頭広告	—	福島民報社・福島民友新聞社

ウ. ホームページ

当館ではホームページを開設し、館の紹介をはじめ、展示やイベントなどの各種情報、出版物の案内などを発信している。

平成25年度ホームページアクセス件数（ページ数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
35,255	40,267	46,235	43,467	50,744	39,758	29,841	25,321	24,401	29,579	27,418	29,757	422,043



博物館だより第109号

エ. ニュースメール

当館ではニュースメールを作成し、展示やイベントなどの情報のほか、研究成果などを、マスコミ向けに発信している。

平成25年度：Vol 132～Vol 136

オ. 記事・放映

新聞・テレビ・ラジオ等のマスコミによる、各種行事の取材に基づいた記事・放映は次の通りである。

ア) 春の企画展「2013年NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」

- ・福島民報「八重と裏の書「夫婦再会」大河ドラマ特別展で 県立博物館、17日に開幕」（4月27日記事）
- ・福島民報「県立博物館「八重の桜」あす開幕式典 水原、勝地さん来場」（5月16日記事）
- ・福島民報「歴史伝える資料200点 きょうの開幕前に内覧会 県立博物館「八重の桜」展」（5月17日記事）
- ・福島民友「新島旧邸の応接間復元 貴重な資料200点紹介 「八重の桜」展きょう開幕 7月3日まで県立博物館」（5月17日記事）
- ・福島民報「「八重の桜」福島展開幕 県立博物館 水原、勝地さんら見学」（5月18日記事）
- ・福島民友「水原さんら来県 県立博物館で「八重の桜」展開幕」（5月18日記事）
- ・福島民報「開幕の「八重の桜」福島展 大河ファン賑わう銃や茶器など展示」（5月19日記事）
- ・福島民友「「八重の桜」特別展 「福島にパワーを」 水原、勝地さんエール」（5月19日記事）
- ・福島民友「NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」復興への歩み」たどる県立博物館で7月3日まで」（5月22日記事）
- ・福島民報「美の力ことばの力ふくしまの企画展 県立博物館2013年大河ドラマ特別展「八重の桜」○上八重通じ復興考える」（5月25日記事）
- ・福島民友「1日「八重」講演会 同志社女子大教授ら語る 若松」（5月29日記

- 事)
- ・福島民報「美の力ことばの力 ふくしまの企画展 県立博物館2013年大河ドラマ特別展「八重のの桜」○下 故郷思う強い気持ち」(6月1日記事)
 - ・福島民報「八重の生誕地を見学 同志社女子大卒業生、学長ら若松」(6月2日記事)
 - ・福島民友「八重の人物像に迫る 若松で同志社女子大講演会」(6月2日記事)
 - ・福島民報「「板かるた」興味津々 同志社女子大講演会・トーク 八重の素顔知る」(6月3日記事)
 - ・福島民友「八重にまつわる逸話紹介 若松で同志社女子大講演」(6月3日記事)
 - ・福島民友「郷さん親子1万人目 開催25日目で達成 「八重の桜展」来場者」(6月13日記事)
 - ・福島民報「蛤御門の変図を解説 「八重の桜」展で 高橋茨城大教授」(6月18日記事)
 - ・福島民報「八重の時代 理解深める。県立博物館 大河ドラマ展講演会とシンポジウム」(6月27日記事)
 - ・福島民友「「八重」展の魅力紹介 県立博物館 同志社の小枝さん」(6月29日記事)
 - ・福島民友「「八重の桜」展2万人達成 若松 節目の来館者に記念品」(6月30日記事)
 - ・福島民報「「八重の桜展」来場2万人 県立博物館 国分さん(本宮)に記念品」(6月30日記事)
- (イ) 夏の企画展「震災復興・国立科学博物館 コラボミュージアムin会津若松 『対決！恐竜展ティラノサウルスとトリケラトプス』」
- ・福島民報「大迫力の全身骨格「対決！恐竜展」開幕 県立博物館」(7月28日記事)
 - ・福島民友「大迫力の恐竜展開幕 全身骨格は5体展示 県立博物館で9月まで」(7月28日記事)
 - ・福島民報「最新の恐竜額を解説 県立博物館 企画展記念し講演会」(8月16日記事)
 - ・福島民友「工作で恐竜の勉強 県立博物館 企画展事業 ペーパーアート体験」(8月26日記事)
- (ウ) 秋の企画展「考古学からの挑戦—東北大学考古学研究の軌跡—」
- ・福島民友「著名な遺跡の出土資料紹介 東北大100年の研究の軌跡 考古学からの挑戦(上)」(10月2日記事)
 - ・福島民報「考古学企画展きょう開幕 若松の県立博物館 友の会会員が内覧会」(10月5日記事)
 - ・福島民友「東北大の考古学研究紹介 県立博物館きょうから企画展著名な遺跡の出土資料展示」(10月5日記事)
 - ・福島民友「時代観覆す会津大塚山古墳大和王権下、文化的に発展 考古学からの挑戦(下)」(11月6日記事)
- (エ) 特集展「東北の伝承切り紙 —千葉惣次コレクションを中心にして—」
- ・福島民友「緻密に縁起物表現 伝承の切り絵90点 県立博物館特集展」(1月31日記事)
- (オ) テーマ展
- ・福島民報「大熊の「遺跡探訪」開幕 県立博物館 土偶やつぼ展示」(6月19日記事)
 - ・福島民友「大熊の考古資料展示 若松の県立博物館 分散保管の200点集め」(6月24日記事)
- (カ) 催し物
- ・福島民友「アンサンブル花咲里 優しくフルート演奏 若松でコンサート」(12月25日記事)
 - ・福島民友「原発事故後描いた「生きてこそ」鑑賞 若松で上映会」(3月24日記事)
- (キ) その他
- ・福島民報「御薬園、金沢兼六園、岡山後楽園…大名庭園サミットで交流6、7日に若松県内初開催」(会場のひとつが県立博物館 10月1日記事)
 - ・福島民報「大名庭園継承誓う 全国サミットでシンポ 若松」(会場が県立博物館 10月7日記事)
 - ・福島民報「「会津の建築」探る若松で講演会」(会津史談会 会場が県立博物館 10月23日記事)
 - ・福島民報「葵高校美術工芸部八重の一生 描く 県立博物館で作品展」(10月23日記事)
 - ・福島民友「からむしの未来考える 昭和体験生制度20年でシンポ」(佐々木長生 専門員参加 11月3日記事)

- ・福島民友「探査機「はやぶさ」応援 軌跡と宇宙へ理解 新ミッション講演 17日に若松」(県立博物館が会場 11月5日記事)
- ・福島民報「「はやぶさ2」模型披露 会津そらの会 宇宙テーマイベント 若松」(県立博物館が会場 11月19日記事)
- ・福島民友「「はやぶさ」の魅力解説 JAXAの准教授 若松の親子らに」(県立博物館が会場 11月21日記事)
- ・福島民報「児童糸つむぎ体験 本郷公民館で子ども教室」(榎専門学芸員が講師 12月12日記事)
- ・福島民報「仏教信仰に理解深める 会津史談会」(県立博物館が会場 12月24日記事)
- ・福島民報「会津絵ろうそく贈る 福島民

報社 さとうきび親善大使に」(県立博物館が会場 1月24日記事)

- ・福島民友「復興の思い新たに 若松・9日につどい」(県立博物館が会場 2月26日記事)
- ・福島民報「復興への思い新たに 若松9日、震災3年目の『つどい』」(県立博物館が会場 2月26日記事)
- ・福島民報「短甲」東北で発出土 中島の四穂田古墳 1600年前か」福島大学と県立博物館が調査 (2月28日記事)

(2) 広聴活動

博物館で開催した次の行事について、利用者に対するアンケート調査を実施した。この結果を中期目標の平成25年度達成度評価の資料とすると同時に、データを分析し、館の事業の改善に努めた。

平成25年度アンケート実施行事

No.	分類	行事	開催日
1	常設展	常設展ほか博物館全般	通年
2	常設展	無料開放日「子どもの日」	5月5日
3	常設展	無料開放日「県民の日」	8月21日
4	常設展	無料開放日「敬老の日」	9月16日
5	常設展	無料開放日「文化の日」	11月3日
6	企画展	八重の桜	5月17日～7月3日
7	企画展	対決！恐竜展	7月27日～9月16日
8	企画展	考古学からの挑戦	10月5日～12月1日
9	特集展	東北の伝承切り紙	平成26年1月30日～3月27日
10	ミュージアムイベント	玄如節と会津の民謡	6月22日
11	ミュージアムイベント	クリスマスコンサート	12月21日
12	館長サタデープロジェクト	ふくしまの震災被害とミュージアムのこれから	平成26年3月15日

(3) 出版事業

平成25年度は次の出版物を刊行した。

ア. 企画展図録

福島県立博物館平成25年度企画展図録

「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」

展示図録 2,300冊

「震災復興・国立科学博物館コラボミュージアムin会津若松『対決！恐竜展ティラノサウルスとトリケラトプス』」

ガイドブック 1,000冊

「考古学からの挑戦－東北大学考古学研究の軌跡－」 1,000冊

イ. 紀要

福島県立博物館紀要 第28号 600冊

ウ. 年報

福島県立博物館年報 第27号 400冊

7. 東日本大震災からの復興支援

平成23年3月11日午後2時46分、宮城県牡鹿半島沖の海底を震源としたマグニチュード9.0の大地震が発生した。震源域は岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmの広範囲に及んだ。福島県立博物館のある会津若松市は震度5強の揺れを被った。福島県立博物館では、建物の躯体そのものには被害はなかった。しかし、設備および資料に若干の被害があり展示室の安全性の確認と修繕工事のため当面のあいだ休館とした。再開したのは平成23年4月12日(火)である。

福島県域は地震とそれに伴う津波、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により甚大な被害を被った。当館では、震災からの復興支援を目的として、平成24年度に新たに「ふくしまの文化・自然遺産の発掘と再生プロジェクト」を立ち上げた。これは次の3つの柱からなっている。

1. ふくしまの宝の発掘と保全

市町村や文化施設および大学等と連携し、被災地域の文化財の救出と保全を図るとともに、地域の宝である文化財や自然史資料を改めて調査・収集し、その価値を明らかにすることに努める。

2. ふくしまの宝の公開と活用

救出および新たに収集した文化財およびその研究成果をさまざまな形で県民に発信し、地域の誇りをとりもどすとともに、それらを教材として、ふくしまの未来を担う子供たちの育成を図る。

3. ふくしまの再生と活性化

文化施設や地域の文化団体、市民グループと連携し、文化資源を活用した地域おこし、文化的事業の開催など、文化の力を用いて地域の再生と活性化を図る。

このコンセプトに基づいて復興支援の事業を展開している。平成25年度は次の事業を実施した。

(1) 文化財レスキュー

ア. 文化財・資料の受け入れ対応

(ア) 平成23年度以後受け入れ分への対応

前年度から継続して、臨時労務員2名が作業に当たった。

(イ) 平成25年度受け入れ分

平成25年度に、震災関連で新たに受け入れた資料は《表》の通り4件。

(ウ) 展示公開

当館テーマ展「ふるさとの考古資料4【大熊町】遺跡探訪」(6月12日～平成26年5月11日)

(エ) その他

東日本大震災発生から2年が経過し、震災の直接的な被害とはいえないものの、この機会に蔵を取り壊す、あるいは建て直すというケースがあり、蔵の中の資料の調査や整理の作業、あるいは整理作業の指導などの要請が数件あった。

イ. 旧警戒区域の資料への対応

(ア) レスキュー作業の体制

前年度から継続して、福島第一原発事故による旧警戒区域内の資料館が所蔵する資料のレスキュー活動を、「福島県被災文化財等救援本部」(以下「救援本部」、当館は副代表・幹事・事務局)が中心となって行った(打ち合せ・幹事会など10回実施)。今年度から、県立美術館とふくしま歴史資料保存ネットワークが幹事に加わった。「東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会」(事務局:東京文化財研究所)は、前年度末に解散したが、福島県教育庁からの支援要請により、8月から文化庁・国立文化財機構による福島県内被災文化財等救援事務局が組織され、人的・物的な面で活動が拡大し、作業が大きく進展することになった。

(イ) 旧警戒区域内資料館資料の梱包・搬出作業

「救援本部」の計画にしたがって、富岡町歴史民俗資料館、双葉町歴史民俗資料館の収蔵資料の線量計測・記録・梱包・搬出、一時保管場所への搬入作業に参加した。5月から準備が始められ、翌年1月にかけて、大きな搬出作業は3回(6月・10月・1月)行われた。当館職員の従事日数はのべ24日、人数はのべ43人。旧警戒区域内への立ち入りについては福島県の基準を用い、とくに博物館独自のものは策定しなかった。また県の基準をもとに積算線量を管理することとした。

今年度末までの作業によって、旧警戒区域内では大熊町民俗伝承館および富岡町歴史民俗資料館の収蔵資料のレスキューが完了した。

(ウ) 保管施設の環境調査

旧警戒区域から運び出された資料の一時保管場所となった旧相馬女子高校教室の環境調査を当館保存担当職員が中心となって実施した。従事日数はのべ11日。調査項目は、温湿度、ガス濃度(酢酸、ホルムアル

デヒド、アンモニア)、文化財害虫。また、前年度に救出された資料を保管する福島県文化財センター白河館(まほろん)の仮収蔵庫の環境調査にも協力した(のべ2日)。

(エ) その他の資料・文化財への対応

旧警戒区域が再編され、部分的に立ち入りが可能になった地域には、震災後から取り残されたままの文化財・資料があり、それらへの対応について個別に協力を要請されることがあった。対応のしかたは、以下の通りケースに応じてさまざまであった。

①浪江町棚塩地区所在の絵図

浪江町教育委員会からの要請で、津波で損壊した浪江町棚塩地区集会所の2階にとり残されていた大型の絵図「棚塩村絵図」(町指定 額装)をとりはずし、町役場の保管室へ移送した(6月)。一部カビの発生などがみられたため、当館へ搬送してくんじょう作業を行った(11月～翌年1月)。

②南相馬市神社資料

南相馬市小高区の神社の社殿を撤去することになったため、社殿(拝殿)内に残されていた資料を取り出した(8月)。絵馬など一部は南相馬市博物館で保管することになり、それ以外は本殿に収納した。

③葛尾村寺院資料

葛尾村教育委員会からの要請で、村内の寺院に残されていた仏像・仏画・大般若経(村指定)などを調査し、当館へ搬送した(8月調査・11月搬送)。無住の寺院で地域住民による管理が難しく、また助成を得て修復に出す予定が立ってい

たため、当館で受け入れることとした。

④南相馬市神社資料

南相馬市小高区の神社の絵馬殿にある和船模型・絵馬(県指定)などを、管理上の問題から、旧相馬女子高校へ搬送するための調査を行った(12月)。搬送のための準備を進めていたが、予定日の前日から大雪となったために実施を延期することになった。

(オ) 被災文化財等救出対象リストの作成

旧警戒区域内の個人所有資料の救出活動を今後進めてゆくために、「救援本部」が中心となってリストの作成作業を開始した。当館でも、過去の展示や調査研究の中で得た資料所在情報などを提供した。

ウ. その他

①ミュージアムイベント「館長サタデープロジェクト・真冬の学習『ふくしまの震災被害とミュージアムのこれから』」開催(26年3月15日)

②関係するシンポジウム・研究会などへの参加・報告

エ. 今後の見通しと課題

(ア) すでに受け入れた文化財・資料への対応(継続)

(イ) 旧警戒区域からの文化財・資料の搬出・保全(継続)

①双葉町歴史民俗資料館からの資料搬出

②個人所有資料の保全

③救出された文化財・資料の収蔵・公開施設についての検討

(ウ) 救出された文化財・資料の展示公開(継続)

(エ) 今後の災害に備えたしくみづくりや準備

平成25年度レスキュー資料受入状況

No.	所有者	資料概要	数量	要因	現状(平成25年度末)
22	浪江町教育委員会	「棚塩村絵図」(町指定)	1点	地震・津波による建物の損壊	一時預かり
23	葛尾村の寺院	仏像・仏画・経典等	5件(604点)	原発事故避難により管理不能	受託
24	双葉町教育委員会	清戸迫横穴壁画模写	1点	原発事故避難により管理不能	受託
25	双葉町教育委員会	フタバクジラ化石他	27件	原発事故避難により管理不能	受託

※No.は平成23年度からの通し番号



双葉町歴史民俗資料館内での作業（9月5日）



葛尾村寺院資料の調査（8月9日）



旧相馬女子高校への搬入作業（10月31日）



当館に搬入された「清戸迫横穴壁画模写」（1月30日）



浪江町「棚塩村絵図」のとりはずし作業（6月25日）



いわき市内での民具整理作業の指導（3月29日）

(2) 市町村埋蔵文化財技術協力

本事業は、県内市町村教育委員会が実施する埋蔵文化財発掘調査事業等について県教育委員会が調査等に必要な技術を協力・支援する県文化財課の事業である。東日本大震災の復興事業等による発掘調査の増加のため市町村に派遣する職員が不足している。このため、文化財課の依頼により博物館からの技術協力を平成25年度から開始している。

平成25年度は、7月から中島村四穂田古墳出土品の調査報告書の作成のため実測等の整理作業および原稿執筆をおこなった。

(3) ふくしま応援ミュージアムイベント

従来実施してきたミュージアムイベントを、「ふくしま応援ミュージアムイベント」と名付け、被災された方々への励ましや、福島県を応援する意図をもったイベントを企画し実施した。

ア. 玄如節と会津の民謡

(ア) 日時 平成25年6月22日(土) 13時30分～15時

(イ) 会場 福島県立博物館 講堂

(ウ) 参加者数 67人

(エ) 出演 玄如節顕彰会の皆さん

(オ) 内容

玄如節は、即興の掛合で歌うことを基本とする会津の民謡の源流で、民謡「会津磐梯山」の歌詞のもとにもなっている。今回のイベントでは、会津の民謡をはじめ、相馬地方や東北地方各地の民謡を公演した後、玄如節に合わせ踊りを行い、東日本大震災からの復興を祈念した内容である。

イ. 市民盆踊り

- (ア) 日時 平成25年8月15日(木) 19時～20時30分 ※博物館閉館後
(イ) 会場 福島県立博物館 玄関前庭
(ウ) 参加者数 300人
(エ) 共催 会津磐梯山盆踊り保存会
(オ) 内容

博物館前に櫓を組み、会津磐梯山の歌に合わせて自由参加での盆踊り大会を開催した。踊りを通して、先の戦争やこの度の震災でやむなく生命を奪われてしまわれた方々に、あらためて追悼と感謝の祈りを捧げた。

ウ. 夏休み恐竜ナイトミュージアム

- (ア) 日時 平成25年8月17日(土) 17時30分～19時
(イ) 会場 福島県立博物館企画展示室・講堂
(ウ) 参加者数 100人
(エ) 講師 当館学芸員 相田 優・船尾武彦・竹谷陽二郎
FTVアナウンサー 浜中順子氏 (ボランティア)：絵本読み聞かせ「おまえうまそうだな」

(オ) 内容

例年、常設展示室を中心に行ってきた「ナイトミュージアム」だが、本年は夏休み期間中に企画展「対決！恐竜展」が開催中であったため、会場を恐竜展だけに絞り、名称も「夏休み恐竜ナイトミュージアム」として、企画展イベントの一つに組み込んで実施した。真っ暗闇な展示室の中、懐中電灯の光の中に浮かび上がる恐竜の姿は迫力満点で、参加者たちの興奮はピークに達した。またこのイベントでは、FTVの浜中順子アナウンサーがボランティアとして子供たちに絵本の読み聞かせを行って下さった。絵本の主人公も恐竜であり、内容はイベントとベストマッチ。参加者はナイトミュージアムの待ち時間も全く退屈することなく、たいへん充実した時間を過ご

すことができた。イベントへの応募者は過剰気味であった。

エ. 夏休み恐竜ナイトミュージアム Part II

- (ア) 日時 平成25年9月15日(土) 17時30分～19時
(イ) 会場 福島県立博物館企画展示室・講堂
(ウ) 参加者数 100人
(エ) 講師 当館学芸員 相田 優・船尾武彦・竹谷陽二郎
FTVアナウンサー 若槻麻美氏 (ボランティア)：絵本読み聞かせ「おまえうまそうだな」

(オ) 内容

初回の「夏休み恐竜ナイトミュージアム」が著しく好評を博し、応募に漏れて参加できなかった方々が多数生じたため、急遽、Part IIとして同一イベントを追加した。やはり応募者はすぐに定員に達した。前回と同様、参加者の熱気と興奮の中、充実したイベントを実施することができた。今回はFTVの若槻麻美アナウンサーがボランティアとしてお出で下さり、絵本「おまえうまそうだな」の読み聞かせを実施して下さった。

オ. クリスマスコンサート

- (ア) 日時 平成25年12月21日(土) 13時30分～15時
(イ) 会場 福島県立博物館エントランスホール
(ウ) 参加者数 105人
(エ) 出演 フルートアンサンブル「花咲里(かさり)」(安ヶ平由希絵・渡辺聡美・鈴木美奈子)

(オ) 内容

福島県内のコンサートに多数出演する「花咲里」のみなさんによる演奏会。クリスマスソングをはじめ21の楽曲を、金と銀のフルートの美しい音色で演奏していただいた。



玄如節と会津の民謡



夏休み恐竜ナイトミュージアム 2



市民盆踊り



クリスマスコンサート 1



夏休み恐竜ナイトミュージアム 1
(絵本の読み聞かせ)



クリスマスコンサート 2

(4) 館長サタデープロジェクト

館長サタデープロジェクトは、平成20年度から実施しているが、震災後は被災地の復興状況をテーマに、ゲストからの報告とゲストと館長のトークを主に構成している。

ア. ふくしまの震災被害とミュージアムのこれから

(ア) 日時 平成26年3月15日(土) 13時30分～16時00分

(イ) 会場 福島県立博物館講堂

(ウ) 参加人数 38人

(エ) 出演 吉野高光氏(双葉町教育委員会)・津崎順氏(アクアマリンふくしま)
赤坂憲雄(当館館長)・藤原妃敏(当館学芸課長)

(オ) 内容

前年に引き続き双葉町教育委員会の吉野高光氏をお招きして旧警戒区域の博物館や文化財、震災資料の現状と展望をお話いただき、また東日本大震災による津波被害を受けながらも4ヶ月後に再オープンを果たした、いわき市の「アクアマリンふくしま」の取り組みを津崎順氏にご報告いただいた。最後に赤坂憲雄館長と藤原妃敏学芸課長を交えた総合討議を行い、復興に向けて様々な努力と活動を続けている方々に学びながら、福島県におけるミュージアムの現状と将来像について議論した。



ふくしまの震災被害とミュージアムのこれから

ふくしまの震災被害とミュージアムのこれから
チラシ

(5) 復興応援パートナー事業

平成24年度に立ち上げた「ふくしまの文化・自然遺産の発掘と再生プロジェクト」の3つの目標のうち、下記を実現するものとして「福島県立博物館復興応援パートナー事業」を実施した。

◎ふくしまの再生と活性化

博物館などの文化施設、地域の文化団体や市民グループが連携し、文化の力を用いて地域の再生と活性化を図る。

3. 被災者支援のための文化的事業の開催

- (1) 被災者を応援し元気づける文化的な事業の開催
- (2) 各種団体が企画する支援文化事業の受け入れおよび支援

この目標に該当し、福島県の文化や歴史、自然の豊かさを伝える事業、東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所事故に向き合い、福島県の復興や再生を考え、将来像を共有することを目的とした事業の開催をパートナーとしてサポートすることと定めた。

これにより、文化による復興支援事業の効果的でスムーズな開催運営を促し、県民がそれらを楽しむ機会をより多く創出する。また、県立の文化施設として福島県立博物館が福島県の文化的復興支援における役割・責務を果たすことも目的とする。



民家の甲子園

●復興応援パートナー事業

No	事業名	主催者・代表	期間	会場
1	第11回民家の甲子園全国大会 全国高等学校対抗民家町並みフォトコンテスト	NPO法人かがわサンサン倶楽部	平成25年8月4日(日)	講堂
2	宇宙に夢中！～日本の宇宙開発とその未来～	会津そらの会	平成25年11月17日(日)	講堂・実習室・エントランスホール



宇宙に夢中！はやぶさ実物大模型



宇宙に夢中！展示風景



宇宙に夢中！講演会

(6) はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2013

ア. 主催 はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

構成団体（南相馬市博物館・福島大学芸術による地域創造研究所・いいたてまでの会・NPOまちづくり喜多方・南相馬市国際交流協会・南相馬市市民活動サポートセンター・特定非営利活動法人西会津ローカルフレンズ・福島県立博物館）

イ. 助成 文化庁平成25年度文化芸術振興費補助金平成25年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業

ウ. 事業内容

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興に取り組む福島県において文化事業に携わる大学・NPO・博物館などが参加する実行委員会により運営する。自

らの文化力を高め、郷土への誇りと自信を回復し、さらに、福島県の文化状況を広く県内外に発信することで日本の文化発展にも寄与しようとする。福島県内の文化施設、公共スペースを活用しつつ、展覧会、滞在制作、フォーラム、ワークショップ等を実施し、県を横断する文化ネットワークの構築を目指す。

平成25年度は以下の8事業を実施した。

(ア) 岡部昌生フロッターージュプロジェクト

①滞在制作

1. 平成25年8月31日～9月7日
 2. 平成26年1月25日～1月31日
 3. 平成26年2月12日～18日
- 実施日：平成25年8月31日～9月7日
場 所：南相馬市内
実施者：岡部昌生

②エクスカーション

- 開催日：平成25年9月2日、3日
場 所：南相馬市内の津波被災地、南相馬市立中央図書館、南相馬市博物館
講 師：岡部昌生（美術家）・稲葉修（南相馬市博物館学芸員）

参加者数：管啓次郎（詩人・明治大学教授）／文学・環境学会会員他約20名

③トークセッション「広島で語るフクシマ」

- 実施日：平成25年10月12日
会 場：広島市旧日本銀行広島支店3階 フリースペース
講 師：岡部昌生（美術家）／二上文彦（南相馬市博物館学芸員）／港千尋（写真家・多摩美術大学教授）

参加者数：約50名

④フォーラム「2011-2014フクシマから伝える」

- 開催日：平成26年1月26日
会 場：南相馬市博物館
講 師：岡部昌生（美術家）／石丸勝三（美術家）／宮岡秀行（映画監督）／港千尋（写真家・多摩美術大学教授）

参加者数：約30名。

(イ) 福島発信ダンスプロジェクト

①フォーラム「黒塚」

- 開催日：平成26年1月11日・12日
会 場：キッチンガーデンビル（福島市栄町）2階
講 師：／東雅夫（アンソロジスト）／土方正志（出版社荒蝦夷代表）／

山内麻衣子（金沢能楽美術館主任学芸員）／赤坂憲雄（福島県立博物館館長・実行委員長）以上11日
／谷川渥（美学者）／平山素子（ダンサー・筑波大学准教授）／渡邊晃一（福島大学教授・実行委員）

参加者数：約100名

(ウ) 福島写真美術館プロジェクト

1. 南相馬環境記録プロジェクト
2. 南相馬住まいの記録プロジェクト

①滞在制作

- 実施日：平成25年9月～平成26年3月
実施場所：南相馬市内
実施者：片桐功敦（華道家）／赤坂友昭（写真家）／安田佐智種（美術家）

②出版：写真集『DISTANCE SACRIFICE』

発行日：平成26年2月11日

3. 瀬戸正人写真展「Cesium」

①展覧会「Cesium」

- 会 期：平成25年10月26日～11月4日
会 場：キッチンガーデンビル2階（福島市栄町）

②トークセッション「福島を撮る」

- 開催日：10月26日
会 場：キッチンガーデンビル2階（福島市栄町）
講 師：瀬戸正人（写真家）／タカザワケンジ（写真評論家）／赤坂憲雄（福島県立博物館長・実行委員長）

参加者数：約30名

4. ARDA南相馬写真ワークショップ

①講演会・ワークショップ

- 「ポートレート屋さん」「おしゃべりれんそう喫茶」「カメラを持って小さな旅をしよう」
開催日：平成25年12月8日・9日・10日・平成26年1月24日
会 場：南相馬市小池長沼西仮設住宅集会所・南相馬市小池小草仮設住宅集会所・南相馬市高平幼稚園
講 師：今井紀彰（写真家）／NPO 芸術資源開発機構 ARDA／吉野修（筑波大学准教授）

参加者数：約100名

5. 飯館村田植え踊り復興記録プロジェクト

①公演と記録「飯樋町田植え踊り」

開催日：平成25年12月5日
会場：福島市飯野町境野家。
参加者数：約50名

②展覧会「飯館中学校飯樋町田植え踊り写真展」

会期：平成26年2月8日～2月16日
会場：キッチンガーデンビル2階(福島市栄町)

③トークイベント「こどもたちとできること～飯館中学校ふるさと学習の可能性～」

開催日：2月8日
会場：キッチンガーデンビル2階(福島市栄町)

講師：小野良昌(写真家)他
参加者数：約20名

6. フォーラム「福島における写真の力」

開催日：平成26年1月25日
会場：福島キッチンガーデンビル2階(福島市栄町)

講師：瀬戸正人(写真家)／飯沢耕太郎(写真評論家)／福島写真美術館プロジェクト参加作家

参加者数：約40名

(エ) 福島てわざ復興プロジェクト

①ツアー「会津の染める・織るを学ぶツアー」

開催日：平成26年3月18日
場所：染織工房れんが(喜多方市)・福島県立博物館(会津若松市)・原山織物工場(会津若松市)

参加者数：約15名

(オ) 精神の〈北〉へプロジェクト

①エクスカーション

開催日：平成25年11月1日
場所：昭和村・金山町・三島町・喜多方市

参加者：丸山芳子(美術家)／小林花子(美術家)／吉岡まさみ(美術家)／佐立るり子(美術家)／金親丈史(IORI倶楽部)／小林めぐみ(福島県立博物館学芸員)

②シンポジウム「精神の〈北〉へー北なるものの精神史ー」

開催日：平成26年2月2日
会場：喜多方蔵の里イベント蔵
講師：鶴岡真弓(ケルト文化研究者・多摩美術大学芸術人類学研究所所長)／田附勝(写真家)／藤浩志(十和田市現代美術館副館長)／

赤坂憲雄(福島県立博物館館長・実行委員会委員長)

③展覧会「精神の〈北〉へvol.2」

会期：2月22日から3月2日
会場：旧嶋新商店三十八間蔵(喜多方市)

観覧者数：約300名

④アーティストトーク

開催日：2月22日
会場：旧嶋新商店三十八間蔵(喜多方市)

参加者数：約30名

(カ) 祭創造プロジェクト

1. 北屋形神楽プロジェクト

①講演・ワークショップ「コミュニケーションアート」・「獅子頭制作ワークショップ」

開催日：平成25年11月10日・12月8日
会場：南相馬市鹿島区北屋形公会堂
参加者数：約50名

②獅子頭復元制作

実施日：12月21日から24日
場所：南相馬市鹿島区北屋形公会堂

③神楽公演

開催日：平成26年1月3日
場所：南相馬市北屋形富士神社
参加者数：約50名

④講演・ワークショップ「テーブルクロストーキング」

開催日：平成26年1月18日・2月13日
会場：南相馬市立中央図書館
講師：開発好明(美術家)／村上タカシ(美術家)／門脇篤(美術家)

参加者数：約40名

2. 久之浜文化祭プロジェクト

①ワークショップ「光の鳥」「天まであがれ 光の鳥を久之浜の空に飛ばそう」

開催日：平成26年2月25日・3月1日
会場：久之浜第一小学校
講師：吉田重信(美術家)

参加者数：約80名

(キ) 南相馬フォーラム「南相馬からの福島発信」

開催日：平成26年2月13日・14日
会場：南相馬市市民情報交流センター・南相馬市立中央図書館・ホテル丸屋
講師：赤坂憲雄(福島県立博物館館長・

実行委員長) / 南畠宏 (美術評論家・女子美術大学教授) / 平田オリザ (劇作家・演出家) / 各プロジェクト担当者

(ク) 記録集制作『はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2013記録集』

エ. 成果と課題

(ア) 岡部昌生フロッタージュプロジェクト

二年間継続してきたプロジェクトには南相馬市博物館学芸員の他、地域の歴史研究者、化石研究者らが精力的に参加し、自主的に市内でフロッタージュを行なう動き、学会との連携、南相馬市に隣接する飯舘村の地域史研究者との共働が始まるなど活動に広がりが見られる。また、広島市で行なったトークセッションでは50名を超える広島市民と対話を行なうことができた。福島を発信するツールとなり始めている。

(イ) 福島発信ダンスプロジェクト

文化芸術による復興推進コンソーシアムの協力を得ながら公演開催を目指しているがいまだ実現していない。しかし、フォーラム開催により、文芸評論家から美学者、ダンサーが関わり福島ゆかりの伝説「黒塚」をテーマにさまざまな表現を試みる場が生まれた。

(ウ) 福島写真美術館プロジェクト

福島県内で撮影されながらも作品が福島県内で紹介される機会は少なく、その欠を埋める試みとして成果を上げた。また、福島の変わりゆく現状を記録するため滞在制作を支援し多くの映像が蓄積されており、なお増加中である。さらに、写真・映像の撮影を通して心の復興、伝統芸能の復興を支援する試みも成果を上げ、仮設住宅サロン、避難先の中学校の学習を活性化した。「飯舘田植え踊り復興記録プロジェクト」では、学校、地元保存会、いいたてまでの会の協力、ダンサー、振付師による指導を得て、本来の姿に近い場所での本格的な踊りに中学生たちの参加意識も大きく向上し、終了後は積極的な発言が多く聞かれた。その後の学校での打合せにおいても次年度へ向けてのさまざまな提案が活発になされた。

(エ) 福島てわざ復興プロジェクト

震災から3年を経て岐路に立つものづくり工房関係者がほぼ全員参加した。学芸員から会津における染織の歴史を学び、製造現場に触れたことで、復興支援として始ま

った事業の自立への動機が高まり、連携の端緒が開かれた。これをきっかけにその後、工房関係者により自主的に研修ツアーの企画・実施が始まっている。

(オ) 精神の〈北〉へプロジェクト

シンポジウムには地域の観光ガイドが参加するなど「北」を考えるプロジェクトが理解され始めている。シンポジウム参加に加え展覧会開催を通して本プロジェクトのコンセプトに共感した市民によるサポートチームが形成された。

(カ) 祭創造プロジェクト

北屋形神楽プロジェクトは二年間継続することで地域の信頼を得、講演・ワークショップ等を経て一時は休止した神楽を復活することができた。さらに、これまでは高齢者中心であった祭礼に子供たちやその親の世代が参加する活性化の成果も上げた。

久之浜文化祭プロジェクトは津波と東京電力福島第一原子力発電所事故の両者の影響を受けたいわき市久之浜地区にあり地域の文化活動拠点としての役割を果たしている久之浜第一小学校は、地域と生徒がともに参加する文化祭を始めようとしているが、本プロジェクトでは具体的にコンテンツを示し二回のワークショップを開催した。いわき市在住の美術家がワークショップによって地域と学校をつなげた。

(キ) 南相馬フォーラム「南相馬からの福島発信」

総括として行った本事業は、長時間の連続講演とセッションであったが各プロジェクト担当者と一般参加者が交流する機会ともなり、フロアセッションでは南相馬市長はじめ約40名が参加して活発な対話が行なわれた。南相馬市での本事業の広報に大きな効果があった。

(ク) 記録集制作『はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2013記録集』

多岐にわたる本事業の内容が一目で見渡せる体裁で、本事業への協力者、参加者の理解が深まった。また今後の展開にあたって個人・団体に理解・協力を求める際に有効な説明資料となる。

■ 岡部昌生フロッタージュプロジェクト



■ 福島発信ダンスプロジェクト



■ 福島写真美術館プロジェクト



南相馬環境記録プロジェクト



瀬戸正人写真展「Cesium」



南相馬住まいの記録プロジェクト



ARDA南相馬写真ワークショップ



飯館村田植え踊り復興記録プロジェクト



■ 福島てわざ復興プロジェクト



■ 精神の〈北〉へプロジェクト



■ 祭り創造プロジェクト



北屋形神楽プロジェクト



久之浜文化祭プロジェクト

8. 連携事業

福島県立博物館では、各種団体が主催する事業のうち、本県の文化・教育そして東日本大震災からの復興に寄与する事業に参画し、他機関と連携しながら活動を進めている

(1) 磐梯山ジオパーク推進事業

ア. 事業の趣旨

ジオパークとはヨーロッパで始まった地質や地形を見どころとする大地の公園。ユネスコが支援する活動となり、2004年に世界ジオパークネットワーク（GGN）が設立。2013年9月現在、ヨーロッパと中国を中心に29ヶ国100地域が加盟。世界遺産は条約に基づいて保全・保護を重要視するのに対して、ジオパークは、保全はもとより資源の活用による地域の振興を図ることを目標にしている。また、地質遺産だけではなく、それを背景とした考古資料、生態学的もしくは文化的に価値のあるものも含む。日本では2014年3月現在33地域が日本ジオパークとして認定されており、そのうち6地域が世界ジオパークに認定されている。

平成20年から有志により磐梯山地域をジオパークにしようとする運動が始まり、平成22年3月に磐梯山周辺の3町村と関係機関を中心に、磐梯山ジオパーク協議会が設立された。当館も協議会に加入し、この運動に積極的に取り組んでいる。平成23年9月に、日本ジオパーク委員会により、磐梯山地域が日本ジオパークとして認定された。将来的には磐梯山地域が世界ジオパークに認定され、ジオパークとしての活動を継続していくことを目指している。

イ. 組織

磐梯山ジオパーク協議会は、行政団体として磐梯山周辺の猪苗代町・磐梯町・北塩原村が中心となり運営し、福島県が支援している。これに3町村の商工団体と観光協会、及び民間団体として文化施設およびツーリズム協会が加わっている。事務局は3町村の観光関係の課が中心となり、北塩原村生活改善センターに置かれている。

磐梯山ジオパーク協議会組織

区分	機関・団体名
学 識 経 験 者	福島県立博物館
	福島県野生動植物保護アドバイザー
	猪苗代町体験交流協会
行 政 団 体	会津森林管理署
	福島県企画調整部企画調整課
	福島県会津地方振興局
	猪苗代町
	磐梯町
	北塩原村
商 工 団 体	猪苗代町商工会
	磐梯町商工会
	北塩原村商工会
観 光 協 会	社団法人猪苗代観光協会
	磐梯町観光協会
	裏磐梯観光協会
民 間 団 体	野口英世記念館
	磐梯山噴火記念館
	猪苗代伝保人会
	猪苗代山岳会
	裏磐梯エコツーリズム協会
オ ブ ザ ー バ	裏磐梯自然保護官事務所
	福島県喜多方建設事務所
事 務 局	猪苗代町商工観光課
	磐梯町産業課
	北塩原村観光政策課

ウ. 活 動

平成25年度は次の事業を実施した。

1. 大会・学会参加

日本ジオパーク全国大会（隠岐）など7件

2. 学会誘致

日本火山学会

3. 啓発活動

(1) フォーラム・シンポジウム・講演会
火山砂防フォーラムなど4件

(2) ジオツアー

JR小さな旅など6件

(3) 出前講座

ばんだい大学講座など12件

(4) 出前授業

猪苗代町立緑小学校5、6学年フィールド学習など17件

(5) 講師派遣

月山ジオパーク準備室など9件

4. 広報活動

(1) イベント参画

会津米沢街道 歴史ウォーク ジオパーク
ブース設置など13件

(2) 各種グッズ開発

ウインドブレーカー・ポロシャツ
車両などに貼る、磐梯山ジオパークPR
の為のマグネットステッカー

5. ガイド養成

(1) ガイド研修

北塩原村エリアなど3回

6. ツアー解説媒体制作

(1) ジオサイト解説看板設置

4基設置

(2) ジオパークガイドブック

詳細版2冊制作

(3) ジオアート 北海道地図(株)のジオパ
ークアート (磐梯山デジタル鳥瞰図) の
製作



「地質の日」ジオツアー 十六橋にて



ガイド研修 磐梯町慧日寺資料館にて

(2) ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

科学の普及を目的として、2008年に福島大学
共生システム理工学類が中心となり、産官学民
の様々な機関や個人が参画して結成された組
織。これまで科学普及活動は、ほとんど学校教
育の理科を通じて行われてきた。ふくしまサイ
エンスぷらっとフォーム(spff)では、多様な分
野・業種の人々が集まって、市民全体を対象と
して、大小様々の科学イベントの開催、企画、
情報活動、広報活動に取り組んでいる。特に、
2011.3.11の震災以降、復興支援活動と科学理
解活動の密接な連携を模索している。福島県立
博物館もこのプロジェクトに2010年から参画し
て活動している。

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム連携機関一覧

(平成25年5月現在)

所 属 機 関
福島大学
福島県(商工労働部)
ふくしま森の科学体験センター(ムシテックワールド)
郡山市ふれあい科学館(スペースパーク)
磐梯山噴火記念館
福島県ハイテクプラザ
福島県農業総合センター
福島県環境センター
福島県林業研究センター
福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ
(株)福島製作所
日東紡績(株) 福島工場
日東紡績(株) 富久山事業センター
NECネットワークフプロダクツ株式会社
福島県商工会連合会
福島県鉄工機械工業共同組合
(有)西坂製作所
福島県立博物館
いわき明星大学 エネルギー教育研究会
福島県商工会議所連合会
(株)坂本乙造商店
福島県立図書館
ふれあい科学館支援チーム
福島県男女共生センター
(有)アビスタ
福島県立テクノアカデミー郡山
日本ベクトン・ディッキンソン(株)
相馬市教育委員会
一般社団法人産業サポート白河

平成25年度にspffが中心となり実施した活動
は表のとおりである。このうち、「spffサイエ
ンス屋台村inいわき」は福島県立博物館が参加

した。このほか、spffを窓口とした県外の団体と連携した活動や、視察・研修および研究活動を実施した。これらの事業は、福島県学術教育振興財団による助成「復興・再生支援地域における産官学民連携による科学教育システム構築

平成25年度ふくしまサイエンス

No.	名称	期日	会場	参加者数
1	サイエンスフェスティバル2013	5月3～5日、7月20～21日、8月10～16日	郡山市ふれあい科学館	6,404
2	ご当地サイエンス	7月24日、8月4日	福島市子どもの夢を育む施設こむこむ	182
3	子どもアグリ科学教室	7月24日、31日、8月7日	福島県農業総合センター	83
4	青少年事業トライキッズスクール	7月30日	郡山市桃見台地域公民館	38
5	空と大地のなつまつり	8月10～11日	川内村コミュニティセンター	270
6	農業総合センターまつり	9月7～8日	福島県農業総合センター	3,000
7	ムシテックワールド誕生祭	10月27～28日	ムシテックワールド	2,213
8	spff サイエンス屋台村 in いわき	11月30日	いわき産業創造館	1,600
9	子ども科学祭2013ウィンター	12月7日	福島県立テクノアカデミー浜	800

事業」および福島県緊急雇用創出事業による助成「科学普及啓発活動における地域ネットワーク構築事業」および文科省の科学研究費補助金により実施した。



サイエンス屋台村 in いわき
「化石を取り出そう！」 1



サイエンス屋台村 in いわき
「化石を取り出そう！」 2

(3) 福島芸術計画 × Art Support Tohoku-Tokyo

ア. 主催

福島県、東京都、東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）、特定非営利活動法人Wunder ground、筑波大学、プロジェクトFUKUSHIMA美術部

イ. 協力

NPOまちづくり喜多方、西会津振興公社、NPO西会津ローカルフレンズ、NPOわくわく奥会津.com、南相馬市市民活動サポートセンター、南相馬市国際交流協会、いいたてまでの会、土湯温泉芸術祭実行委員会、オルタナティブスペースUDOK、あさかホスピタルグループ、日本財団

ウ. 事業内容

福島芸術計画×Art Support Tohoku-Tokyo（東京都による芸術文化を活用した被災地支

援事業）は、福島県、東京都、東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）の三者が共催し、地域の団体と協働してアートプログラムを実施する事業。文化芸術に触れる機会や地域コミュニティの交流の場をつくり、文化芸術による地域活力の創出と心のケアという視点から復旧、復興を支援する。

エ. 実施プログラム

①福島芸術計画×Art Support Tohoku-Tokyo 発信フォーラム

開催日：平成25年6月15日

会場：福島県立美術館

講師：平田オリザ（演出家・劇作家）／
和合亮一（詩人）

参加者数：約90名

②プロジェクトFUKUSHIMA美術部

開催日：平成25年8月15日

- 会場：福島市「街なか広場」
 講師：大友良英（ミュージシャン）／中崎透（美術家）／アサノコウタ（建築家）
 参加者数：約5,000名
- ③DAILY ART CIRCUS
 開催日：平成25年9月20日、9月21日、9月22日、9月23日、9月24日、9月25日、9月26日、9月28日
 会場：社会福祉法人福陽会よつば保育園、南相馬市立中央図書館、南相馬市高見公園、川内村児童施設なかよし館、かわうち保育園、土湯温泉芸術祭「土湯アラフドアートアニュアル2013」
 講師：開発好明（コミュニケーション・アーティスト）他
 参加者数：13名～140名
- ④週末アートスクール・イン・つくば～感じて・見て・なりきりレオナルド・ダ・ヴィンチ
 開催日：平成25年7月27日～28日
 会場：筑波大学、宇宙航空研究開発機構（JAXA）筑波宇宙センター
 講師：逢坂卓郎（アーティスト）、林剛人丸（アーティスト）他
 参加者数：30名
- ⑤筑波大学CRプロジェクトin土湯～ぼくらのラピュタ作戦～
 開催日：平成25年10月6日
 会場：土湯小学校体育館・しゃくなげ荘
 講師：筑波大学CRプロジェクト
 参加者数：30名
- ⑥仮設美術館をつくろう 小名浜仮設美術館「地引網と浮き球」
 開催日：平成25年9月28日～29日
 会場：いわき市小名浜本町通り銀座商店街
 講師：アサノコウタ、untangle
 参加者数：約50名
- ⑦週末アートスクール 土あそび どろんこアート～喜多方の土でおもいきり遊ぼう！～
 開催日：平成25年8月17日～18日
 会場：喜多方市 蔵庭
 講師：佐藤香（アーティスト）
 参加者数：32名
- ⑧週末アートスクール 草木をまとう 草木を飾る
 開催日：平成25年9月14日～15日
- 会場：三島町交流センター山びこ
 講師：片桐功敦（華道家）
 参加者数：32名
- ⑨週末アートスクール 僕らの“あいず”世界に送る烽火（のろし）からのメッセージ
 開催日：平成25年11月2日～3日
 会場：西会津町奥川（旧奥川中学校）周辺
 講師：青山ひろゆき（美術家）
 参加者数：約50名
- ⑩学校連携共同ワークショップ「スタンプで創ろう！大きな絵」
 開催日：平成25年10月17日・21日・25日・27日・11月5日・11月8日・11月21日・11月22日・12月13日
 会場：白河市立白河第四小学校、原釜幼稚園他計九ヶ所
 講師：講師：青山ひろゆき（美術家）
 参加者数：35名～300名
- ⑪近所にできる小さな美術館をみんなではじめるフォーラム はじめる美術館～十八間蔵から～
 開催日：平成25年10月20日
 会場：猪苗代町しおや蔵
 講師：伊藤達矢（東京藝術大学助教）、山崎亮（studio-L代表）、森司（東京文化発信プロジェクト室地域文化交流推進担当課長）、南嵐宏（女子美術大学教授）、保坂健二郎（東京国立近代美術館研究員）、川延安直（福島県立博物館専門学芸員）
 参加者数：39名
- ⑫猪苗代の「こびる」TAROさんにおしえて！猪苗代の「おやつ」TAROさんにおしえて！
 開催日：平成26年1月20日、2月24日
 会場：猪苗代町しおや蔵
 講師：EAT&ART TARO（フードアーティスト）
 参加者数：39名
- ⑬対話劇を作ろう～平田オリザプロジェクト～
 開催日：平成26年2月6日、2月13日、2月27日
 会場：南相馬市立原町第二中学校
 講師：平田オリザ（劇作家・演出家）
 参加者数：99名
- ⑭日比野克彦 つなげるつながるプロジェクト
 開催日：平成26年2月3日、3月14日
 会場：福島市立野田小学校、郡山市立安

積第一小学校
 講師：日比野克彦（アーティスト）
 参加者数：131名（2月3日）、
 121名（3月14日）

⑮福島藝術計画×Art Support Tohoku-Tokyo
 発展フォーラム
 開催日：平成26年3月3日

会場：いわき芸術文化交流館アリオス
 講師：平田オリザ（演出家・劇作家）／
 日比野克彦（アーティスト）／藤
 浩志（アーティスト）／森司（東
 京文化発信プロジェクト室地域文
 化交流推進担当課長）
 参加者数：87名



週末アートスクール喜多方



週末アートスクール西会津2



週末アートスクール三島



日比野克彦マッチフラッグワークショップ



週末アートスクール西会津1

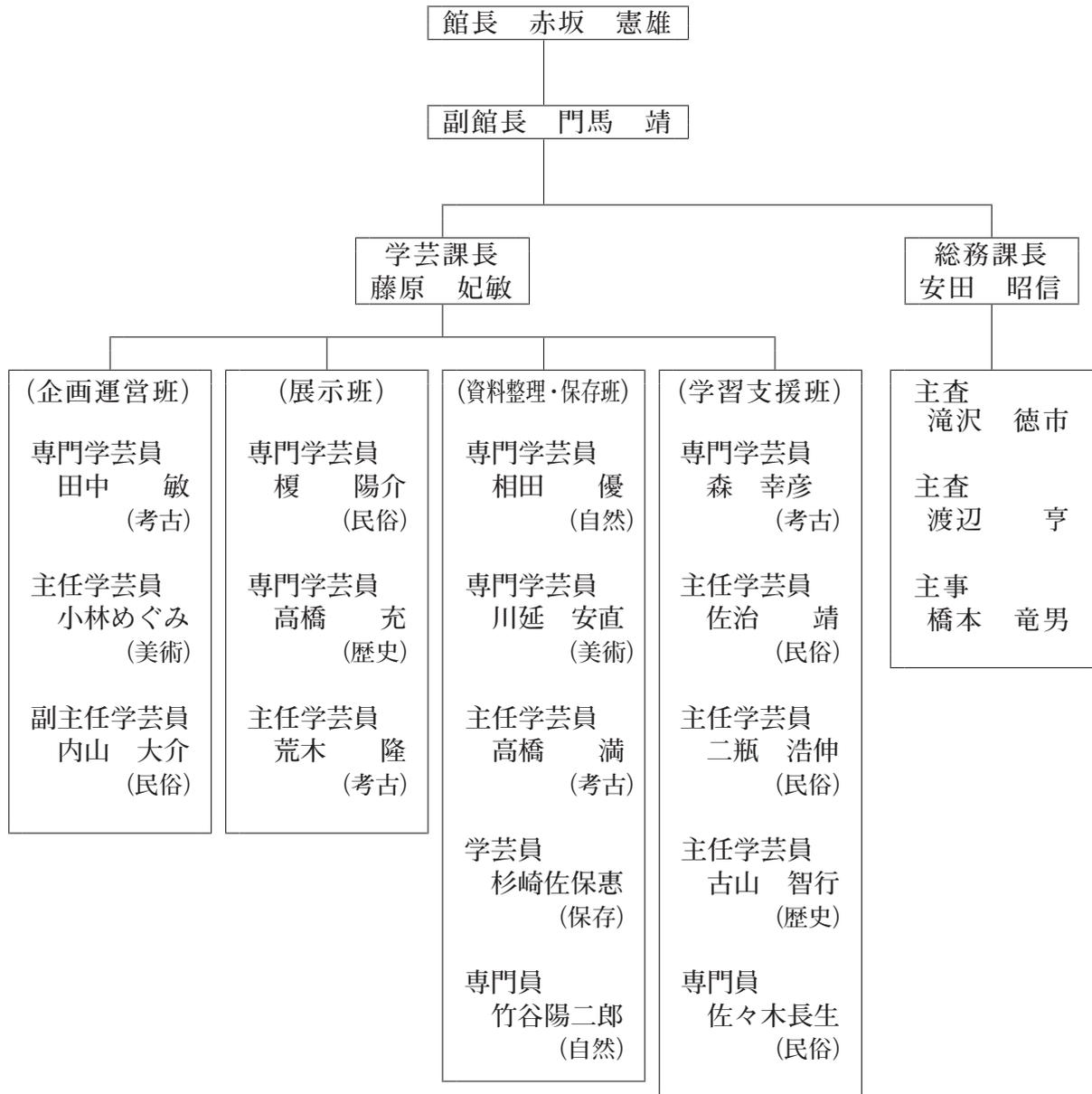


平田オリザ演劇ワークショップ

III 管理運営

1. 組織・職員

(平成25年 4月 1日現在)



(定数外)

- 展示解説員 (嘱託) 13名
- 資料整理員 (嘱託) 2名

嘱託員等名簿

職名	氏名	職名	氏名
展示解説員	篠原 詩子	展示解説員	椎野 未帆
	後藤 詩織		綱 真奈美
	五十嵐 汐里		富田 陽介
	長谷川 亜樹		柳 沼美咲
	佐々木 杏純		吉村 江理佳
	前田 知香	資料整理員	竹内 咲
	岩崎 萌		相原 綾子
	後藤 知春		

(広報班)

専門学芸員 佐藤 洋一 (歴史)

主任学芸員 船尾 武彦 (自然)

主任学芸員 金澤 文利 (美術)

主任学芸員 阿部 綾子 (歴史)

2. 予 算

平成25年度は下記の通り予算を執行した。

平成25年度予算執行状況

歳 入

(単位：千円)

科 目 (款・項・目・節)				金 額
使用料及び手数料				26,078
	使 用 料			26,078
		行政財産使用料		376
			建 物 使 用 料	376
		教育使用料		25,702
			博 物 館 使 用 料	25,702
財 産 収 入				3,469
	財 産 売 払 収 入			3,469
		物 品 売 払 収 入		3,469
			そ の 他 物 品 売 払 代 金	3,469
諸 収 入				2,923
	雑 入			2,923
		雑 入		2,923
			雑 入	2,923
	合 計			32,470

歳 出

(単位：千円)

科 目 (款・項・目・節)				金 額
労 働 費				6,721
	雇 用 対 策 費			6,721
		緊急雇用対策費		6,721
			共 済 費	874
			賃 金	5,637
			需 用 費	210
教 育 費				187,260
	教 育 総 務 費			3,034
		事 務 局 費		3,017
			報 酬	2,400
			職 員 手 当	610
			共 済 費	7
		財 務 管 理 費		17
			交 際 費	17
	社 会 教 育 費			184,226
		社 会 教 育 総 務 費		26,754
			報 償 費	91
			旅 費	739
			需 用 費	4,832
			需 用 費 (食糧費)	9
			役 務 費	204
			委 託 料	2,469
			使 用 料 及 び 賃 借 料	35
			負担金、補助及び交付金	18,375
		文 化 財 保 護 費		60
			使 用 料 及 び 賃 借 料	60
		博 物 館 費		157,412
			報 酬	23,989
			共 済 費	3,698
			報 償 費	511
			旅 費	2,581
			需 用 費	52,255
			需 用 費 (食糧費)	4
			役 務 費	4,914

科 目 (款・項・目・節)			金 額
		委 託 料	63,004
		使 用 料 及 び 賃 借 料	1,300
		備 品 購 入 費	5,071
		負担金、補助及び交付金	61
		公 課 費	24
合 計			193,981

3. 委員会の開催

(1) 運営協議会

ア. 運営協議会委員

博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関であり、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者のうちから10名に委嘱している。また、平成13年1月からは、委員の選考に一部公募方式を導入した。

運営協議会委員名簿

区 分	氏 名	役 職 名
学 校 教 育	中 野 みどり	郡山市立多田野小学校長
	横 山 敦 子	いわき市立湯本第三中学校長
	源 後 正 能	県立会津学鳳高等学校長
社 会 教 育	会 長 遠 藤 俊 博	福島県文化振興財団理事長
	佐 藤 典 子	いわき市立中央公民館庶務係長
学 識 経 験 者	白 井 美 津 子	会津若松市教育委員会委員
	佐 藤 彌 右 衛 門	合資会社 大和川酒造店 代表社員
	長 尾 修	公立大学法人会津大学短期大学部社会福祉学科 非常勤講師
	新 妻 玲 子	家庭教育インストラクター ーいわきの会
	庄 司 梓	公募委員

イ. 会 議

第1回 平成25年6月6日(木)

議 題

- ①会長および副会長の選出について
- ②平成25年度の事業について
- ③中期目標の達成状況について
- ④入館状況について

第2回 平成26年2月28日(金)

議 題

- ①平成25年度事業の実施状況について
- ②平成26年度事業計画について
- ③平成26年度予算案の概要について

IV 利用状況

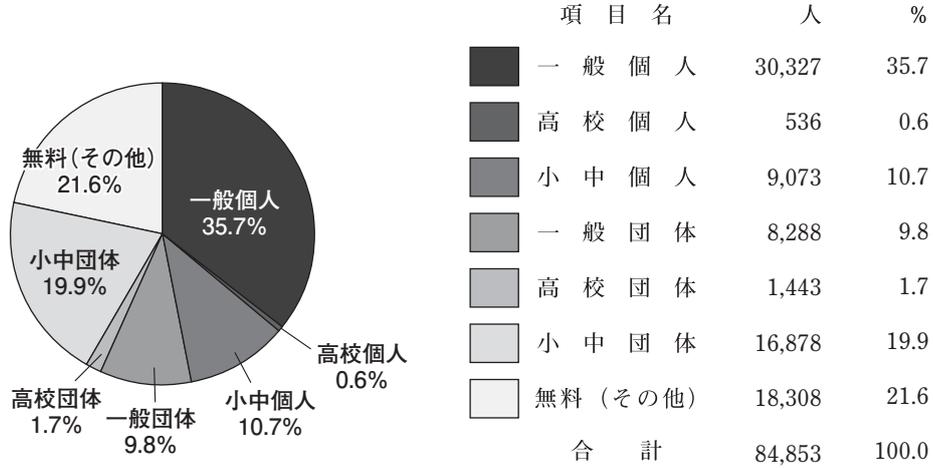
1. 入館者統計

(1) 平成25年度入館者統計

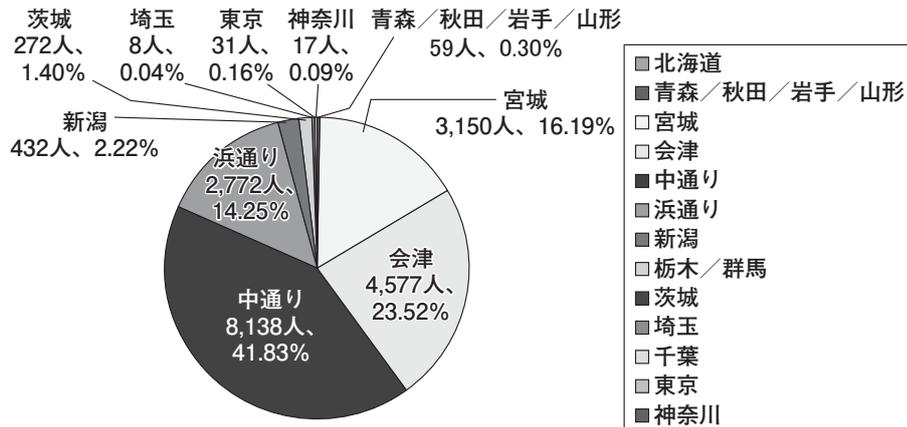
月別区分別入館者数

月別	常設展				企画展			合計		構成比
	日数	有料	無料		日数	有料	無料	日数	人数	
		人数	小中高校生 人数	その他 人数		人数	人数			
4	25	2,466	2,838	1,219				25	6,523	5.9%
5	29	2,710	4,326	1,279	15	2,985	422	29	11,722	10.6%
6	28	2,932	5,628	1,321	28	14,350	1,132	28	25,363	23.1%
7	27	2,726	1,661	840	7	3,050	736	27	9,013	8.2%
8	28	4,481	2,067	1,851	28	10,183	2,384	28	20,966	19.1%
9	25	2,731	4,198	876	14	3,641	853	25	12,299	11.1%
10	27	2,403	1,740	1,086	23	1,117	5,456	27	11,802	10.7%
11	26	1,565	544	799	26	848	269	26	4,025	3.7%
12	22	627	158	1,849	1	86	16	22	2,736	2.5%
1	23	1,086	237	294				23	1,617	1.5%
2	23	604	480	379				23	1,463	1.3%
3	26	1,221	307	781				26	2,309	2.1%
合計	309	25,552	24,184	12,574	142	36,260	11,268	309	109,838	100.0%

入館者内訳



地域別学校団体入館申込者数

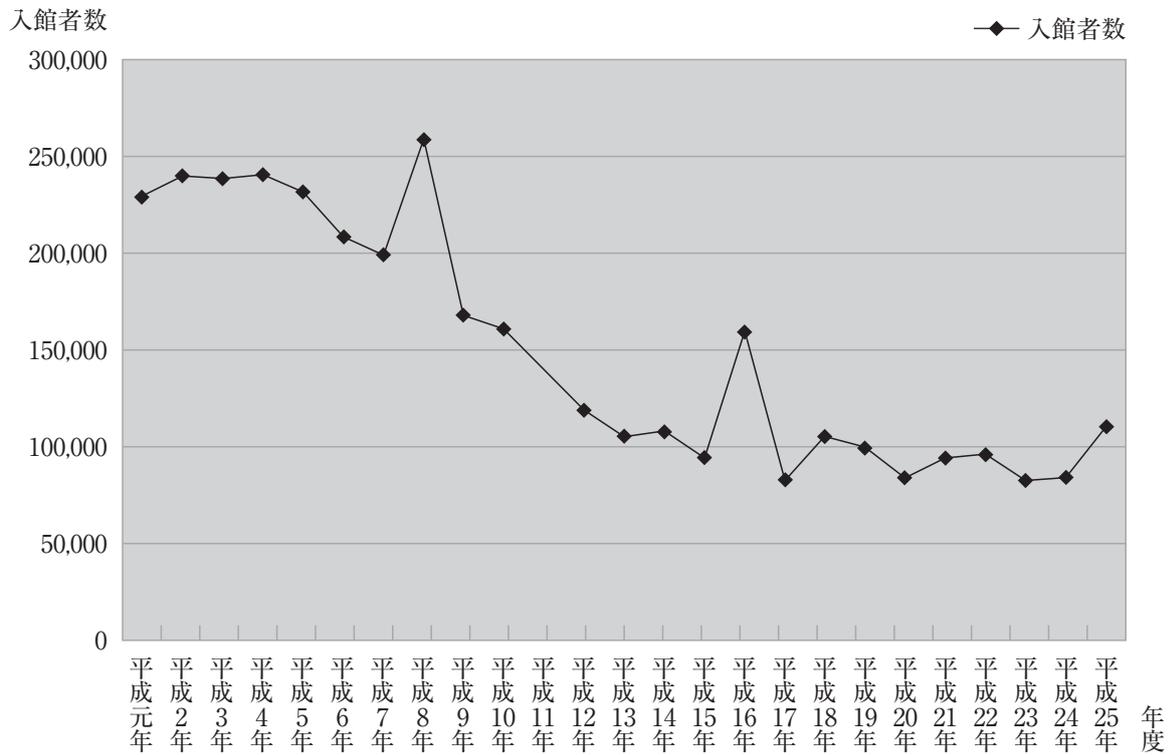


(2) 入館者の推移

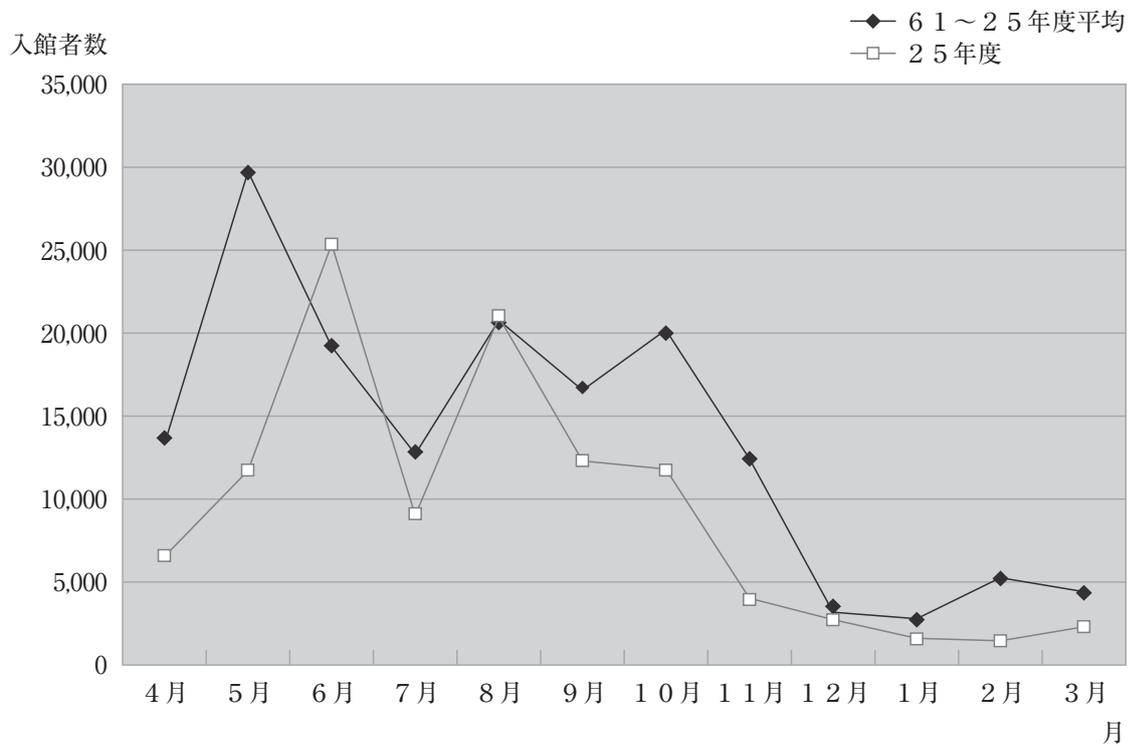
区分	入館者の推移 (年度別・月別)												平均		
	61年	62年	63年	元	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年		10年	11年
4月	25,919	25,561	20,561	25,699	22,750	22,851	16,637	17,975	15,320	16,571	12,433	13,521	14,922	13,456	10,539
5月	48,367	35,853	35,853	52,872	50,265	52,723	56,983	50,452	38,693	42,832	40,138	39,844	34,430	30,999	21,341
6月	17,831	14,823	14,823	20,356	19,043	23,592	23,841	29,319	20,737	28,622	18,185	22,279	24,933	23,659	18,775
7月	23,356	22,651	22,651	18,456	24,050	20,340	22,800	21,138	12,328	15,340	9,725	8,036	9,541	9,051	7,127
8月	40,749	32,396	32,396	31,127	34,218	33,257	37,431	28,490	25,837	23,785	21,495	15,803	16,208	13,607	13,184
9月	24,259	20,198	20,198	18,248	17,008	21,882	20,334	18,285	16,551	16,428	15,879	13,082	13,794	12,175	12,794
10月	31,758	27,099	29,648	26,832	34,201	21,851	18,565	20,022	28,034	20,252	64,772	26,015	18,431	15,696	15,609
11月	49,868	27,082	21,234	16,058	18,482	15,682	17,592	15,629	19,857	15,096	50,811	10,290	9,061	7,937	8,120
12月	8,860	5,548	4,512	3,369	2,303	3,618	4,028	6,989	7,839	2,048	9,473	2,125	2,395	1,582	1,801
1月	6,531	4,010	4,959	4,048	3,813	8,675	5,073	4,993	4,732	2,701	3,141	2,111	3,218	2,714	829
2月	13,614	7,653	6,350	6,986	5,982	7,006	9,096	9,137	9,197	7,631	6,700	7,578	9,770	4,795	5,353
3月	11,850	7,878	4,405	4,873	7,115	6,530	7,606	8,640	8,742	7,160	5,616	6,686	3,575	3,676	2,897
合計	122,481	259,751	217,590	228,924	239,230	238,007	239,986	231,069	207,867	198,466	258,368	167,370	160,278	139,347	118,369
日数	133	297	296	299	299	298	297	293	296	298	294	295	295	294	301
日平均	921	875	735	766	800	799	808	789	702	666	879	567	474	393	393
月平均	20,414	21,646	18,133	19,077	19,936	19,834	19,999	19,256	17,322	16,539	21,531	13,948	13,357	11,612	9,864
累計	122,481	382,232	599,822	828,746	1,067,976	1,305,983	1,545,969	1,777,038	1,984,905	2,183,371	2,441,739	2,609,109	2,769,387	2,908,734	3,027,103
区分	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年		
4月	8,473	8,028	4,899	8,770	8,440	7,019	7,419	6,521	7,977	11,669	2,292	8,940	6,523	13,312	
5月	20,267	19,242	13,884	19,287	14,548	11,381	12,271	10,730	13,060	15,085	6,582	9,350	11,722	29,739	
6月	16,475	17,211	12,884	16,768	12,008	14,151	25,016	13,011	11,912	16,283	4,990	6,912	25,363	19,192	
7月	5,682	4,706	8,732	20,318	7,507	5,246	6,808	7,401	7,356	10,472	5,557	7,532	9,013	12,703	
8月	8,451	14,702	10,630	34,732	7,157	10,548	7,148	8,582	14,280	11,658	11,047	12,764	20,966	20,779	
9月	13,423	19,901	12,525	35,813	8,787	13,405	10,084	10,326	16,864	9,513	15,972	10,702	12,299	16,559	
10月	12,192	10,688	13,000	11,227	11,972	25,464	12,495	11,388	9,211	8,522	9,465	10,683	11,802	20,198	
11月	5,825	5,265	7,693	5,440	4,374	9,029	8,261	6,798	6,761	6,280	6,399	6,438	4,025	12,427	
12月	5,797	1,078	1,665	2,192	926	1,989	1,938	1,558	1,383	1,637	3,159	2,316	2,736	3,185	
1月	1,412	1,196	1,235	855	1,159	1,468	1,627	1,037	1,127	1,947	4,280	1,551	1,617	2,797	
2月	3,836	3,183	3,733	2,019	2,815	2,928	2,943	2,193	1,815	1,796	7,087	3,173	1,463	5,267	
3月	2,818	2,386	2,734	1,690	2,262	2,058	3,290	3,730	1,850	694	5,218	3,040	2,309	4,425	
合計	104,651	107,586	93,614	159,111	81,955	104,686	99,300	83,275	93,596	95,556	82,048	83,401	109,838	160,582	
日数	303	306	302	302	305	310	306	306	306	293	305	306	309		
日平均	345	352	310	527	269	338	325	272	306	326	269	273	355		
月平均	8,721	8,966	7,801	13,259	6,830	8,724	8,275	6,940	7,800	7,963	6,837	6,950	9,153		
累計	3,131,754	3,239,340	3,332,954	3,492,065	3,574,020	3,678,706	3,778,006	3,861,281	3,954,877	4,050,433	4,132,481	4,215,882	4,325,720		

入館者数の推移グラフ（年度別月別）

入館者数の推移 年度別



月別入館状況



(3) 企画展入館者統計

企画展入館者数

年度	企画展名	期 間	日 数	一 般	高 校	小 中	合 計
61	武家の文化	61.10.18~61.11.16	27日	18,806人	1,967人	4,474人	25,247人
	福島のまつり	62. 1.17~62. 3. 1	37	6,302	456	755	7,513
	計		64	25,108	2,423	5,229	32,760
62	福島の顔	62. 4.18~62. 6.14	48	13,008	510	7,077	20,595
	植物化石展	62. 7.18~62. 9.15	51	14,116	1,267	7,149	22,532
	会津の仏像	62.10.17~62.12.13	49	14,670	440	904	16,014
	陸奥の古瓦	63. 1.23~63. 3.21	50	4,069	151	291	4,511
	計		198	45,863	2,368	15,421	63,652
63	境の神・風の神	63. 4.16~63. 6.12	49	9,804	1,046	5,668	16,518
	江戸時代の流通路	63. 7.16~63. 9.11	50	16,240	1,502	5,729	23,471
	東国の埴輪	63.10. 8~63.12.11	54	15,585	1,472	4,702	21,759
	鉱物の世界	元. 1.21~元. 3.19	49	4,160	470	2,653	7,283
	計		202	45,789	4,490	18,752	69,031
元	縄文の四季	元. 4.18~元. 6.11	48	13,246	2,293	27,743	43,282
	町の成立とにぎわい	元. 7. 4~元. 9. 3	54	16,611	1,151	8,120	25,882
	中通りの仏像	元. 9.22~元.11.26	55	15,356	1,895	6,486	23,737
	東北の陶磁史	2. 1.20~ 2. 3.18	50	5,058	151	1,532	6,741
	計		207	50,271	5,490	43,881	99,642
2	垂欧堂田善とその系譜	2. 4.21~ 2. 6.10	44	12,274	2,507	22,522	37,303
	太古の生きものたち	2. 7. 6~ 2. 9. 2	51	17,519	1,407	10,681	29,607
	秀吉・氏郷・政宗	2. 9.22~ 2.11.25	55	18,273	2,481	8,516	29,270
	日本の音色	3. 1.19~ 3. 3.21	53	5,567	149	1,731	7,447
	計		203	53,633	6,544	43,450	103,627
3	シルクロード紀行	3. 4.16~ 3. 6. 9	48	13,878	3,319	27,384	44,581
	縄文絵巻	3. 7.20~ 3. 9.23	57	21,276	1,734	10,548	33,558
	浜通りの仏像	3.10.10~ 3.12. 8	51	12,293	1,030	3,528	16,851
	ふくしま鉱山のあゆみ	4. 1.18~ 4. 3.15	49	7,626	138	2,043	9,807
	計		205	55,073	6,221	43,503	104,797
4	マンガ文化の源流	4. 4.18~ 4. 6. 4	49	12,151	2,192	27,981	42,324
	恐竜のあるいた道	4. 7.18~ 4. 9.23	57	22,049	1,459	11,772	35,280
	定信と文晁	4.10.17~ 4.12. 6	43	10,333	1,083	2,549	13,965
	発掘ふくしま	5. 1.16~ 5. 3.21	55	7,004	338	1,831	9,173
	計		204	51,537	5,072	44,133	100,742
5	明治はじめて物語	5. 4.17~ 5. 6.13	48	12,810	1,542	28,085	42,437
	稲とくらし	5. 7.17~ 5. 9.23	58	19,467	1,195	8,349	29,011
	東北からの弥生文化	5.10.16~ 5.12. 5	42	12,436	936	3,178	16,550
	会津の自然史	6. 1.22~ 6. 3.21	51	6,928	418	2,350	9,696
	計		199	51,641	4,091	41,962	97,694
6	玉堂と春琴・秋琴	6. 4.23~ 6. 6. 5	37	8,816	346	16,330	25,492
	げんき・病・元気	6. 7.23~ 6. 9.18	49	14,075	1,027	6,232	21,334
	会津大塚山古墳の時代	6.10. 8~ 6.12. 4	48	18,285	751	7,095	26,131
	村芝居の世界	7. 1.21~ 7. 3.26	55	7,676	268	2,445	10,389
	計		189	48,852	2,392	32,102	83,346
7	探検員化石ワールド	7. 4.22~ 7. 6.11	44	9,187	1,608	26,208	37,003
	海のまくあけ	7. 7.22~ 7. 9.17	50	14,101	1,003	5,889	20,993
	福島1000年時のかたち	7.10. 7~ 7.11.26	43	9,379	1,342	3,417	14,138
	いにしえの木匠	8. 1.20~ 8. 3.24	55	5,760	74	1,907	7,741
	計		192	38,427	4,027	37,421	79,875

年度	企画展名	期 間	日 数	一 般	高 校	小 中	合 計
8	福島 の 山 岳 信 仰	8. 4.20～ 8. 6. 9	44日	8,931人	976人	12,432人	22,339人
	地震 ・ 火山 ・ 津波	8. 7.20～ 7. 9.16	51	11,671	443	6,176	18,290
	秀吉 と 桃 山 文 化	8.10. 5～ 8.11.24	43	45,643	1,583	8,929	56,155
	近代 子 ども の 世 界	9. 1.18～ 9. 3.23	54	3,733	130	2,427	6,290
	計		192	69,978	3,132	29,964	103,074
9	縄 文 た ん け ん	9. 4.19～ 9. 6. 8	43	5,282	1,164	23,052	29,498
	日本の魚学・水産学事始め	9. 7.19～ 9. 9.15	51	6,396	396	4,082	10,874
	染 め る	9.10.10～ 9.12.7	51	6,165	118	7,372	13,655
	遠 澤 と 探 幽	10. 1.24～10. 3.15	43	5,854	433	775	7,062
	計		188	23,697	2,111	35,281	61,089
10	戦 国 の 城	10. 4.18～10. 6.14	49	8,731	600	19,452	28,783
	発掘 ふくしま 2	10. 7.18～10. 9.13	50	7,930	484	5,954	14,368
	天 の 絹 絲	10.10.10～10.12.13	55	6,521	133	3,009	9,663
	日 本 の 美	11. 1.26～11. 2.21	23	5,055	101	567	5,723
	計		177	28,237	1,318	28,982	58,537
11	氷 河 時 代	11. 4.17～11. 6.13	49	6,351	680	20,052	27,083
	新 弥 生 紀 行	11. 7.17～11. 9.15	43	6,128	409	3,438	9,975
	生 の 中 の 死	11.10. 9～11.12.12	54	5,826	225	2,103	8,154
	豊 かな る 世 界 へ	12. 1.22～12. 3.20	51	3,426	103	448	3,977
	計		197	21,731	1,417	26,041	49,189
12	集 古 十 種	12. 4.22～12. 6.11	44	4,843	81	7,960	12,884
	海獣パレオパラドキシア	12. 7.15～12. 9.10	49	6,013	363	4,074	10,450
	英雄 たち の 系 譜	12.10. 7～12.12.10	55	5,838	139	3,326	9,303
	安積良斎と門人たち	13. 1.20～13. 3.20	51	2,963	73	115	3,151
	計		199	19,657	656	15,475	35,788
13	食 と 考 古 学	13. 4.21～13. 6.10	44	3,330	281	8,964	12,575
	肖像に見る福島を築いた人々	13. 7. 7～13. 8.26	44	3,630	118	1,148	4,896
	武者 たち が 通 る	13. 9.22～13.11.11	44	4,437	385	2,675	7,497
	計		132	11,397	784	12,787	24,968
14	化 石 芸 術	14. 4.27～14. 6.30	56	3,921	552	6,928	11,401
	雪 村 展	14. 8.10～14. 9.23	39	11,362	169	1,149	12,680
	計		95	15,283	721	8,077	24,081

年度	企画展名	期 間	日 数	一 般	高 校	小 中	無 料	合 計
15	発掘された日本列島2003	15. 7.15～15. 8.13	26日	2,473人	386人	647人	1,424人	4,930人
	発掘 ふくしま 3	15. 8.20～15. 9.23	30	1,833	40	479	432	2,784
	《笑い》の想像力	15.10.11～15.12. 7	50	3,190	47	456	769	4,462
	計		106	7,496	473	1,582	2,625	12,176
16	戊辰戦争といま	16. 4.17～16. 6.13	49	6,451	190	3,191	1,048	10,880
	アートオブスター・ウォーズ展	16. 7. 3～16. 9.26	75	46,019	5,631	11,234	1,552	64,436
	ふくしまの工芸	16.10.23～16.12. 5	36	2,524	65	182	626	3,397
	計		160	54,994	5,886	14,607	3,226	78,713
17	老 い	17. 4.23～17. 6. 5	39	1,732	80	414	814	3,040
	婚 礼	17. 9.23～17.11. 6	39	2,480	45	233	1,020	3,778
	計		78	4,212	125	647	1,834	6,818
18	馬と人との年代記	18. 4.22～18. 6.11	45	1,679	24	801	615	3,119
	布 の 声 を き く	18. 7.22～18. 9. 3	40	2,137	53	284	464	2,938
	徳川将軍家と会津松平家	18. 9.30～18.11. 5	36	14,879	126	1,918	2,560	19,483
	計		121	18,695	203	3,003	3,639	25,540

年度	企画展名	期間	日数	一般	高校	小中	無料	合計
19	樹と竹	19. 7.21～19. 9.17	52日	1,987人	44人	429人	619人	3,079人
	わくわく！化石大集合	19.10. 6～19.11.25	44	2,611	21	1,593	2,233	6,458
	計		96	4,598	65	2,022	2,852	9,537
20	宝の山2008	20. 7.19～20. 9.23	58	3,943	66	1,131	1,070	6,210
	遠藤香村	20.10.11～20.11.24	41	1,619	131	106	973	2,829
	計		99	5,562	197	1,237	2,043	9,039
21	岡本太郎の博物館	21.10.10～21.11.23	40	1,905	9	95	1,371	3,380
	計		40	1,905	9	95	1,371	3,380
22	千少庵と蒲生氏郷	22. 4.17～22. 5.30	39	6,077	27	489	985	7,578
	森に生き山に遊ぶ	22. 6.26～22. 8.22	51	12,588				12,588
	漆のチカラ	22.10. 9～22.11.28	43	2,564	31	159	1,259	4,013
	計		133	21,229	58	648	2,244	24,179
23	保科正之の時代	23.10. 8～23.11.27	43	4,908	28	188	5,124	5,124
	小さなもの集まれ	24. 2.18～24. 3.31	36	2,523	21	271	2,815	2,815
	計		79	7,431	49	459	7,939	7,939
24	小さなもの集まれ	24. 4.1～24. 5.13	38	4,264	82	493	875	5,714
	恐竜時代のふくしま	24. 7.14～24. 9.17	54	6,985	128	4,055	2,648	13,816
	会津の寺宝	24.10. 6～24.11.25	44	6,668	16	72	872	7,628
	計		136	17,917	226	4,620	4,395	27,158
25	八重の桜	25. 5.17～25. 7.3	46	13,146	130	5,462	5,197	23,935
	対決！恐竜展	25. 7.27～25. 9.16	46	9,948	273	5,033	3,733	18,987
	考古学からの挑戦	25.10. 5～25.12.1	50	1,955	11	85	634	2,685
	計		142	25,049	414	10,580	9,564	45,607

※平成16年度のアート オブ スター・ウォーズ展については高校生の区分は中学生・高校生、小・中学生の区分は小学生と読替え

2. 出版物販売

出版物売上表

書籍名	単価	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	金額
常設展示図録	1,100	7	7	7	1	11	6							39	42,900
武家の文化	600				1		2	3			1		3	10	6,000
ふくしまの顔	500													0	0
陸奥の古瓦	400	1	1	2	1	2	3	3	1			1	2	17	6,800
江戸時代の流路	500	9	1											10	5,000
鉱物の世界	400	1	2	2		2	1	2				1		11	4,400
縄文の四季	500	2	2	1		1	3	3	4			3	1	20	10,000
まちの成立とにぎわい	500	1			1		1	1					4	8	4,000
亜欧堂田善とその系譜	1,000	2	1	1	1		1					2		8	8,000
太古の生きものたち	500		2			2	4							8	4,000
日本の音色	800	1			1	1		1				1		5	4,000
シルクロード紀行	1,000							1				1		2	2,000
縄文絵巻	800	3		1			3	11	5	1		3	2	29	23,200
浜通りの仏像	500	2	6	1		2		1	1					13	6,500
ふくしま鉱山のあゆみ	800	4	2	2		4	1	2	1			1		17	13,600
マンガ文化の源流	1,000			1	1		2		1	1				6	6,000
恐竜のあるいた道	500		1			1								2	1,000
定信と文晁	1,000	2	1	2			3	3	2		1		1	15	15,000
明治はじめて物語	500	2	5	2		3	4	1	1				1	19	9,500
稲とくらし	800	1		1			1	1	1		1			6	4,800
東北からの弥生文化	800		1				4	3	5			2		15	12,000
会津の自然史	800	1				1		1	3			1		7	5,600
玉堂と春琴・秋琴	1,100	1	1		1	1		1	1			1	1	8	8,800

書籍名	単価	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	金額
げんき・病・元気	800	1	2											3	2,400
村芝居の世界	900	1		1		1				1	1	1		6	5,400
探検員化石ワールド	800			2		1	3							6	4,800
海のまくあけ	800		2	2										4	3,200
福島1000年時のかたち	900	1				2								3	2,700
いにしえの木の匠	600	1	1	1		2		4	4					13	7,800
福島の山岳信仰	800		1	1	1	4	2	3	1	1	1	3	2	20	16,000
地震・火山・津波	500		1			4	2		2					9	4,500
近代子どもの世界	900	2			1	1								4	3,600
縄文たんけん	900		3	1		1	1	2	1					9	8,100
日本の魚学・水産学事始め	500					1	1							2	1,000
染める	600		1				2		1		1	1		6	3,600
遠澤と探幽	1,300	1												1	1,300
戦国の城	800													0	0
天の絹絲	1,300		1		3	3	4	3			1	1		16	20,800
日本の美	800	1				2	2		1					6	4,800
氷河時代	700		1	1		1							3	6	4,200
新弥生紀行	1,100		3	1		2		7	5					18	19,800
生の中の死	900	3	3	2	1	1	4	1		1				16	14,400
豊かなる世界へ	600		2		2	2	1	1	1	2	1	4	1	17	10,200
集古十種	1,100	2	1	2		6	1	8	2		1	2		25	27,500
海獣パレオパラドキシア	600		1			1	1						1	4	2,400
英雄たちの系譜	500					1		1			1			3	1,500
食と考古学	500	3	2	2		5	1	6	4		2	3		28	14,000
肖像に見る福島を築いた人々	900					1	1				1			3	2,700
武者たちが通る	400	5	7	10	4	3	7	4					3	43	17,200
発掘ふくしま3	1,100	2	2	1		3	1	7	5	2			1	24	26,400
笑いの想像力	2,000			1		1	1	1		2		1		7	14,000
老い	2,000													0	0
婚礼	1,500			1			1	1						3	4,500
馬と人との年代記	1,600							4	2			2	1	9	14,400
布の声をきく	1,300		3		1		2	1				1	4	12	15,600
徳川將軍家と会津松平家	1,200	8	8	23	8	3	4	4		2	2		4	66	79,200
樹と竹	1,200					1	4	4	1				1	11	13,200
わくわく！化石大集合	800					4	4					1		9	7,200
会津磐梯山	1,000	4	5	3	2	4	1	3	1				2	25	25,000
遠藤香村	1,500	1	1		1		1	1				1	1	7	10,500
岡本太郎の博物館	1,000							1				1		2	2,000
千少庵と蒲生氏郷	500	1	3	8	3	2	2	3	3			1		26	13,000
漆のチカラ	800		1				1	3	2		1			8	6,400
福島の土偶	500	4	1	1	2		1							9	4,500
保科正之の時代	1,000	4	7	6	4	3	5	5	2	1	2	1		40	40,000
小さなもの集まれ	500	1			22	2	1		3			2	4	35	17,500
恐竜時代のふくしま	500		7	3	2	22	12		15			2		63	31,500
会津の寺宝	1,000	5	6	6	5	2	5	6	5	4	2		1	47	47,000
八重の桜	2,000				37	49	34	23	11	7	6	4	2	173	346,000
対決！恐竜展ガイドブック	300				53	238	92	2	26			1	1	413	123,900
恐竜博2011ポブラディア完全ガイド	500				44	154	53		1		2			254	127,000
恐竜博2011公式図録	2,000				8	35	18	2						63	126,000
考古学からの挑戦	900							140	105	4		3	8	260	234,000
紀要(数量)		1	3	3	9	8	5	2	2		1	1		35	
紀要(金額)		800	4,500	3,500	12,500	11,500	5,500	3,200	2,300		1,900	900		46,600	46,600
ふくしまの仏像(仏像図説)	1,300	1	2		2	2	1	2	1			1		12	15,600
福島の古墳	1,200	1	3	3	2	6	6	2	5	1	1	2	3	35	42,000
福島の化石	1,500											1		1	1,500
戦時下の福島	800			4		2	2	1						9	7,200

書籍名	単価	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	金額
福島の年中行事	1,100						1	1				1		3	3,300
ガイドブック	300	11	9	3	4	8	11	11	5	2	3	2	3	72	21,600
手引き(小)	700			1			3							4	2,800
常世原田遺跡	600	1					1	1	3				1	7	4,200
ふくしまの農具	1,000							2				1		3	3,000
報告書(数量)		10	8	11	8	21	7	10	2	2	3	7	9	98	0
報告書(金額)		13,000	8,400	12,400	7,700	19,000	6,800	9,100	2,100	2,000	4,400	6,300	9,200	100,400	100,400
絵葉書	50	52	56	1	2	13	59	42	38	6	24	25	9	327	16,350
クリアホルダー	200	10	4	9	4	4	2	9	7	2	2		4	57	11,400
勾玉セット	200	57	52	6	6	61		14	24	10			18	248	49,600
合計		178	194	137	243	663	413	372	293	42	62	94	84	2,775	2,011,750

各月売り上げ	104,900	99,750	157,450	67,900	90,300	69,000	468,250	518,200	63,150	58,700	146,100	215,100		2,058,800
--------	---------	--------	---------	--------	--------	--------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	--	-----------

V 法 規

福島県立博物館条例

(昭和61年3月25日条例第30号)

(設 置)

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第18条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条第1項の規定に基づき、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、福島県立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

(位 置)

第2条 博物館は、会津若松市城東町8番地に置く。

(業 務)

第3条 博物館において行う業務は、次のとおりとする。

- 1 歴史、考古、民俗、美術工芸、自然等に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- 2 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 3 博物館資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- 4 博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行うこと。
- 5 前各号に掲げるもののほか、その設置の目的を達成するために必要な業務を行うこと。

(観覧料)

第4条 博物館の展示品（以下「展示品」という。）を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 知事は、公益上の必要があると認めるときは、規則で定めるところにより、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料不返還の原則)

第6条 既納の観覧料は、返還しない。ただし、規則で定める場合は、その全部又は一部を返還することができる。

(遵守事項)

第7条 博物館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 1 博物館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、又は汚損しないこと。
- 2 物品を販売し、又は頒布しないこと（教育委員会の許可を受けた場合を除く。）。
- 3 展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと（教育委員会の許可を受けた場合を除く。）。
- 4 所定の場所以外において、喫煙及び飲食を行わないこと。
- 5 他の利用者に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- 6 前各号に掲げるもののほか、管理上教育委員会が指示する事項

(入館の規制等)

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、入館を拒否し、又は退館若しくは退去を命ずることができる。

- 1 前条の規定に違反した者
- 2 博物館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、又は汚損するおそれのある者
- 3 館内の秩序を乱し、又はそのおそれのある者

(職 員)

第9条 博物館に事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(委 任)

第10条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理その他この条例の施行に関して必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則（平成9年3月25日条例第52号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成11年12月24日条例第93号）

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成15年3月24日条例第53号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

別表（第4条関係）

区 分	普通観覧料の額（一人当たり）		特 別 観 覧 料 の 額
	個 人	団 体	
一 般（大 学 生 を 含 む。）	260円	210円	その都度知事が定める額
高 校 生 及 び こ れ に 準 ず る 者	無 料	無 料	その都度知事が定める額
中 学 生 及 び 小 学 生	無 料	無 料	その都度知事が定める額

備考

- 1 「普通観覧料」とあるのは、常設展の展示品のみを観覧する場合の観覧料をいい、「特別観覧料」とあるのは、企画による展示品を観覧する場合の観覧料をいう。
- 2 「団体」とあるのは、20人以上の団体をいう。

福島県立博物館運営協議会条例

(昭和61年3月25日 条例第31号)

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条第1項の規定に基づき、福島県立博物館(以下「博物館」という。)の適正な運営を図るため、福島県立博物館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(組織)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。

(委員の任命及び任期)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附則

この条例は、昭和61年4月1日から施行する。

福島県立博物館条例施行規則

(昭和61年3月25日教育委員会規則第5号)

(休館日)

第1条 福島県立博物館(以下「博物館」という。)の定期の休館日は、次のとおりとする。

- 1 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(次号において「休日」という。)に当たるときを除く。
- 2 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。
- 3 1月1日から同月4日まで
- 4 12月28日から同月31日まで

2 博物館の長(以下「館長」という。)は、必要があると認めるときは、臨時に休館し、又は臨時に開館することができる。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、館長は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

(観覧手続)

第3条 館長は、福島県立博物館条例(昭和61年福島県条例第30号。以下「条例」という。)第4条の規定により観覧料を納入した者に対し、観覧券(様式第1号)を交付するものとする。

(観覧料の免除及びその手続)

第4条 館長は、条例第5条の規定により、次の表の上欄に掲げる場合における普通観覧料について、同表の下欄に掲げる額を免除するものとする。

普通観覧料を免除する場合	免除する額
1 大学生(これに準ずる者として福島県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が別に定める者を含む。)及びその引率者並びに高校生、中学生及び小学生(これらに準ずる者として教育長が別に定める者を含む。)の引率者が、学校教育に基づく活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
2 県、又は市町村が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の100分の50に相当する額(引率者にあつては全額)

3 国民の祝日に関する法律第2条に定めるこどもの日、敬老の日及び文化の日に観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
4 知事の発行する外国人留学生文化施設等無料観覧証の交付を受けている者が観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
5 その他免除することが公益上適当と認めるとき。	教育長が別に定める額

2 観覧料の免除を受けようとする者（前項の表の第3号又は第4号のいずれかに該当する場合に観覧料の免除を受けようとする者を除く。）は、前項の表の第1号又は第2号に該当する場合にあっては観覧しようとする日の3日前まで、第5号に該当する場合にあっては10日前までに観覧料免除申請書（様式第2号）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

3 館長は、前項の規定により観覧料の免除を承認したときは、観覧料免除承認書（様式第3号）を交付するものとする。
（観覧料の返還）

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、それぞれ当該各号に定めるところにより、観覧料の全部又は一部を返還するものとする。

1 観覧しようとする者の責めによらない理由により観覧することができなくなったとき。全額

2 その他やむを得ない理由があると認めるとき。教育長が別に定める額

2 観覧料の返還を受けようとする者は、観覧料返還申請書（様式第4号）に観覧券を添えて、館長に提出しなければならない。

（博物館資料の特別利用）

第6条 博物館が所蔵し、又は寄託を受けている博物館資料を学術上の研究その他の目的のため特に利用しようとする者は、館長の承認を受けなければならない。

（教育長への委任）

第7条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理その他この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年3月25日教育委員会規則第9号）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成4年7月28日教育委員会規則第14号）

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則（平成7年3月31日教育委員会規則第15号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年3月29日教育委員会規則第16号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成8年8月20日教育委員会規則第20号）

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則（平成12年3月31日教育委員会規則第16号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成14年3月26日教育委員会規則第14号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成15年3月24日教育委員会規則第3号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

様式第1号（第3条関係）

観 覧 券 （ 観 覧 者 の 区 分 ） （ 金 額 ） 福 島 県 立 博 物 館	観 覧 券 （ 観 覧 者 の 区 分 ） （ 金 額 ） 福 島 県 立 博 物 館
--	--

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

様式第2号(第4条関係)

福島県立博物館長

住所又は所在地
氏名又は名称及
び代表者の氏名
申請者

年 月 日

印

観覧料免除申請書

次の理由により観覧料を免除してください。

観覧目的				
観覧日時	年 月 日	時	分から	分まで
観覧者の種別 及び人数	一般	人	その他()	人
	大学生		()	
	高校生			
	中学生		引率者	
	小学生		合計	
免除申請の理由				
引率者の職及び氏名	職	氏名		
連絡先及び電話番号	電話 ()			
観覧料	免除率	免除金額	免除の根拠	
※ 円 ※		※ 円 ※		
上記のとおり承認してほしい。				
館長	副館長	総務課長	主任	

(注) ※印の欄は、記入しないこと。

様式第3号(第4条関係)

第 号

年 月 日

様

福島県立博物館長

観覧料免除承認書

観覧料の免除について、次のとおり承認します。

観覧目的				
観覧日時	年 月 日	時	分から	分まで
観覧者の種別 及び人数	一般	人	その他()	人
	大学生		()	
	高校生			
	中学生		引率者	
	小学生		合計	
免除申請の理由				
注意事項				
観覧料	免除率	免除金額		
円		円		

様式第4号(第5条関係)

福島県立博物館長

住所又は所在地
氏名又は名称及
び代表者の氏名
申請者

年 月 日

印

観覧料返還申請書

次の理由により観覧料を返還してください。

展覧会の名称				
観覧料の納入月日	年	月	日	
既納観覧料の 区分及び金額	区	分	人	数
				金
				額
				円
	合計			
返還を申請する理由				
連絡先及び電話番号	電話 ()			
観覧料	返還率	返還金額	返還の根拠	
※ 円 ※		※ 円 ※		
上記のとおり返還してほしい。				
館長	副館長	総務課長	主任	
受付月日	・	・	決裁月日	・

(注) ※印の欄は、記入しないこと。

福島県立博物館組織規則

(昭和61年3月25日 教育委員会規則第6号)

(目的)

第1条 この規則は、福島県立博物館（以下「博物館」という。）の組織に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(課)

第2条 博物館に次の課を置く。

総務課

学芸課

(事業分掌)

第3条 総務課においては、次の事務を行う。

- 1 館内事務の総合調整及び企画調査に関すること。
- 2 公印の管理に関すること。
- 3 人事に関すること。
- 4 文書の収受、発送、編集及び保存に関すること。
- 5 予算の編成、経理及び執行に関すること。
- 6 物品の調達及び処分に関すること。
- 7 財産の管理に関すること。
- 8 観覧料の徴収に関すること。
- 9 福島県立博物館運営協議会に関すること。
- 10 前各号に掲げるもののほか、他課の所掌に属しない事務に関すること。

2 学芸課においては、次の事務を行う。

- 1 博物館資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- 2 博物館資料に関する調査及び研究に関すること。
- 3 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- 4 博物館資料に関する解説書、年報、調査研究報告書等の作成に関すること。
- 5 博物館資料に関する相談、情報提供その他博物館資料に関する教育の普及に関すること。
- 6 国立博物館、公立博物館その他の教育機関及び関係団体との連絡提携に関すること。
- 7 前各号に掲げるもののほか、博物館資料に関する専門的事項に関すること。

(館長)

第4条 博物館に館長を置く。

- 2 館長は、上司の命を受け、博物館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

(副館長)

第5条 博物館に副館長を置く。

- 2 副館長は、館長を補佐し、博物館の事務を整理する。

(課長)

第6条 博物館の課に課長を置く。

- 2 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理し、所属職員を指揮監督する。

第7条 削除

(学芸員等)

第8条 博物館に主任専門学芸員、専門学芸員、主任学芸員、副主任学芸員及び学芸員を置く。

- 2 主任専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の高度な学芸事務を処理する。
- 3 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の学芸事務を処理する。
- 4 主任学芸員は、上司の命を受け、担任の学芸事務を処理する。
- 5 副主任学芸員は、上司の命を受け、高度な学芸事務をつかさどる。
- 6 学芸員は、上司の命を受け、学芸事務をつかさどる。

(主任主査その他の職)

第9条 博物館に、第4条から前条までに規定する職のほか、必要に応じ、次の表の上欄に掲げる職を置き、その職の職務は、それぞれ同表の当該下欄に掲げるとおりとする。

職	職務
主任主査	上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理する。
主査	上司の命を受け、担任の事務を処理する。
副主査	上司の命を受け、高度な事務をつかさどる。
主事	上司の命を受け、事務をつかさどる。
専門員	上司の命を受け、担任の専門的業務に従事する。

附則

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附則(平成6年3月15日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附則(平成13年3月27日教育委員会規則第6号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成14年3月29日教育委員会規則第18号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

福島県立博物館条例に基づく知事の権限を福島県教育委員会に委任する規則

（昭和61年3月25日 福島県規則第11号）

福島県立博物館条例（昭和61年福島県条例第30号）第5条、第6条ただし書き及び別表に規定する知事の権限は、福島県教育委員会に委任する。

附 則

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

福島県立博物館収集展示委員会設置要綱

（設 置）

第1条 福島県立博物館に収蔵する博物館資料（以下「資料」という。）の収集並びに展示計画について審議するため、福島県立博物館収集展示委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織等）

第2条 委員会は12人以上の委員を持って構成する。

2 委員は学識経験者のうちから福島県立博物館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

3 委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は委員の互選により選出する。

4 委員長は委員会を代表し、会務を掌握する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

（会 議）

第3条 委員会は必要のつど館長が招集する。

2 委員会は資料収集の適否及び展示計画等について審議し、その結果を館長に報告する。

3 委員会は特に必要がある場合、委員以外の専門的分野に関する学識経験者の指導及び助言を求めることができる。

（展示計画作成委員）

第4条 委員会は展示計画原案作成のため、委員のうちから6人の展示計画作成委員（以下「展示委員」という。）を選任する。

2 展示委員は次の任務を遂行する。

（1）展示計画原案の作成

（2）展示計画作成のための基礎的資料の収集

（3）展示計画作成に関する専門的指導

（任 期）

第5条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（庶 務）

第6条 委員会の庶務は、福島県立博物館において処理する。

（その他）

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附 則

この要綱は、昭和56年5月1日から施行する。

昭和61年4月1日一部改正

福島県立博物館資料所在調査要領

1) 調査の目的

福島県内に散在する考古、歴史、民俗美術工芸等の資料について、その所在及び内容を把握し、県立博物館の活動のための基礎データを得ることを目的とする。

2) 調査の実施

（1）調査員

イ) 調査員は、各地域の歴史に精通した研究者の中から館長が委嘱する。

ロ) 委嘱期間は、4月1日から3月31日までの1年間とする。

（2）調査の内容

資料の種類、形状、用途、数量、由来、時代、保存状況、所有者等について調査する。

(3) 調査の時期

4月1日から3月31日とする。

(4) 調査カードの作成・提出

調査員は、調査資料についてカードを作成し、福島県立博物館に提出する。

福島県立博物館資料調査員設置要綱

(設 置)

第1条 福島県立博物館の収集、展示、研究等に関する基礎データを得るため福島県立博物館資料調査員（以下「資料調査員」という。）を置く。

(選 任)

第2条 資料調査員は、各地域の歴史に精通した研究者の中から、福島県立博物館館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

(職 務)

第3条 資料調査員は、福島県内に散在する考古、歴史、民俗、美術工芸等の資料について、所在及び内容を調査し、その結果を館長に報告する。

(任 期)

第4条 資料調査員の任期は1年とする。

2 補欠によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(補 足)

第5条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、昭和55年4月1日から施行する。

昭和61年4月1日一部改正。

福島県立博物館友の会規約

(名 称)

第1条 本会の名称は、福島県立博物館友の会という。

(目 的)

第2条 本会は、博物館活動に協力するとともに、会員が「福島県の歴史と文化・自然」についての研修を深め、会員相互の親睦をはかり、あわせて博物館活動の普及発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は次の事業を行う。

- 1 広報活動
- 2 講演会・研修会等の開催
- 3 博物館に関連する事業への協力
- 4 図書等の斡旋等の事業
- 5 その他必要な事業

(会員及び会費)

第4条 会員の種類は次のとおりとし、会員には会員証を交付する。

- ① 個人会員 本会の目的に賛同し、年額2,000円を納めた個人。
 - ② 家族会員 本会の目的に賛同し、年額3,000円を納めた生計を一にする家族。
 - ③ 高校生会員 本会の趣旨に賛同し、年額500円を納めた高校生個人。
 - ④ 賛助会員 本会の目的に賛同し、特に会の発展に協力するため、年間10,000円を納めた個人及び団体。
- 2 会員の期間は、入会の年4月1日から翌年の3月31日までの1年間とする。
- 3 会員が退会した場合であっても、既に納入した会費はこれを返還しない。

(会員の特典)

第5条 会員は次の特典を受けることができる。

- 1 博物館の展示を観覧する場合に、特別な便宜を受けることができる。
- 2 会報、博物館だより、博物館の各種催しの案内等の情報の提供を受けることができる。
- 3 会の事業に参加することができる。
- 4 会員が歴史や文化等の研究に際し、指導を受けることができる。

(役 員)

第6条 本会に次の役員を置く

会	長	1名
副	会 長	若干名
幹	事	若干名
監	事	2名

2 幹事のうち1名は、福島県立博物館学芸課長の職にある者を充てる。

(役員の出選及び任期)

第7条 役員は総会において選出し、任期は2年とする。ただし再任は妨げない。

2 補欠のため任ぜられた役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第8条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代理する。

3 幹事は、本会の会務を運営し、その実務に携わる。

4 監事は、本会の会計を監査する。

(会議)

第9条 総会は、毎年1回会長が招集し、事業計画、予算、決算、役員選任、その他重要事項をはかるものとする。

2 役員会は、必要のつど会長が招集する。

3 総会及び役員会の議長は、会長があたるものとする。

4 議事は、出席者の過半数により決する。

(顧問)

第10条 本会は、顧問をおくことができる。顧問は、役員会の承認を得て、会長が委嘱する。

(会計年度)

第11条 本会の会計年度は、毎年3月1日に始まり、翌年2月末日に終わるを原則とする。

2 本会の経費は、会費、寄付金、事業収入等をもってあてるものとする。

(事務局)

第12条 本会の事務を処理するための事務局を、福島県立博物館内に置くものとする。

2 本会の事務局員は会長が委嘱する。

(その他)

第13条 本規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項については、会長が別に定める。

附 則

1 この規約は、平成元年4月1日から施行する。

2 この規約は、平成3年4月1日から施行する。(第6条第2項関係)。

3 この規約は、平成5年4月1日から施行する。(第4条第1項②関係)。

4 この規約は、平成7年4月1日から施行する。(第11条第1項、第12条第1項関係)。

5 この規約は、平成8年4月1日から施行する。(第4条第1項③関係)。

6 この規約は、平成11年4月1日から施行する。(第6条第1項関係)。

7 この規約は、平成23年3月1日から施行する。(第11条第1項関係)

VI 施設の概要

1. 建築概要

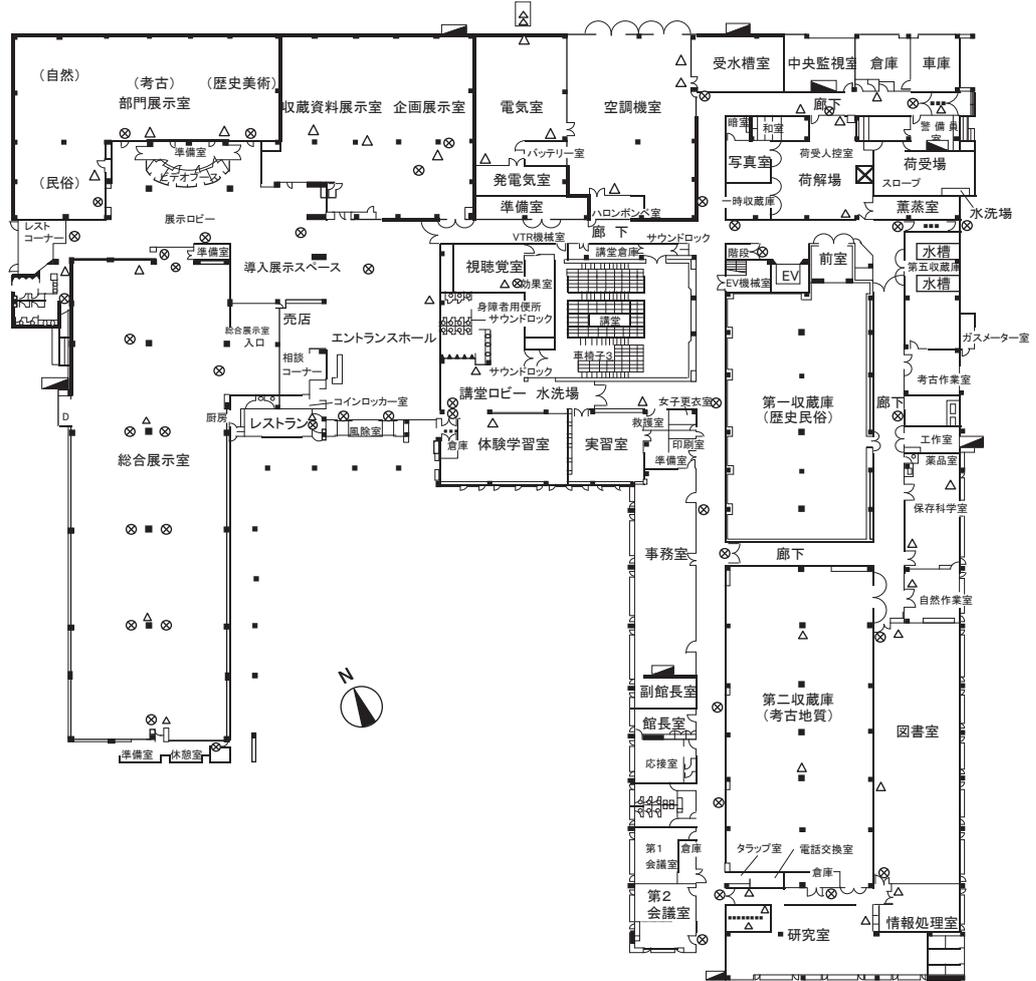
<p>設計者 ㈱佐藤武夫設計事務所 工事監理 福島県会津若松建設事務所 ㈱佐藤武夫設計事務所 施工者 建築本体工事 福島県立博物館（本体）工事 清水建設㈱・会津土建㈱・秋山建設㈱ 共同企業体 電気設備工事 福島県立博物館建設（電気設備）工事 六興電機㈱・吉田電工㈱共同企業体 空調設備工事 福島県立博物館建設（空調設備）工事 新日本空調㈱・若松ガス工業㈱共同企業体 火災報知その他設備工事 福島県立博物館建設（火災報知その他設備）工事 ㈱富士工業商会 給排水衛生設備工事 福島県立博物館建設（給排水衛生設備）工事 ㈱共立配管工業所 昇降機設備工事 福島県立博物館建設（昇降機設備）工事 ダイコー㈱</p>	<p>構造 主体構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 基礎構造 場所打ちコンクリート杭 外部仕上げ 屋根 厚0.6硫化銅板 特殊一文字葺 外壁 特焼磁器質タイル打込プレキャストコンクリート板 建具 アルミ断熱サッシ電解着色仕上げ（エントランスホール・展示ロビー） 内部仕上げ 床 花崗岩ジェットバーナー仕上げ 壁 凝灰岩リブ付厚40㎜ 天井 練付合板 クリアラッカー仕上げ（総合展示室） 床 カーペットタイル 壁 プラスターボード厚12㎜ 天井 アルミ特殊ルーバー天井（講堂） 床 カーペットタイル 壁 凝灰岩 リブ付 天井 練付合板 アクリルラッカー仕上げ（第1・3・6収蔵庫） 床 プナフローリングボード厚12㎜ 壁 杉板厚12㎜ ヒブクラハギ張 天井 杉板厚12㎜ 本実張（第2収蔵庫） 床 コンクリート塗り床 壁 化粧珪酸カルシウム板 天井 化粧珪酸カルシウム板（第4収蔵庫） 床 プナフローリングボード厚12㎜ 壁 化粧珪酸カルシウム板 天井 化粧珪酸カルシウム板（第5収蔵庫） 床 コンクリート塗り床 壁 プラスターボード 天井 化粧珪酸カルシウム板</p>
<p>面積 敷地面積 37,269.6㎡ 建築面積 10,986.23㎡ 延面積 11,071.44㎡ 1階 9,980.45㎡ 2階 1,090.99㎡</p>	<p>工期 着工 昭和59年7月7日 完成 昭和61年3月25日</p>
<p>建築事業費 6,451,641千円 内訳 建物本体 4,623,714 展示工事 1,257,500 外構工事 368,688 その他庁用備品等 201,739</p>	
<p>規模 地上2階 最高の高さ 20.6m 最高の軒高 13.6m 地域地区 住居地域 風致地区第1種</p>	

2. 設備

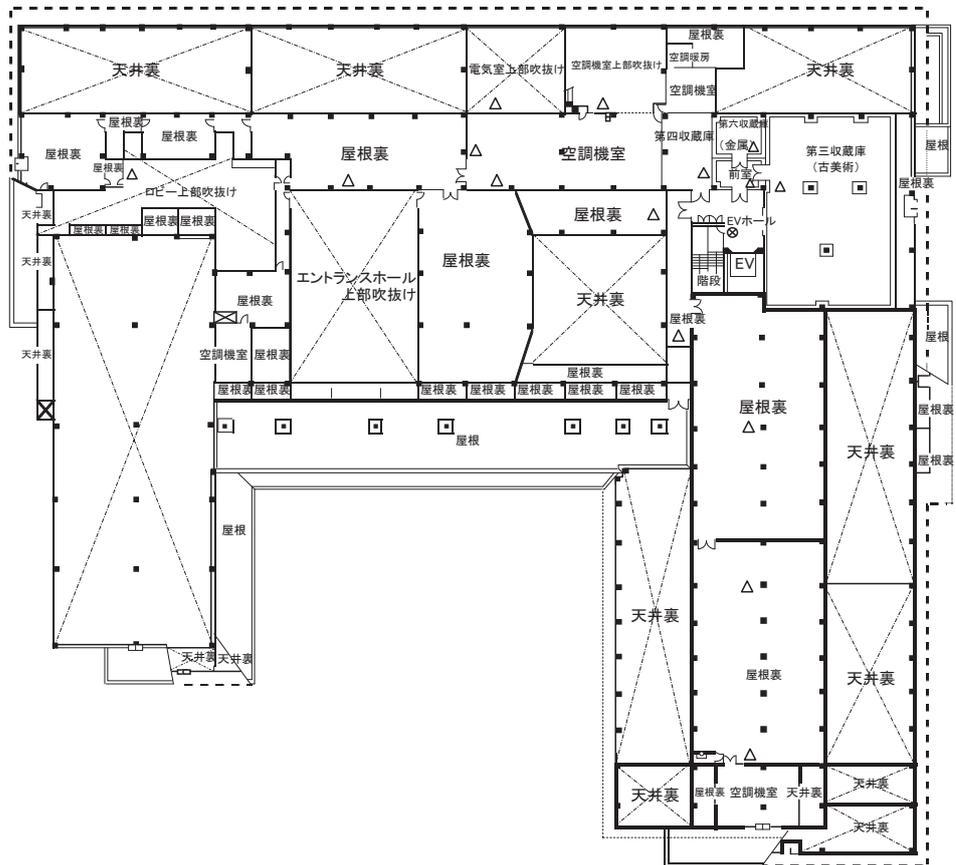
<p>電気設備 1. 電気設備 受電電圧 3相3線式 6.6KV 50Hz 変圧器容量（業務用）1575KV A （冬季用）400KV A 2. 非常用電源 発電機 3相3線式 6.6KV 50Hz 400KV A 蓄電池 密閉型アルカリ A H - P E 200 A H 86セル 3. その他 電話設備、インターホン設備、TV共同視聴設備、自動火災報知器設備、防火戸等制御設備、ガス漏警報設備、非常用放送設備、ITV監視設備 4. 視聴設備 TVカメラ、ビデオ調整卓、ビデオデッキ、音響総合ラック</p>	<p>2. 消火設備（屋内）スプリンクラーとハロン消火設備の併用、（屋外）野外消火栓 昇降機設備 油圧式エレベーター定格荷重：3t1基 油圧式リフト 定格荷重：2t1基 融雪設備 ロードヒーター・屋根ヒーター、陸屋根ヒーター・ドレンヒーター、外気温度地面温度・降雪感知器・乾地面温度・湿地面温度センサーの組み合わせにより自動運転または手動運転。 監視設備 分散形総合監理制御システムにより、受電設備・防災設備・熱源設備・空調設備・融雪設備・庭園設備等を遠方発停制御及び計測監視を行う。 電話設備 電子交換外線3回線 内線64回線 火災報知設備 受信盤P型1級 60回線（自火報）33回線（防排煙設備）、煙感知機274箇所、熱感知機93箇所、排煙区画8系統、平面地区盤（照光式）により表示 防犯設備 電波センサー・電子サイン・ITVを必要箇所に設置し、監視制御システムと併用</p>
<p>空調設備 1. 空調方式 各室ユニット型空調機 17系統ファンコイル ユニット方式 2. 熱源設備 ガス直焚冷温水発生器（150RT）×2 ガス焚鉄セクショナルボイラー（396.00Kcal/H）水冷式チーリングユニット（120RT）</p>	
<p>衛生設備 1. 給水 市水道 受水槽：50㎡</p>	

3. 平面図・各室一覧

1 階平面図



2 階平面図



各室面積表

室名	面積(m ²)	備考	室名	面積(m ²)	備考
収蔵スペース	2,294.8 (m ²)		応接室	36.5	
荷受場	90.5		第1会議室	34.8	
荷解場	164.5		第2会議室	70.7	
荷受人控室	25.1		更衣室	13.2	
一時収蔵庫	30.4		湯沸室	5.0	
燻蒸室	30.7		印刷室	16.2	
工作室	39.6		救護室	13.2	
写真室	57.0	スタジオと暗室	警備員室	30.0	
第1収蔵庫	614.2	歴史・民俗	宿直室	25.1	
第2収蔵庫	617.7	考古・地質	倉庫A	29.4	
第3収蔵庫	393.6	古美術	倉庫B	43.6	収集用(1)
第4収蔵庫	75.6	剥製・植物標本	車庫	55.8	
第5収蔵庫	104.9	液浸	展示準備室(1)(2)	31.7	総合展示室用
第6収蔵庫	51.5	金属	展示準備室(3)(4)	71.1	部門・企画・ 収蔵資料用
研究スペース	788.3 (m ²)		機械スペース	1,253.1 (m ²)	
研究室	238.4		空調機室1F	393.2	
自然作業室	37.6		空調機室2F	479.4	
保存科学室	77.2		電気室	132.5	
考古作業室	72.3		中央監視室	52.8	
薬品庫	8.8		発電気室	50.2	
図書室	300.0		バッテリー室	14.4	
情報処理室	54.0		受水槽室	66.7	
展示スペース	2,815.1 (m ²)		ハロンボンベ室	31.7	
総合展示室	1,536.9		E V 機械室	17.1	
部門展示室	585.8		電話交換機室	6.3	
企画展示室	484.1		V T R 機械室	8.8	
収蔵資料展示室	208.3		サービス・共用スペース	2,507.54 (m ²)	
教育普及スペース	693.1 (m ²)		エントランス・ホール	461.1	
講堂	257.8		レストラン	83.7	厨房含む
講堂倉庫	15.0		売店・相談コーナー	73.3	ロッカー含む
体験学習室	173.5		便所(展示)	32.6	
視聴覚室	65.6		便所(中央)	68.8	
効果室	32.1		便所(管理)	31.3	
実習室	128.3		展示ロビー	513.8	ビデオブース・ワーク ショップを含む
実習準備室	20.8		レストコーナー	40.3	
管理スペース	719.5 (m ²)		その他	1202.64	
事務室	166.1		計	11071.44	
館長室	45.6				
副館長室	31.5				

4. 施設の修理・改築

- 平成 7年 8月 9日 消防施設整備工事（スプリンクラー設備修繕）（～10.31）
- 平成 8年10月 1日 博物館地域福祉推進特別対策事業（誘導表示等設置 段差解消スロープ 車椅子
駐車場 2 台分）（～ 9.3.19）
- 平成12年10月27日 給水ポンプ取替工事（～13.1.9）
- 平成14年 9月12日 博物館東・北面外壁タイル補修工事（～12.16）
- 平成15年 9月19日 非常用蓄電池取替工事（～11.20）
- 10月21日 吸収冷温水機真空部取替工事（～16.1.8）
- 平成16年10月 5日 屋根補修工事（～12.17）
- 12月21日 吸収冷温水機真空部取替他工事（～17.3.18）
- 平成17年 7月22日 屋根補修工事（～10.4）
- 平成18年 1月 6日 熱源コントローラー交換工事（～18.3.17）
- スプリンクラーヘッド交換工事（～18.3.17）
- 平成19年 1月 5日 スプリンクラー設備修繕工事（～19.3.23）
- 平成19年 2月 1日 1階床張替え補修工事（～19.3.23）
- 平成19年 2月21日 ウォシュレット取付け工事（～19.3.19）
- 平成21年 1月21日 高圧引込設備改修工事（電柱立替外）（～21.3.24）
- 平成21年 6月 3日 冷却塔ヘッダー管交換 2 回（～21.12.25）
- 平成21年12月18日 消防設備修繕（呼水槽、消火栓ホース、ハロゲン非常用電源設備外）（～22.2.26）
- 平成22年 2月17日 企画展示室改修工事（～22.3.29）
- 平成22年11月16日 中央監視システム更新工事（～23.4.25）
- 平成22年11月26日 空調熱源機器改修工事（～23.4.22）
- 平成23年 1月20日 空調設備改修工事（～23.4.25）

VII 利用案内

● 開館時間

午前9時30分～午後5時（最終入館は午後4時30分まで）

● 休館日

◎毎週月曜日（祝祭日にあたる場合は開館）

◎祝祭日の翌日（土・日・祝祭日にあたる場合は開館）

◎年末年始（12月28日～1月4日）

◎その他、館内くん蒸などのために臨時に休館することがあります。

● 観覧料

◎常設展（ ）内は、団体20人以上の料金

一般・大学生260円（210円） 高校生以下は無料

◎企画展 そのつど定めます。

★学校の引率者、大学の教育活動、公民館等の団体は申請により減免措置を受けることができます。（常設展のみ）

★身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方は無料

また1種（精神障害者保健福祉手帳にあつては1級）の認定を受けている方に限り、介護者1名が無料。

★知事の発行する外国人留学生文化施設等無料観覧証を交付されている方は無料。（常設展のみ）

★展示室以外の入館は無料。

● 常設展無料開放日

5月5日（子供の日）／9月第3月曜日（敬老の日）／11月3日（文化の日）／8月21日（県民の日）

● 企画展無料開放日（高校生以下のみ）

11月1日～11月7日（ふくしま教育週間）

● 交通案内



◎会津若松駅より約3km

◎市内バス利用の場合

①まちなか周遊バス「ハイカラさん」鶴ヶ城三ノ丸口下車徒歩1分

②まちなか周遊バス「あかべえ」鶴ヶ城三ノ丸口下車徒歩1分

③病院循環バス「ひまわり」県立病院前下車徒歩5分

● 体の不自由な方へ スロープ・専用トイレなどを備えたほか、車いすも用意しています。

● 講座・講演など 博物館では講演会・実技講座・実演などを行っています。

福島県立博物館年報 第28号

平成26年12月12日 印刷

平成26年12月12日 発行

編集・発行 福島県立博物館

〒965-0807 会津若松市城東町1-25

TEL (0242) 28-6000

FAX (0242) 28-5986

<http://www.general-museum.fks.ed.jp/>

印刷 株式会社 アポロ

〒965-0044 会津若松市七日町14-7

TEL (0242) 22-5139

この年報の本文は再生紙を使用しています。

福島県立博物館